



各部の開閉 26

- キー 26
- ドア 26
- 電気式ドアロック 28
- ワイヤレスドアロック 29
- パワーウィンドウ 30
- ムーンルーフ 32
- トランク 34
- フューエルノッド 35
- ボンネット 35

各部の調整 36

- フロントシート 36
- リヤシート 40
- ハンドル 40
- インナーミラー(防眩ミラー) 43
- 電動リモコンミラー 43

シートベルトの着用 46

- 3点式シートベルト 47
- 2点式シートベルト 49

メーター、表示灯、警告灯の見方 50

- メーター 52
- 表示灯 54
- 警告灯 55

視界の確保 60

- ライトスイッチ 60
- 方向指示レバー 61
- フォグランプスイッチ 62
- メーター照度調整スイッチ 62
- ワイパー & ウォッシャースイッチ 62
- 油膜取りスイッチ 64
- リヤウィンドウデフォグ(曇り取り)スイッチ 64
- 熱線入りフロントウィンドシールドガラススイッチ 65
- 非常点滅灯スイッチ 65

運転装置 66

- エンジンスイッチ 66
- パーキングブレーキ 68
- ホーン 68
- マニュアルトランスミッション 69
- オートマチックトランスミッション 69
- クルーズコントロール 74
- クリアランスソナー 76
- TEMS 78
- トラクションコントロール 79
- ABS 80
- SRSエアバッグ 81

空調 84

- オートエアコン 84
- アイドルアップスイッチ 90

オーディオ 92

- オーディオの上手な使い方 92
- アンテナ 92
- オーディオ 93

室内装備 118

- サンバイザー 118
- 室内灯 118
- スポットライト 119
- 時計 119
- シガレットライター 120
- 灰皿 120
- グローブボックス 121
- カップ & コインホルダー 121
- コンソールボックス 122
- 小物入れ 122

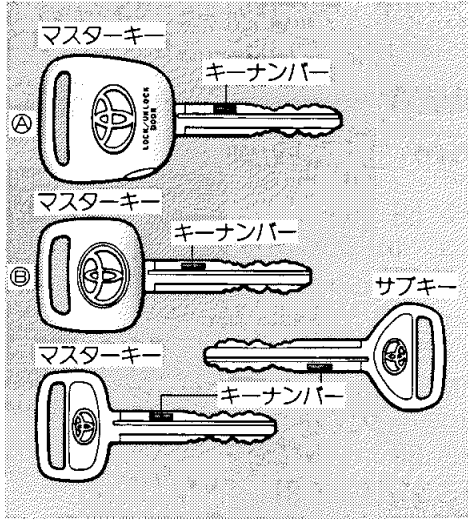
フルタイム4WD 124

開閉は、正しい操作で確実に。

各部の開閉

キー

- マスターキーとサブキーがあります。
ワイヤレスドアロック付き車は㊸、ワイヤレスドアロック付き車以外は㊹になります。
- キーナンバーをひかえておいてください。
万一紛失した場合、トヨタ販売店で純正のキーを作ることができます。



アドバイス

サブキーでは、トランクおよびグローブボックス(小物入れ)を施錠・解錠することはできません。

ドア

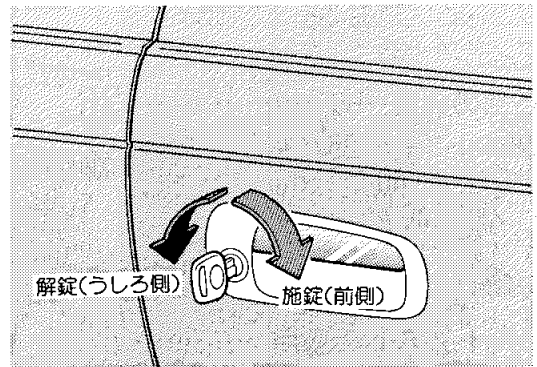
注意

- 車から離れるときは、必ずエンジンを止めパーキングブレーキをかけて施錠してください。無人で車が動き出したり、車両盗難のおそれがあります。法的にも義務づけられています。また、施錠していても車内に貴重品を置いたままにしないでください。
- 走行する前にすべてのドアが確実に閉まっていることを確認してください。ドアが確実に閉まっていないと走行中にドアが突然開き思わぬ事故につながったり、運転者や同乗者が車から投げ出されるおそれがあり危険です。

アドバイス

キーなしでドアを施錠するときは、キーを持っていることを確認してから行ってください。車内にキーを閉じ込めてしまうおそれがあります。

■キーを使っての施錠と解錠(フロントドア)
差し込んでまわします。

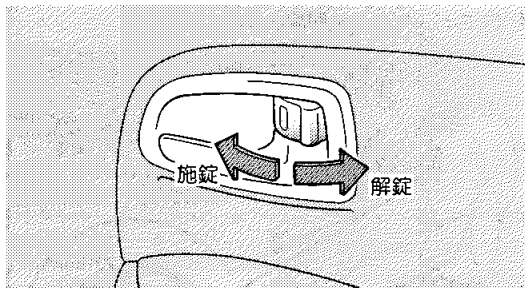


アドバイス

運転席ドアをキーで施錠(解錠)すると、すべてのドアが施錠(解錠)されます。

■ロックレバーでの施錠と解錠

ロックレバーを押します。

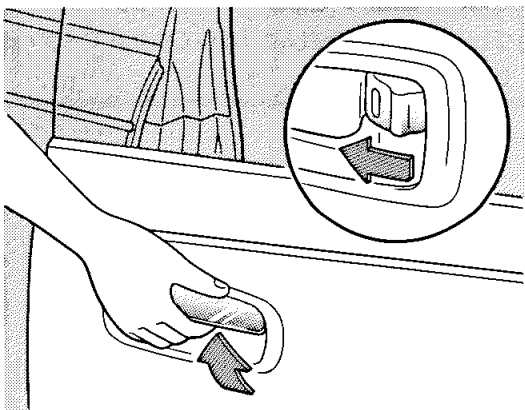


アドバイス

運転席ドアはロックレバーが施錠側に押し込まれていてもドアレバーを引くとドアが開きます。

■キーを使わずに施錠するには

- フロントドアはロックレバーを施錠状態にして、ドアハンドルを引き上げたままドアを閉めます。エンジンスイッチにキーが差し込まれていると施錠できません。
- リヤドアはロックレバーを施錠状態にして、ドアを閉めます。



■キー抜き忘れ防止チャイム

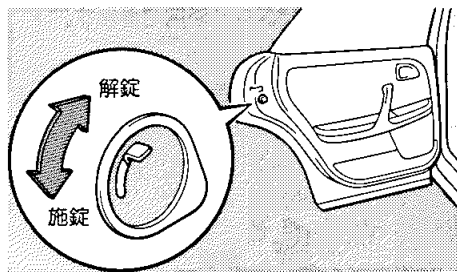
エンジンスイッチをLOCKまたはACCの位置にして運転席ドアを開けると、チャイムが鳴りキーの抜き忘れを警告します。

チャイルドプロテクター

レバーを施錠側にしてドアを閉じると、ロックレバーの位置に関係なく、車内からリヤドアを開けることはできませんので、お子さまを乗せるときにご使用ください。

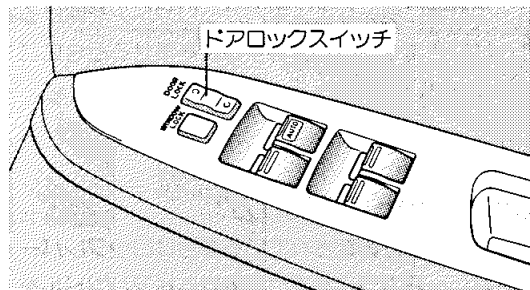
車内からのドアの開け方

ロックレバーが施錠されている場合はロックレバーを解錠し、窓ガラスを下げた外からドアハンドルを引くと開きます。



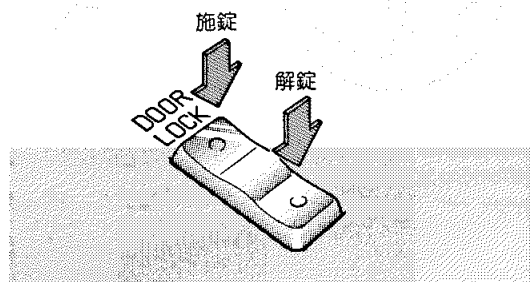
電気式ドアロック


すべてのドアの施錠・解錠が同時にできます。



■ドアロックスイッチを使っての施錠と解錠
エンジンスイッチに関係なく使用できます。

スイッチの前側を押すと施錠、うしろ側を押すと解錠されます。

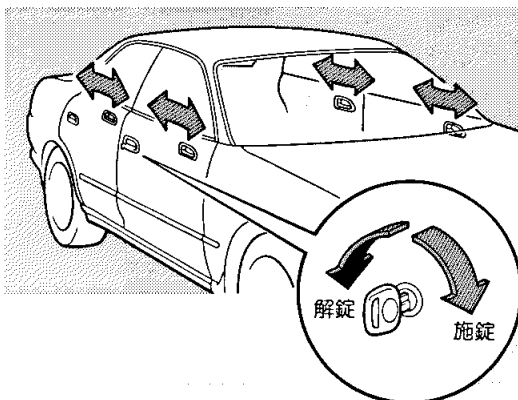


 アドバイス

ドアロックスイッチを押し続けると作動しないことがあります。いったんドアロックスイッチから指を離し、押しなおしてください。

■キーを使っての施錠と解錠

運転席ドアにキーを差し込んでまわします。
すべてのドアが施錠・解錠されます。



車速感応オートドアロック

グロワール、GLを除く

車速が約 20 km/h 以上になると自動的に施錠されます。

(車速感応オートドアロック機能を解除したいかたは、トヨタ販売店にご相談ください。)

キー閉じ込み防止機能

エンジンスイッチにキーが差し込まれているときは、運転席ドアをドアロックスイッチやロックレバーにより施錠しようとしても施錠できません。

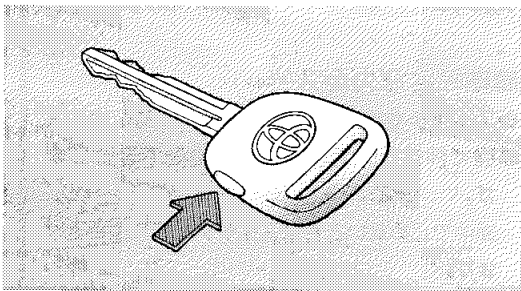
ワイレスドアロック★

離れたところ(約1m)からドアの施錠・解錠ができます。

リモコンスイッチ

スイッチを押すごとに施錠・解錠されます。

エンジンスイッチにキーが差し込まれているときや、半ドアのときは作動しません。



アドバイス

次のようなときは、解錠操作をしても自動的に施錠されます。

- 約30秒以内にドアを開けないとき
- いずれかのドアが解錠されているとき

△ 処置

リモコンスイッチを押しても作動しないときは、トヨタ販売店で点検を受けてください。



注意

リモコンスイッチは、分解したり、強い衝撃をあてたり、水洗いなどをしないでください。スイッチの故障の原因になります。

パワーウィンドウ

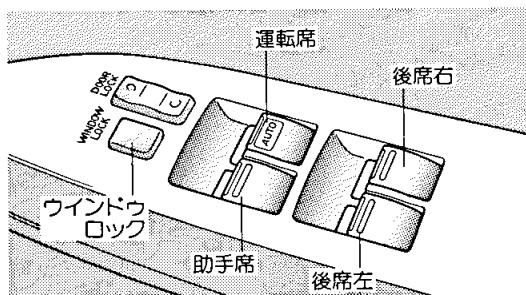
各ドアには、それぞれのパワーウィンドウスイッチがあります。



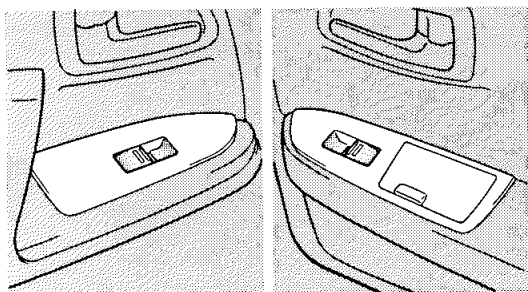
注意

- ドアガラスを閉じるときは、他の人の手や頭などをはさまないように注意してください。ドアガラスにはさまれてケガをするおそれがあります。
- 運転席スイッチと他のスイッチを同時に逆方向に動かさないでください。パワーウィンドウの故障の原因になります。
- ドアガラスの全開、全閉後に同じ方向にスイッチを操作し続けしないでください。パワーウィンドウの故障の原因になります。

● 運転席スイッチ



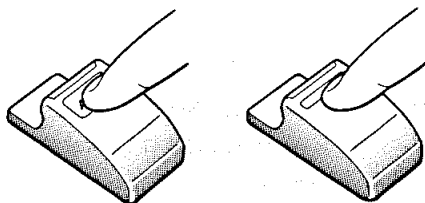
● 助手席、後席スイッチ



開閉のしかた

エンジンスイッチがONのとき使用できます。

開けるときは



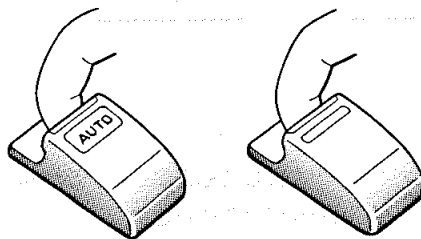
■ 運転席窓ガラス

- スイッチを軽く押している間、作動します。
- 強く押すと、手を離しても自動で全開します。途中で止めたいときはスイッチを軽く引き上げます。

■ 助手席、後席窓ガラス

- スイッチを押している間、作動します。

閉めるときは



■ 運転席窓ガラス

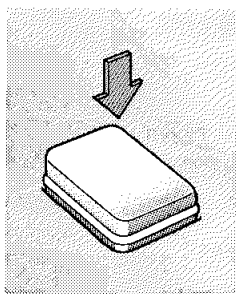
- スイッチを軽く引き上げている間、作動します。
- 強く引き上げると、手を離しても自動で全閉します。途中で止めたいときはスイッチを軽く押します。

■ 助手席、後席窓ガラス



- スイッチを引き上げている間、作動します。

ウィンドウロック

お子さまを乗せるときはウィンドウロックスイッチをONにしてください。助手席、後席窓ガラスを動かなくすることができます。

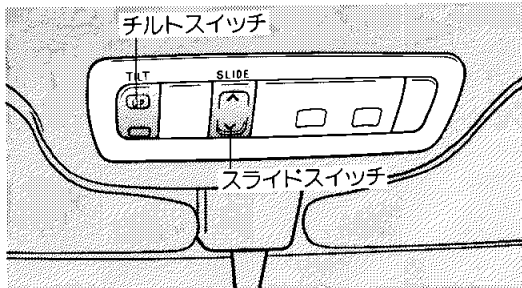


スイッチを押すごとにONとOFFに切り替わります。ONのときロックされます。

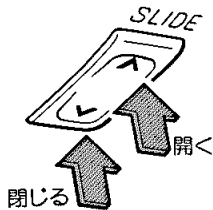
ON	
OFF	

ムーンルーフ★

エンジンスイッチがONのとき使用できます。



スライド開閉のしかた



開けるときは

スライドスイッチのうしろ側をピーという音がするまで押し続けると自動的に全開します。

- ・途中で止めたいときはもう一度スイッチを押します。
- ・室内への風の巻き込みを防ぐティフレクターが自動的に上がります。

閉めるときは

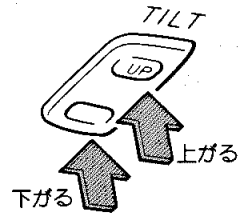
スライドスイッチの前側をピーという音がするまで押し続けると自動的に全閉します。

- ・途中で止めたいときはもう一度スイッチを押します。
- ・全閉になる手前でいったん停止し、ピッピッという警告音とともに再び閉まり始めます。

サンシェード

- ムーンルーフを開けると連動して開きます。
- 手動でも開閉できます。

チルトアップ、ダウンのしかた



チルトアップするときはチルトスイッチのUP側を、チルトダウンするときは前側をそれぞれピーという音がするまで押し続けると自動的にチルトアップおよびチルトダウンします。

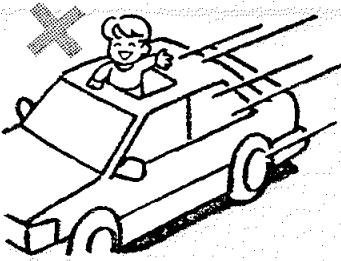
閉め忘れ警告ブザー

チルトアップしたまま、エンジンスイッチをONからACCまたはLOCKにすると、ブザーが鳴ります。



注意

- ルーフを閉じるときは、他の人の手や顔などをはさまないように注意してください。ルーフにはさまれてケガをするおそれがあり危険です。
- 走行中はルーフから手や顔を出さないでください。車外のものなどに当たったり、急ブレーキをかけたときにケガをするおそれがあり危険です。
- 開口部に腰かけないでください。ルーフがへこんだり、万一のとき車から投げ出されるおそれがあり危険です。



- ルーフから荷物がはみ出さないようにしてください。車外のものに当たるなどして思わぬ事故につながるおそれがあります。
- ルーフに水や雪がある状態で開けないでください。室内がぬれるばかりか、突然の水や雪におどろき思わぬ事故につながるおそれがあります。
- ムーンルーフを全開、全閉したあとにスイッチを押し続けしないでください。ムーンルーフの故障の原因になります。



アドバイス

車から離れるときや洗車時には、完全に閉じていることを確認してください。

スイッチを押しても作動しないときは
(故障時の閉め方)

スイッチを約 10 秒間押し続けると閉まり始めます。

完全に閉まるまで押し続けてください。

- 開いているときはスライドスイッチの前側
- チルトアップしているときはチルトスイッチの前側

以上の操作をしても作動しないときは、トヨタ販売店で点検を受けてください。

トランク

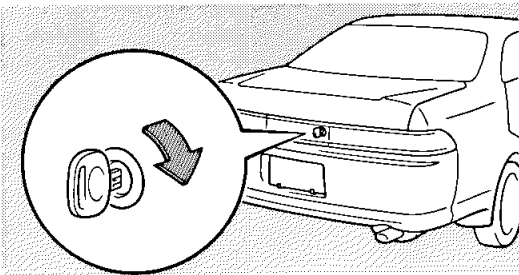


注意

- 貴重品を置いたままにしないでください。盗難のおそれがあります。
- 人を絶対に乗せないでください。急なブレーキをかけたときや衝突したときなどにケガをするおそれがあり危険です。
- トランクは中から開けることができません。お子さまのいたずらに注意してください。

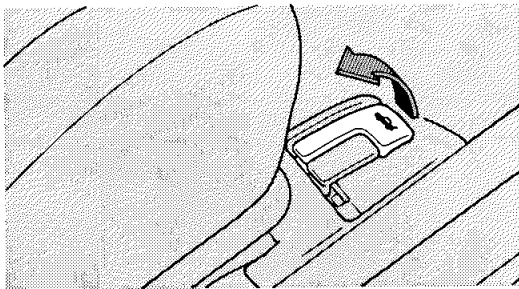
■キーを使って

キーを差し込み、右にまわすと開きます。
サブキーは使用できません。



■トランクオープナーを使って

オープナーを引くと開きます。



トランクを開けると、トランク灯が点灯します。

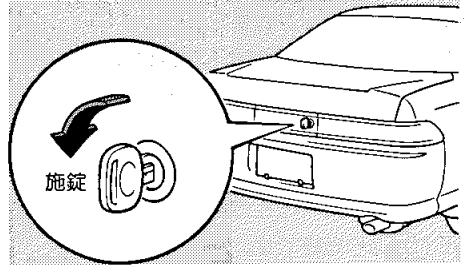


アドバイス

エンジンを停止しているときは、トランクを長時間開けたままにしないでください。バッテリーあがりを起こすおそれがあります。

■駐車場などでキーを預けるときは

- ①マスターキーを差し込み、左にまわしたまま抜きます。
トランクオープナーで開けることができなくなります。



- ②サブキーを渡します。

フューエルリッド (燃料補給口)

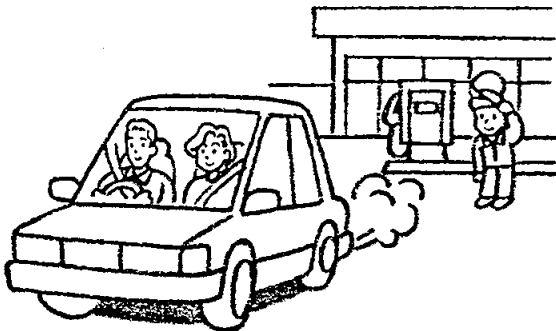
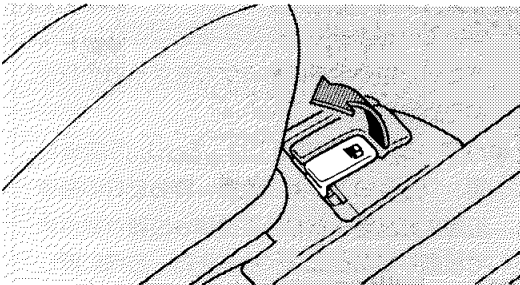


注意

- エンジン回転中に燃料を補給しないでください。火災になるおそれがあります。
- 燃料を補給するときは、タバコを吸うなど火気を近づけないでください。燃料は引火しやすいため、火災になるおそれがあり危険です。
- 急激にフューエルキャップを開けないでください。燃料補給口部より吹き返しが発生するおそれがあります。
- フューエルキャップが確実に閉まっていることを確認してください。キャップが確実に閉まっていないと、走行中に燃料が漏れ、火災になるおそれがあり危険です。
- 車に合ったトヨタ純正のフューエルキャップ以外は使用しないでください。燃料漏れを起こすおそれがあり危険です。

燃料タンク容量は 70 ℓ です。

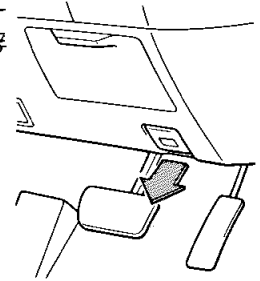
フューエルリッドオープナーを引くと開きます。



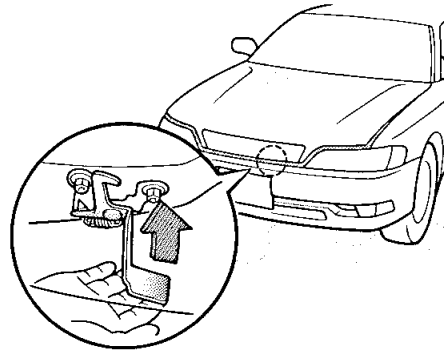
ボンネット

開けるときは

- ① オープナーを引くとボンネットが少し浮き上がります。



- ② ボンネットのすき間に手をいれ、ボンネットフックをはずして持ち上げます。



閉めるときは

- ① ボンネットをおろします。
- ② ボンネットの前端を押しえつけロックします。



注意

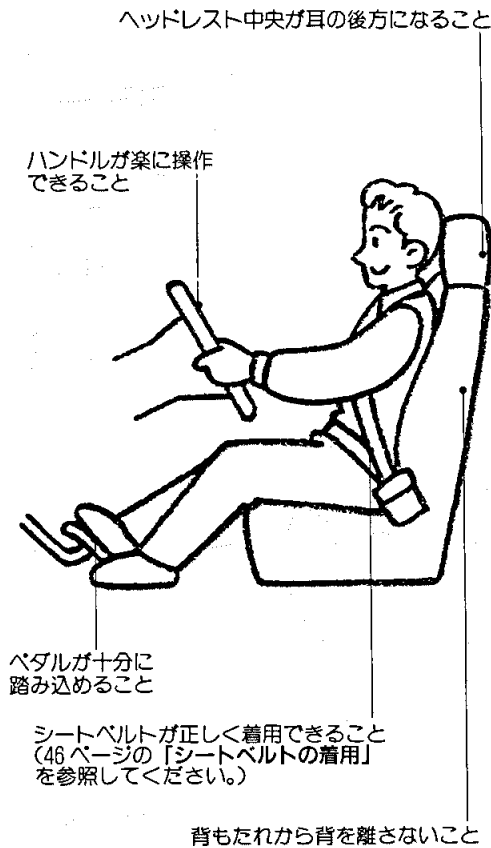
走行前にボンネットが確実にロックされていることを必ず確認してください。ロックせずに走行するとボンネットが開いて思わぬ事故につながるおそれがあります。

正しい位置がベストポジション。

各部の調整

フロントシート

次の事項に注意してシートを調整します。



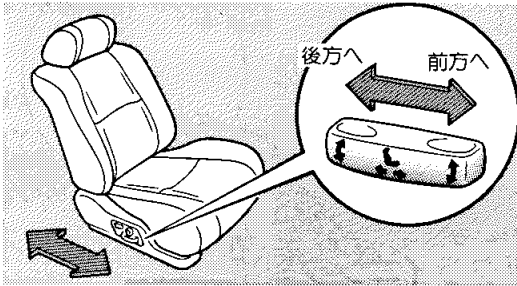
注意

- 走行中は運転席シートの調整をしないでください。シートが突然動き運転を誤り、思わぬ事故につながるおそれがあります。
- シートを調整したあとは、シートを軽く前後にゆさぶり確実に固定されていることを確認してください。固定されていないとシートが動き、思わぬ事故につながるおそれがあります。
- フロントシートの下に物を置かないでください。物がはさまってシートが固定されなかったり、ロック機構の故障の原因になります。
- 背もたれと背中の方にクッションなどをいれないでください。正しい運転姿勢がとれないため、思わぬ事故につながるおそれがあります。また、衝突したときシートベルトなどの拘束保護装置の効果が十分に発揮されないおそれがあり危険です。
- シートを調整するときは同乗者や荷物に当たらないように注意してください。同乗者がケガをしたり、荷物をこわしたりするおそれがあります。
- シートを調整しているときは、シートの下や動いている部分の近くに手を近づけないでください。指や手をはさみケガをするおそれがあり危険です。
- パワーシート装着車では、シートの前後位置、クッションの上下位置、背もたれの前後位置または背もたれの腰部硬さ位置が終点まで移動したあとにスイッチを同一方向に押し続けしないでください。パワーシートの故障の原因になります。

パワーシート ★

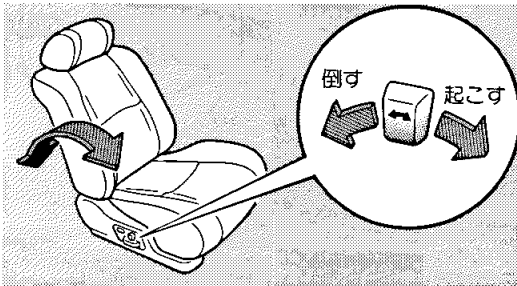
前後位置調整

スイッチを前後に操作している間作動します。



リクライニング調整

スイッチを前後に操作している間作動します。

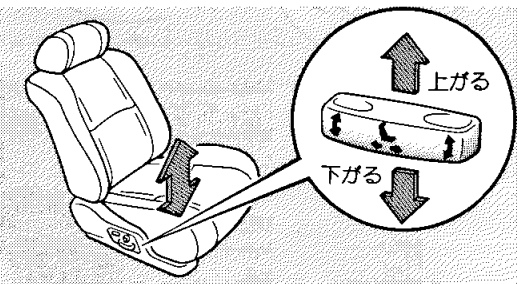


クッションの上下調整

運転席

スイッチを上下に操作している間作動します。

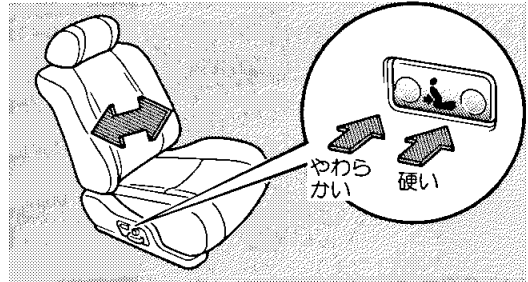
- 前側を操作するとクッション前端
- うしろ側を操作するとクッション後端
- 全体を操作するとクッション全体が動きます。



腰部硬さ調整(ランバーサポート)

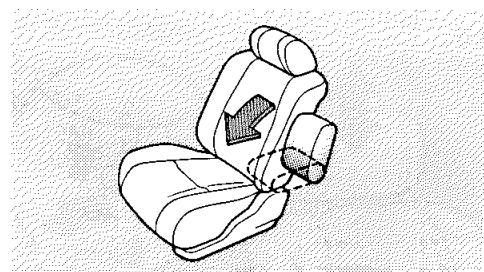
運転席

スイッチの前後を押している間作動します。

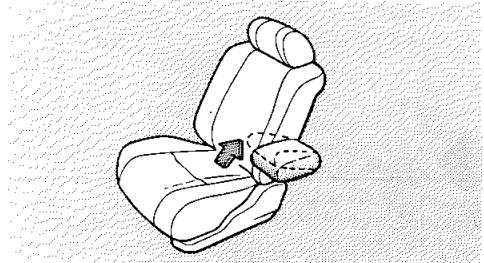


運転席アームレスト

- ①使用するときには最下部まで下げます。



- ②上方に引いて調整します。



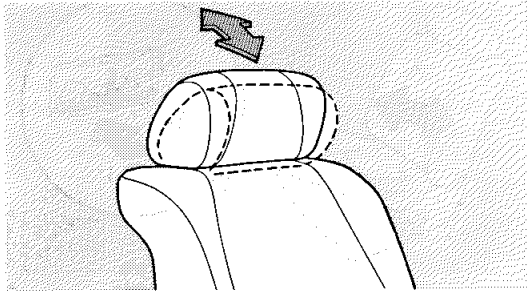
- ③再度調整するときには一度上方いっぱいにおいてから①、②の手順で調整します。

★印はグレード等により装着の有無が異なります。

ヘッドレスト調整

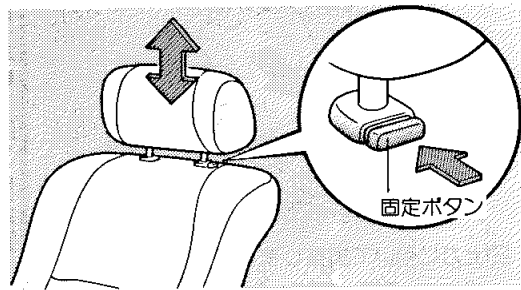
■前後位置

調整したい方向へ押し(または引き)ます。



■上下調整

- 上げるときはそのまま引き上げます。
- 下げるときは、固定ボタンを押したまま押し下げます。



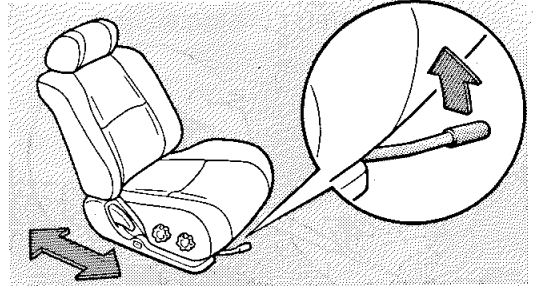
注意

- ヘッドレストをはずしたまま走行しないでください。走行前に必ず取りつけ、ヘッドレスト中央が耳の後方になるように高さを調整してください。
- 前席のヘッドレストを後席に取りつけないでください。前後のヘッドレストを間違っ取りつくと、ヘッドレストを固定することができず思わぬ事故につながるおそれがあります。ヘッドレストを取りつけるときは、カチッという音がして固定されたことを確認してください。

ノーマルシート、スポーツシート★

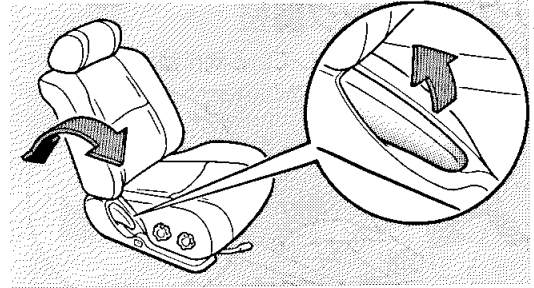
前後位置調整

レバーを引いたまま調整します。



リクライニング調整

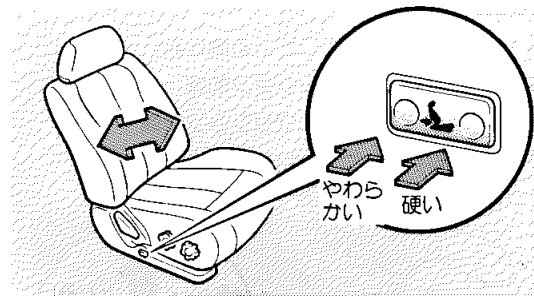
レバーを引いたまま調整します。



腰部硬さ調整ランバーサポート★

運転席

スイッチの前後を押している間作動します。

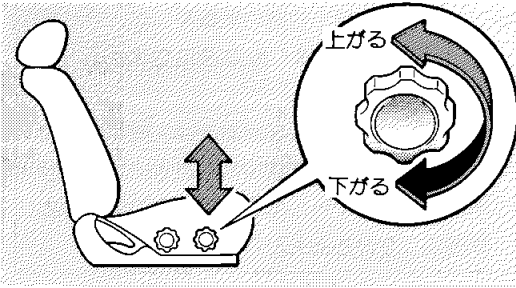


クッションの上下調整

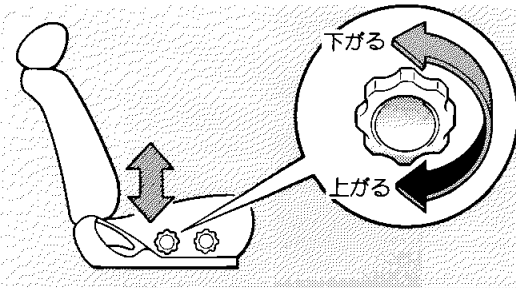
運転席

ハンドルをまわして調整します。

■前端

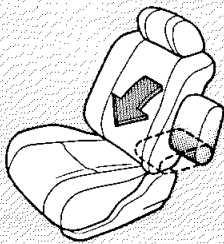


■後端

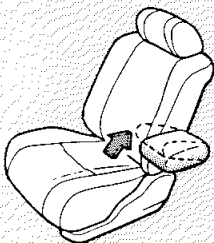


運転席アームレスト★

①使用するときには最下部まで下げます。



②上方に引いて調整します。

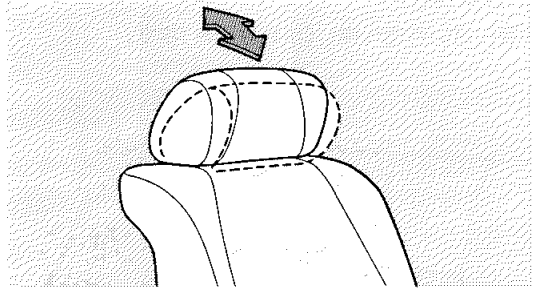


③再度調整するときには一度上方いっぱい引いてから①、②の手順で調整します。

ヘッドレスト調整

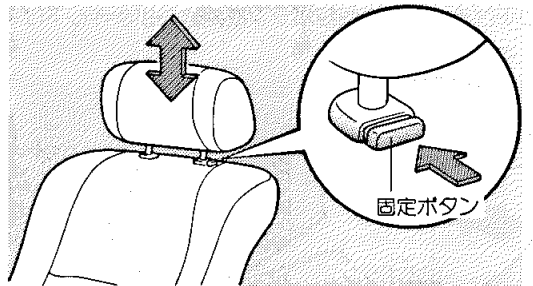
■前後位置★

調整したい方向へ押し(または引き)ます。



■上下調整

- 上げるときはそのまま引き上げます。
- 下げるときは、固定ボタンを押したまま押し下げます。



注意

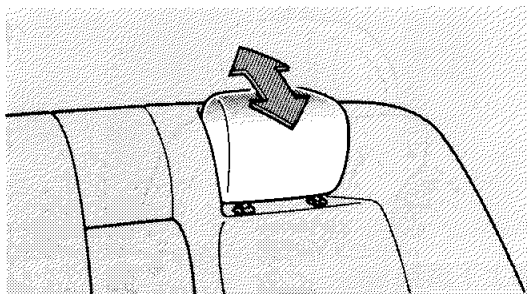
- ヘッドレストをはずしたまま走行しないでください。走行前に必ず取り付け、ヘッドレスト中央が耳の後方になるように高さを調整してください。
- 前席のヘッドレストを後席に取りつけないでください。前後のヘッドレストを間違えて取りつけると、ヘッドレストを固定することができず思わぬ事故につながるおそれがあります。ヘッドレストを取りつけるときは、カチツという音がして固定されたことを確認してください。

リヤシート

ヘッドレスト調整★

■前後位置

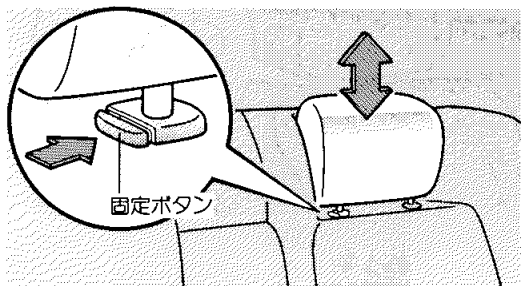
調整したい方向へ押し(または引き)ます。



■上下調整

●上げるときはそのまま引き上げます。

●下げるときは、固定ボタンを押したまま押し下げます。



注意

●ヘッドレストをはずしたまま走行しないでください。走行前に必ず取りつけ、ヘッドレスト中央が耳の後方になるように高さを調整してください。

●後席のヘッドレストを前席に取りつけないでください。前後のヘッドレストを間違っ取りつけると、ヘッドレストを固定することができず思わぬ事故につながるおそれがあります。ヘッドレストを取りつけるときは、カチッという音がして固定されたことを確認してください。

ハンドル



注意

●走行中はハンドル位置の調整をしないでください。運転を誤り思わぬ事故につながるおそれがあります。

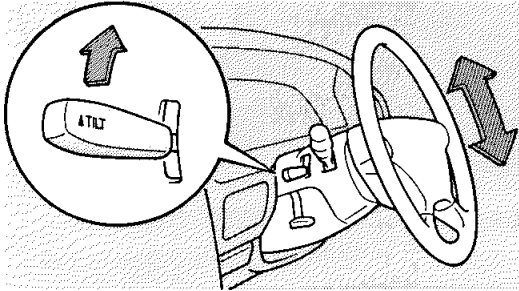
●ハンドル位置を調整したあとは、確実に固定されていることを確認してください。固定が不十分だとハンドル位置が突然変わり思わぬ事故につながるおそれがあります。

チルト&テレスコピックステアリング★

ハンドル位置を上下・前後に調整できます。

■上下調整のしかた

レバーをいっぱい上げたまま、ハンドルを適切な位置にして、レバーから手を離せば固定されます。

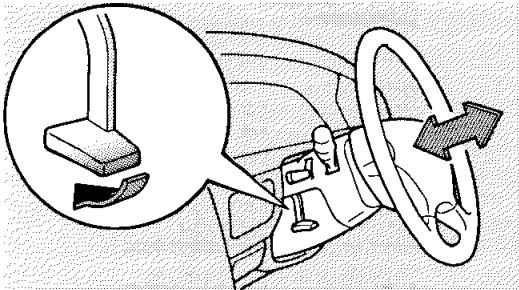


■はね上げのしかた

- レバーをすばやくいっぱい上げると、ハンドル全体が最上段まではね上がります。
- ハンドルを引き下げると記憶されたもとの位置にもどります。

■前後調整のしかた

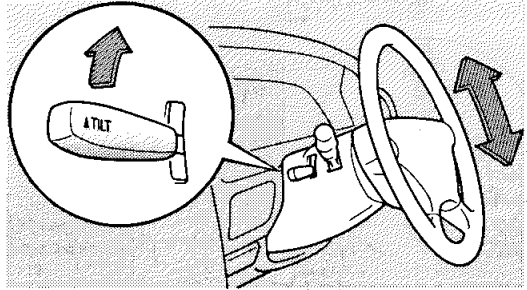
レバーを押し下げ、ハンドルを適切な位置にして、レバーを引き上げれば固定されます。



チルトステアリング★

■上下調整のしかた

レバーをいっぱい上げたまま、ハンドルを適切な位置にして、レバーから手を離せば固定されます。



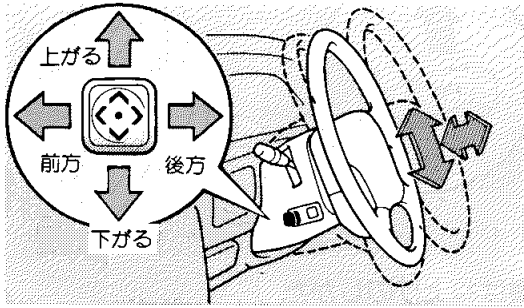
■はね上げのしかた

- レバーをすばやくいっぱい上げると、ハンドル全体が最上段まではね上がります。
- ハンドルを引き下げると記憶されたもとの位置にもどります。

電動チルト&テレスコピックステアリング★

キーが差し込まれているとき、ハンドル位置を前後・上下に調整できます。

スイッチを操作している間、作動します。

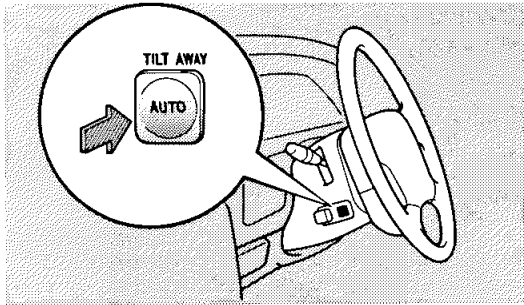


アドバイス

調整した位置をコンピューターが記憶します。
バッテリーをはずすと記憶は消えます。

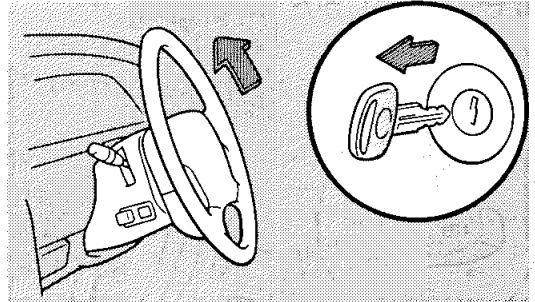
■はね上げのしかた

- ①スイッチを押すごとにONとOFFに切り替わります。
ONのときに作動します。



- ②キーを抜くとハンドルが自動的にはね上がりま
す。

途中で止めたいときはスイッチをOFFにします。

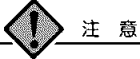


- ③キーを差し込むともとの位置にもどります。

エンジンスイッチがONで、チェンジレバーを②以
外の位置にすると作動は停止します。

★印はグレード等により装着の有無が異なります。

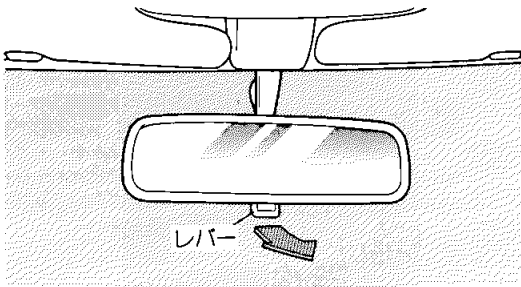
インナーミラー（防眩ミラー）



注意

走行中は、ミラーの調整をしないでください。運転を誤り思わぬ事故につながるおそれがあります。

通常はレバーを前方に押した状態で使用します。後続車のヘッドライトがまぶしいときはレバーを手前に引きます。



電動リモコンミラー



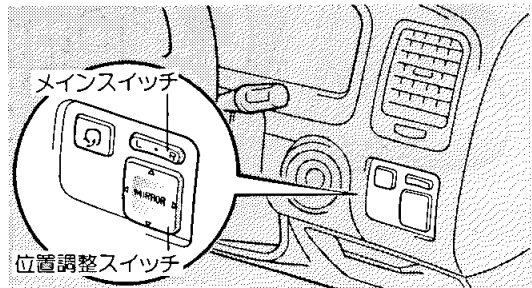
注意

- 走行中は、ミラーの調整をしないでください。運転を誤り思わぬ事故につながるおそれがあります。
- ミラーを倒したまま走行しないでください。ミラーによる後方確認ができず事故につながるおそれがあります
- ドアミラーはフェンダーミラーと比べ次の点で異なります。同じ感覚で運転すると車をぶつけたり、思わぬ事故につながるおそれがあります。十分注意して運転してください。
 - ・ミラーの張り出しが約 10 cm 大きくなります。
 - ・ミラーに映る物の距離感覚が違います。（ドアミラーの方が物が近くに見えます。）

調整のしかた

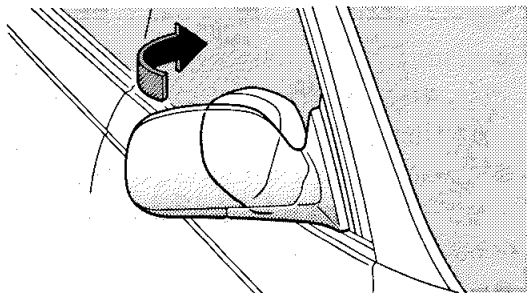
エンジンスイッチがACCまたはONのとき使用できます。

- ① メインスイッチの調整したい側を押します。
- ② 位置調整スイッチでミラーの角度を調整します。



ドアミラーの倒し方★

ミラーを後方に倒すことができます。



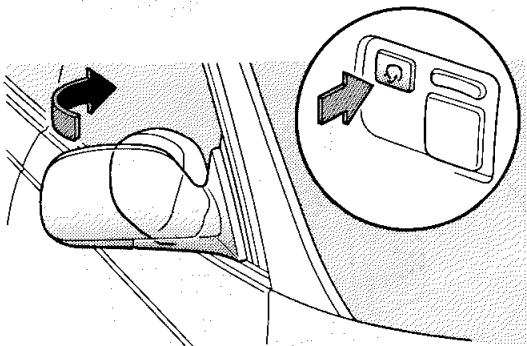
走行するときは“カチツ”と音がするところまで必ずもどしてください。

電動格納式

エンジンスイッチがACCまたはONのとき使用できます。

スイッチを押します。

- もう一度押すともにもどります。
- 手動で倒すこともできます。ただし、助手席側ミラーについては、スイッチ操作後約15秒間は手動で倒したり、もどしたりはできません。



注意

ミラーが動いているときは手を触れたりしないでください。手をはさんだり、ミラーの故障などの原因になるおそれがあります。

★印はグレード等により装着の有無が異なります。

正しい着用があなたの身を守る。

シートベルトの着用

シートベルトは正しく着用しないと効果が半減したり、危険な場合があります。

次の注意、使用方法にしたがって走行前に運転者は必ず着用し、同乗者にも必ず着用させてください。



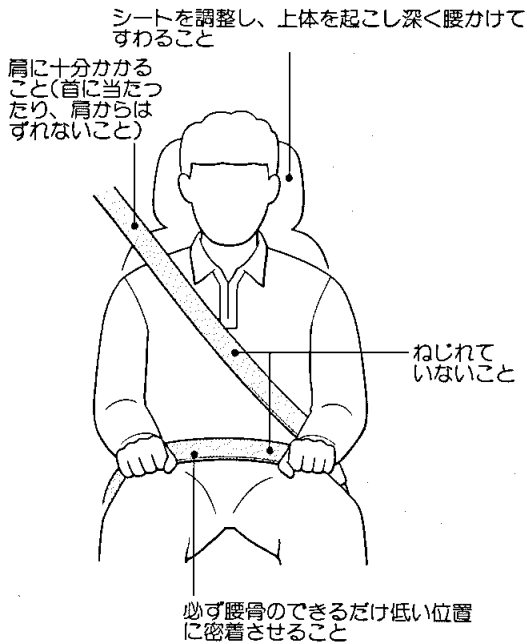
注意

- 車に乗る場合は、全員がシートベルトを着用してください。ベルトを着用しないと、急ブレーキをかけたときや衝突したときなどにケガをするおそれがあり危険です。
- シートベルトは上体を起こして、シートに深く腰かけた状態で着用してください。正しい姿勢で着用しないと十分な効果を発揮しないおそれがあります。正しい姿勢については「フロントシート」を参照してください。
- シートの背もたれを必要以上に倒して走行しないでください。衝突したときなどに体がシートベルトの下にもぐり、腹部などに強い圧迫を受けシートベルトによりケガをするおそれがあり危険です。
- 3点式シートベルトの肩ベルトは、首に当たったり脇の下を通したりして着用しないでください。必ず肩に十分かかるように着用してください。肩ベルトが肩に十分かかっていなかったり、肩ベルトが首に当たっていると衝突したときなどにケガをするおそれがあり危険です。
- シートベルトは必ず腰骨のできるだけ低い位置に密着させて着用してください。シートベルトが腰骨からずれていると衝突したときなどに腹部などに強い圧迫を受けシートベルトによりケガをするおそれがあり危険です。
- シートベルトがねじれたまま着用しないでください。衝突したときなどに衝撃力を十分に分散させることができずシートベルトによりケガをするおそれがあり危険です。
- バックルには異物はいらないよう注意してください。異物がいるとプレートがバックルに完全にはまらない場合があり、十分な効果を発揮しないおそれがあります。異物はいって取れない場合は、すぐにトヨタ販売店で点検を受けてください。
- ハンドルやインストルメントパネルに必要以上近づいて運転しないでください。衝突したときなどにシートベルトが十分な効果を発揮しないおそれがあります。
- シートベルトは1人用です。2人以上で1本のベルトを使用しないでください。衝突のときなどベルトが正常に働かず、ケガをするおそれがあり危険です。
- お子さまでもシートベルトを必ず着用させてください。ひざの上でお子さまを抱いていても、急ブレーキや衝突したときなどに十分に支えることができずお子さまがケガをするおそれがあり危険です。
- シートベルトが首やあごに当たる場合や腰骨にかからないような小さなお子さまはチャイルドシート、ジュニアシートを使用してください。使用しない場合、衝突のときなど強い圧迫を受けシートベルトによりケガをするおそれがあり危険です。また、ひとりすわりのできない小さなお子さまはベビーシートを使用してください。

なお、ベビーシートやチャイルドシート、ジュニアシートについてはトヨタ販売店にご相談ください。
〈選択の目安〉

	体重(kg)	身長(cm)	参考年齢
ベビーシート	～10未満	75以下	～12カ月
チャイルドシート	7～18未満	105以下	6カ月～4才
ジュニアシート	15～32以下	135以下	4才～10才

- シートベルトを着用する場合は洗たくばさみやフリップなどでたるみをつけないでください。ベルトにたるみがあると十分な効果を発揮しないおそれがあります。
- 妊娠中の女性や疾患のあるかたがシートベルトを着用する場合は、衝突のとき腹部などに強い圧迫を受けるおそれがありますので、医師にご相談のうえご使用ください。
- ほつれ、すりきれができた、正常に作動しなくなったシートベルトはすぐに交換してください。また、事故により強い衝撃を受けたり、傷のついたシートベルトは使用しないですぐに新品と交換してください。そのまま使用すると衝突などのとき正常に働かず、十分な効果を発揮しないおそれがあります。
- シートベルトの改造や取り付け・取りはずしなどをしないでください。ベルトの効果が十分に発揮しないおそれがあります。シートベルトの取り付け・取りはずし、交換についてはトヨタ販売店にご相談ください。
- シートベルトの清掃にベンジンやガソリンなどの有機溶剤を使用しないでください。また、ベルトを漂白したり、染めたりしないでください。シートベルトの性能が落ち、十分な効果が発揮できなくなるおそれがあります。清掃するときは中性洗剤かぬるま湯を使用し、乾くまでシートベルトを使用しないでください。



3点式シートベルト

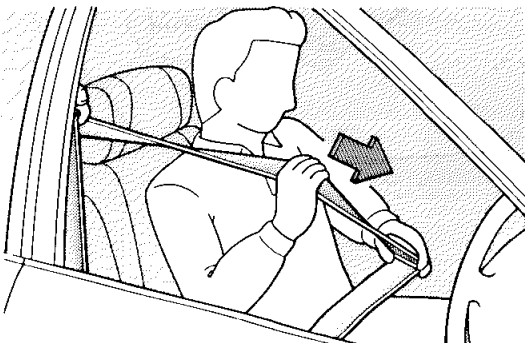
身体の動きにあわせて伸縮しますが、強い衝撃を受けるとベルトが自動的にロックします。

運転席、助手席

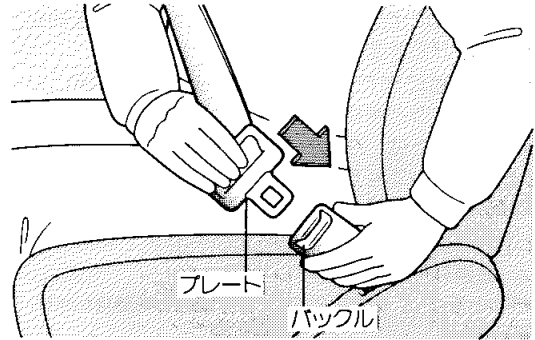
グランテG、グランテG Four、ツアラーV、ツアラーS、グランテ、グランテFourはシートベルト着用時に、ベルトによる肩への圧迫感が少なくなるベルト圧迫感減少装置がついています。

①プレートを持って引き出し、ねじれていないことを確かめます。

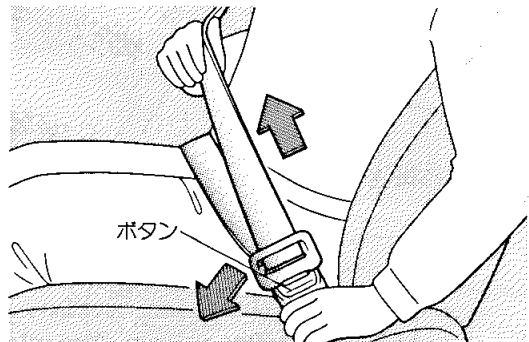
シートベルトがロックしたまま引き出せないときは、一度ベルトを強く引いてからベルトをゆるめ、再度ゆっくりと引き出します。



②プレートをカチッと音がするまでバックルに差し込みます。

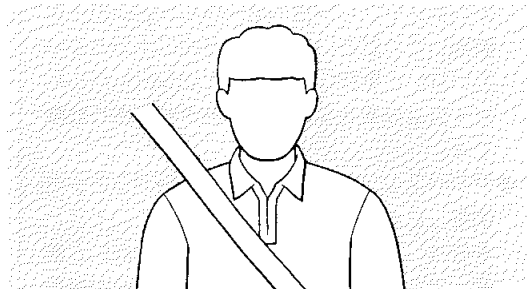


③腰部ベルトは必ず腰骨のできるだけ低い位置にかかるとし、肩部ベルトを引き、腰部に密着させます。



④肩ベルトは必ず肩に十分かかるようにします。

このとき、ベルトが首に当たったり、肩からはずれないようにしてください。フロントシートでベルトが首に当たったり、肩からはずれてしまうときは、アジャスタブルショルダーベルトアンカーでベルトの高さを調整します。アジャスタブルショルダーベルトアンカーの使い方は次ページをご覧ください。



⑤はずすときはバックルのボタンを押します。

アジャスタブルショルダー

ベルトアンカー

ベルトが肩に十分かかるようにベルトの高さを調整することができます。

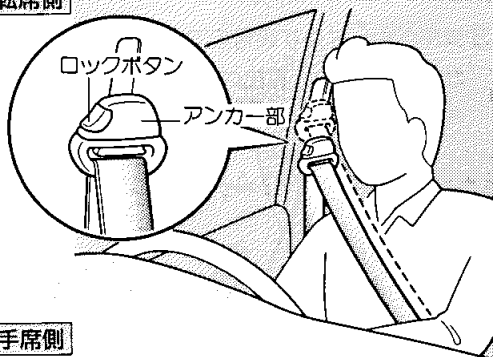
ベルトが首に当たったり、肩からはずれて腕にかかってしまうときに使用します。

調整するときは、ベルトができるだけ肩の中央にかかるようにしてください。

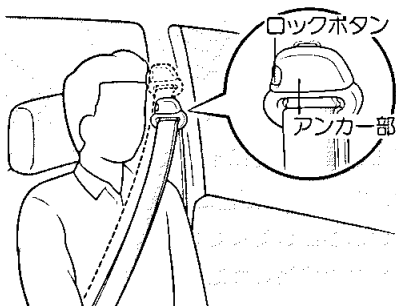
下げるときはロックボタンを押したままアンカー部を下側に、上げるときはアンカー部を上側に操作し、最適な位置で手を離します。

カチツと音がし、確実に固定されていることを確認します。

運転席側



助手席側

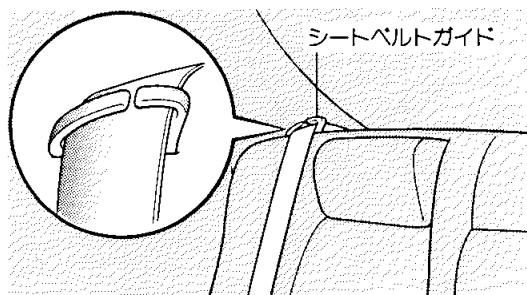


注意

- シートベルトが首に当たらないように、また肩に十分かかるようにできるだけ高い位置にアジャスタブルショルダーベルトアンカーを調整してください。ベルトが肩に十分かかっていないと衝突したときなどにシートベルトが十分な効果を発揮しないおそれがあり危険です。
- アジャスタブルショルダーベルトアンカーを調整したあとは、確実に固定されていることを確認してください。固定されていないと衝突したときなどにシートベルトが十分な効果を発揮しないおそれがあり危険です。

後席左右

- ① シートベルトガイドにベルトがとおっていることを確認します。

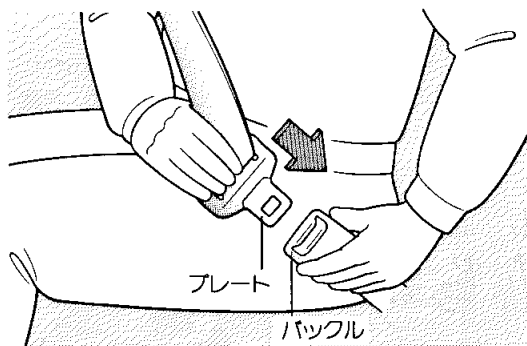


- ② プレートを持って引き出し、ねじれていないことを確かめます。

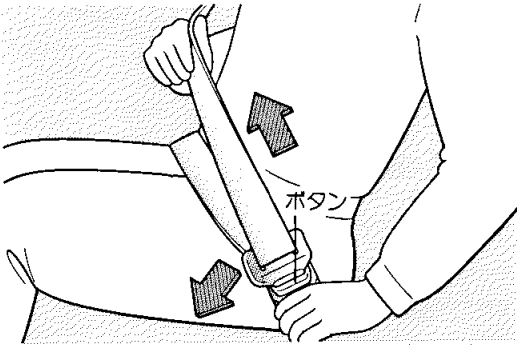
シートベルトがロックしたまま引き出せないときは、一度ベルトを強く引いてからベルトをゆるめ、再度ゆっくりと引き出します。



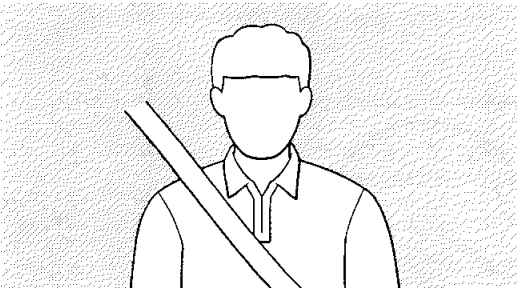
- ③ プレートをカチツと音がするまでバックルに差し込みます。



- ④腰部ベルトは必ず腰骨のできるだけ低い位置にかかるとし、肩部ベルトを引き、腰部に密着させます。



- ⑤肩ベルトは必ず肩に十分かかるようにします。このとき、ベルトが首に当たったり、肩からはずれないようにしてください。

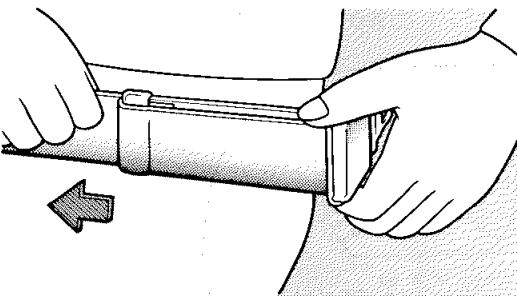


- ⑥はずすときはバックルのボタンを押します。

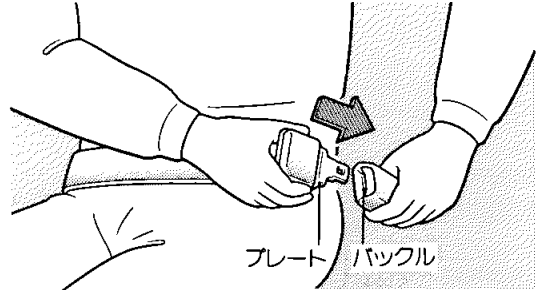
2点式シートベルト

後席中央

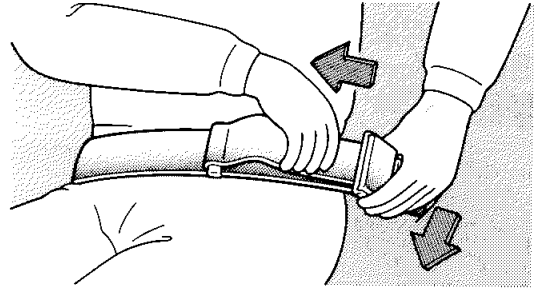
- ①ベルトを引いて必要な長さにします。



- ②ベルトにねじれがないようにし、プレートをかチッと音がするまでバックルに差し込みます。



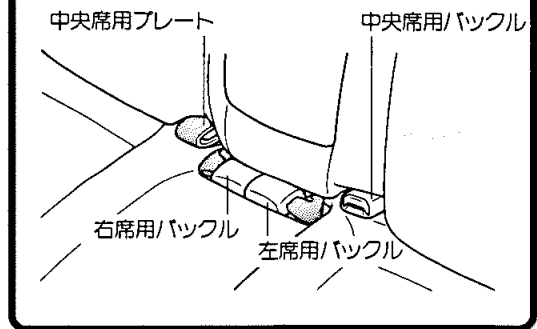
- ③ベルトを引いて必ず腰骨のできるだけ低い位置に密着させます。



- ④はずすときはバックルのボタンを押します。

リヤシートベルトの格納のしかた

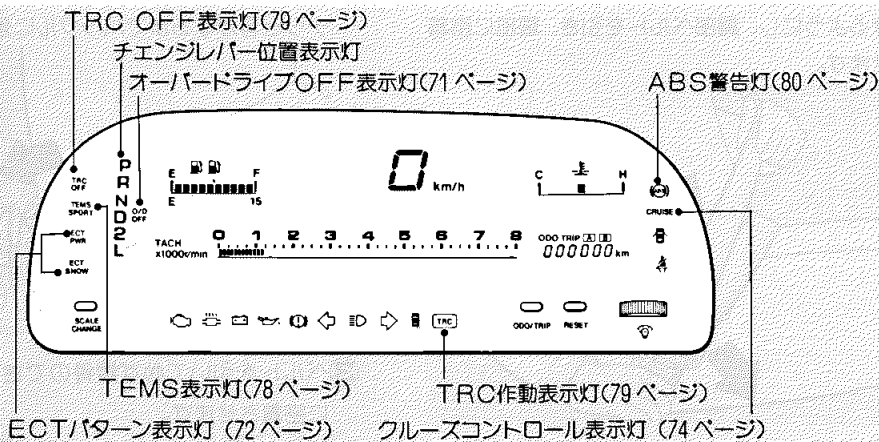
下図のように格納できます



計器類は車の状態を知らせてくれるサイン。

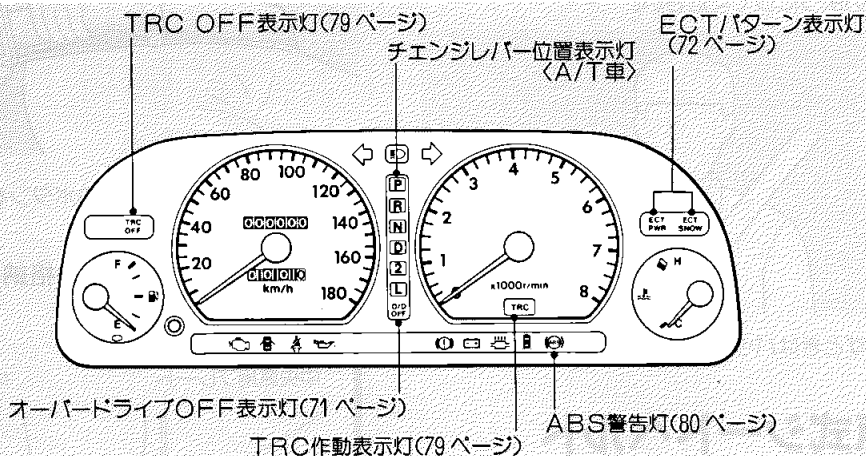
メーター、表示灯、警告灯の見方

デジタル式メーター(FR車)★

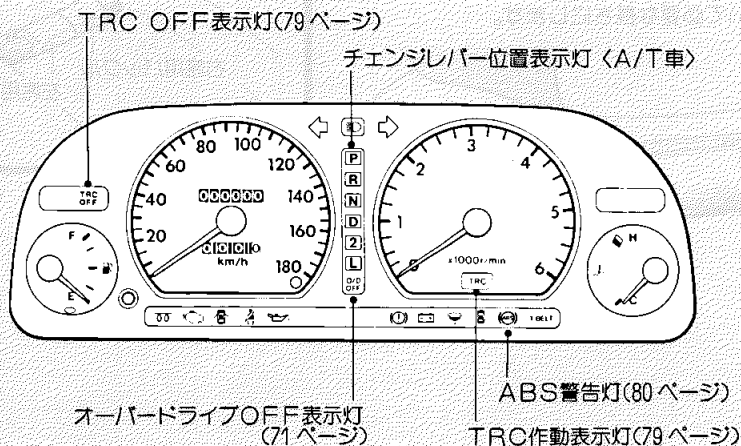


指針式メーター(FR車)★

ガソリン車



ディーゼル車

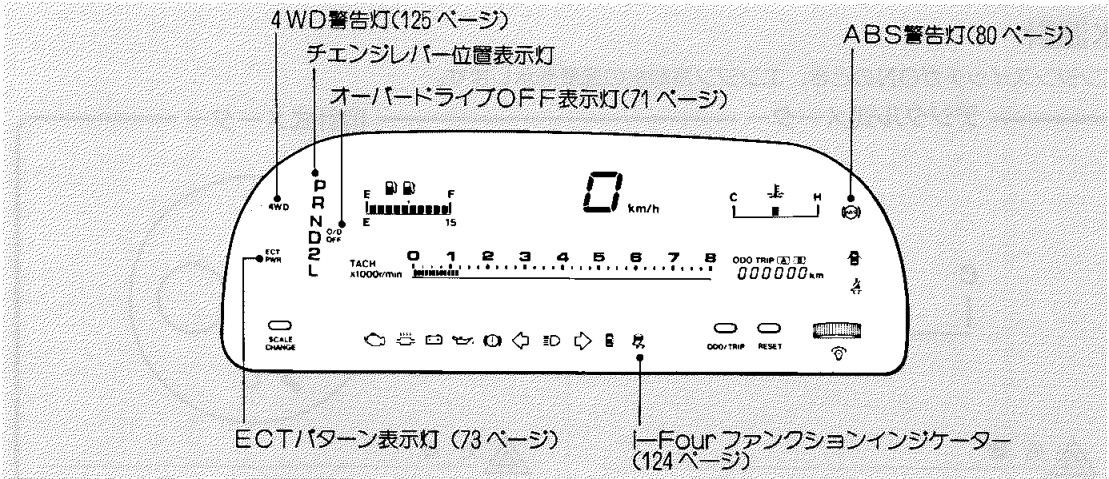


★印はグレード等により装着の有無が異なります。

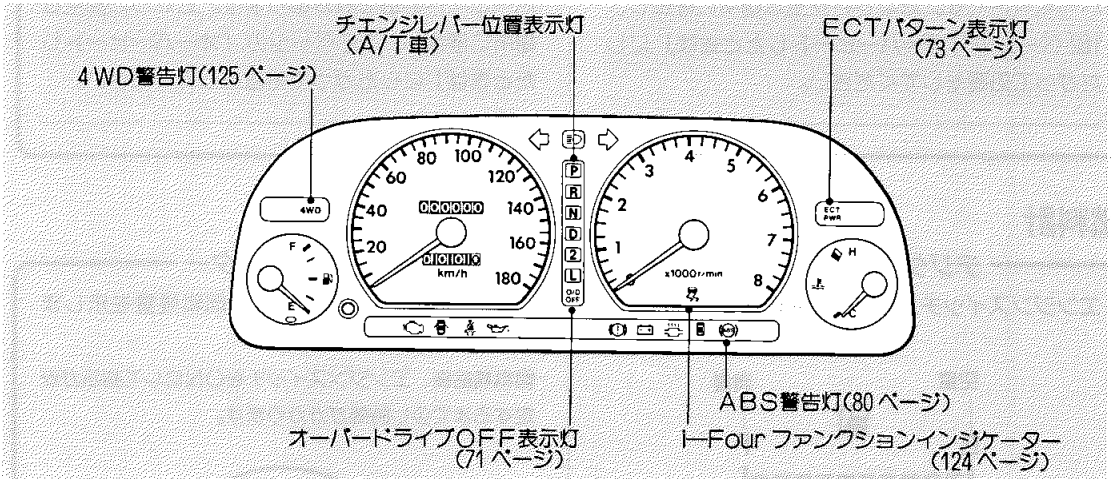
A/T…オートマチックトランスミッション

無断複製禁止

デジタル式メーター(4WD車)★



指針式メーター(4WD車)★

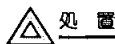


メーター

水温計

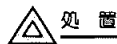
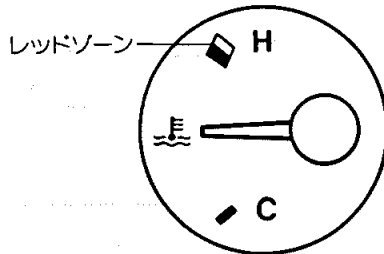
エンジンスイッチがONのとき、エンジン冷却水の温度を示します。

デジタル式メーター



表示部の一番右の部分点が点滅したときは、オーバーヒートです。ただちに安全な場所に停車し、162ページの「オーバーヒートしたときは」にしたがって処置をしてください。

指針式メーター



指針がHのレッドゾーンにはいったときは、オーバーヒートのおそれがあります。ただちに安全な場所に停車し、162ページの「オーバーヒートしたときは」にしたがって処置をしてください。

燃料計

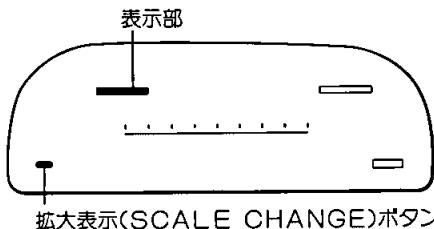
デジタル式メーター

エンジンスイッチがONのとき燃料残量を示します。



拡大表示のしかた

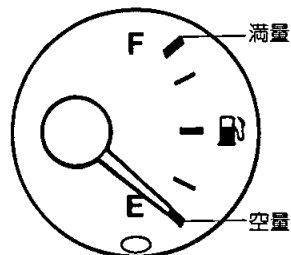
拡大表示(SCALE CHANGE)ボタンを押すと数秒間15ℓ以下の残量を拡大表示します。



指針式メーター

エンジンスイッチに関係なく燃料残量を示します。

燃料補給後、エンジンスイッチをONにして指示が安定するまで少し時間がかかります。



スピードメーター

車両の走行速度を示します。

タコメーター(エンジン回転計)

毎分のエンジン回転数を示します。



注意

表示または指針がレッドゾーン(エンジンの許容回転数を越えている範囲)にはいらないように運転してください。表示または指針がレッドゾーンにはいる運転を続けるとエンジンなどに悪影響をおよぼし、損傷するおそれがあります。

オドメーター

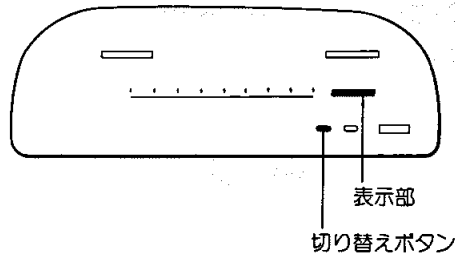
走行した総距離をkmの単位で示します。

デジタル式メーター

表示部がオド表示(ODO)になっているときに総距離を示します。

トリップA、トリップBになっているときは切り替えボタンを押してオド表示にします。

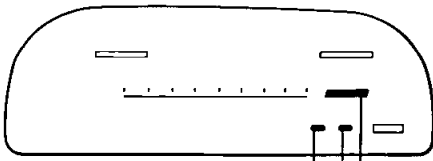
ODO
123456 km



トリップメーター(区間距離計)

区間距離をkmの単位で示します。

デジタル式メーター



2種類の区間距離を示します。 リセットボタン

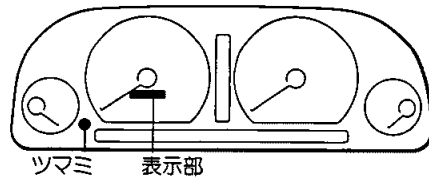
切り替えボタンを押してトリップAまたはトリップBを表示させます。

0にもどすには

リセットボタンを0になるまで押します。

バッテリーとの接続が断られたときは、区間距離計は0になります。

指針式メーター



黒文字は100mの単位です。

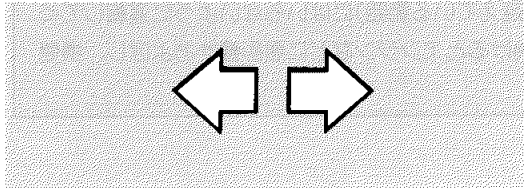
0にもどすには
ツマミを押します。

表示灯

方向指示灯表示灯

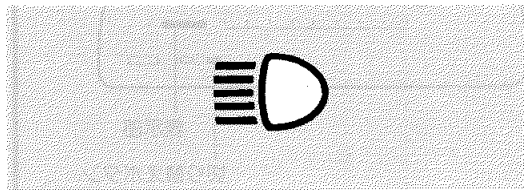
方向指示レバー、非常点滅灯を作動させると点滅します。

点滅が異常に速くなったときは方向指示灯の電球切れが考えられます。



ヘッドランプ上向き表示灯

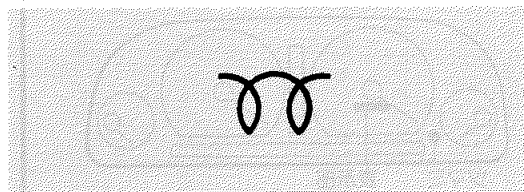
ヘッドランプを上向きにすると点灯します。



予熱表示灯

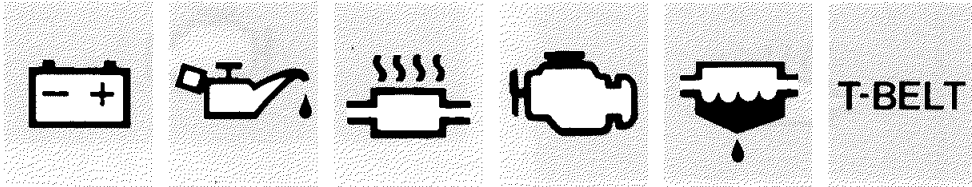
ディーゼル車

エンジンスイッチをONにすると点灯し、予熱プラグの加熱が完了すると消灯します。



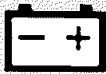
警告灯

下図の警告灯は、エンジンスイッチをONにすると点灯し、エンジンをかけて消灯すれば正常です。エンジンがかかっているときに警告灯が点灯したときは、異常を知らせていますので次の処置が必要です。



充電警告灯

エンジン回転中、充電系統に異常があると点灯します。このとき、排気温警告灯(ガソリン車)、燃料・水分離器水位警告灯(ディーゼル車)、断線警告灯、タイミングベルト交換警告灯(ディーゼル車)も異常の有無にかかわらず同時に点灯します。



△ 処置

エンジン回転中に点灯したときは、ファンベルトの切れなどが考えられます。ただちに安全な場所に停車し、トヨタ販売店へご連絡ください。

油圧警告灯

エンジン回転中、エンジン内部を潤滑しているオイルの圧力に異常があると点灯します。

「油圧警告灯」はオイル量を示すものではありません。オイル量の点検は必ず運行前にオイルレベルゲージにより行ってください。

(点検方法は「メンテナンスノート」を参照してください。)



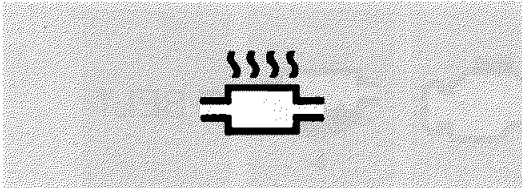
△ 処置

エンジン回転中に点灯したときは、ただちに安全な場所に停車しエンジンを止めて、トヨタ販売店へご連絡ください。

排気温警告灯

ガソリン車

エンジン回転中、触媒装置の温度が異常に高くなると点灯します。



注意

枯れ草などの燃えやすいものの上に車を止めないでください。火災につながるおそれがあり危険です。

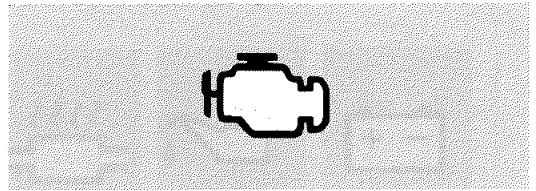


処置

- エンジン回転中に点灯したときは、ただちに安全な場所に停車し、エンジンを止めてください。
- 約 10 分間エンジンを止めたあと、エンジンを始動して消灯していれば走行できます。
- 消灯しないときまたは再び点灯するときは、そのまま使用せずトヨタ販売店で点検を受けてください。

エンジン警告灯

エンジン回転中、エンジン電子制御システムに異常があると点灯します。



処置

エンジン回転中に点灯したときは、ただちにトヨタ販売店で点検を受けてください。

燃料・水分離器水位警告灯

ディーゼル車

エンジン回転中、燃料・水分離器内に規定レベル以上の水がたまると点灯します。



注意

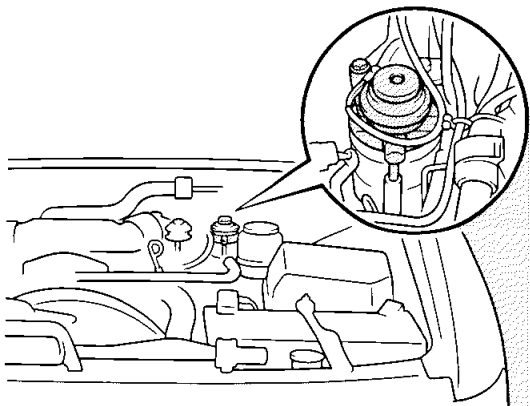
点灯したまま走行を続けしないでください。噴射ポンプが焼きつきエンジンを損傷するおそれがあります。



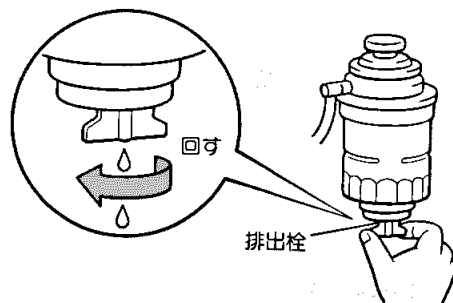
処置

エンジン回転中に点灯したときは、すみやかに排水してください。

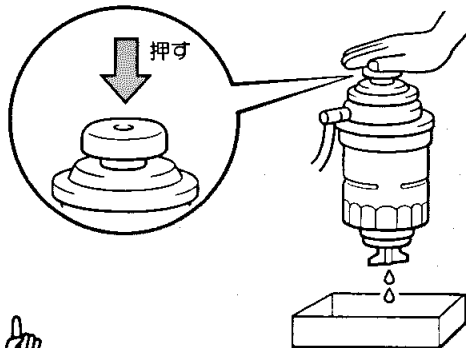
排水方法



- ①エンジンを停止します。
- ②軽油が飛散ないように排出栓の下に受け皿などを置きます。
- ③排出栓を左にまわします。



- ④ポンプを押し、水を排出します。



アドバイス

コップ半分くらいの水を排出します。

- ⑤排水処理が終わったら、排出栓を確実に締めつけます。



アドバイス

排出栓の締めつけは、手で行ってください。

タイミングベルト交換警告灯

ディーゼル車

走行距離が10万kmをこえるとエンジン回転中に点灯し、タイミングベルトの交換をうながします。

T-BELT

△ 処置

- エンジン回転中に点灯したときは、ただちにトヨタ販売店で点検を受けてください。
- 点灯したまま走行を続けると、タイミングベルトが切れてエンジンを損傷するおそれがあります。

ブレーキ警告灯

エンジンスイッチがONで次のような場合に点灯します。

- パーキングブレーキをかけたままのとき
- ブレーキ液の不足
- ブレーキブースター(ブレーキ倍力装置)系統の異常<ディーゼル車のみ>



△ 処置

- エンジン回転中にパーキングブレーキを解除しても点灯したままのときは、ただちに安全な場所に停車し、トヨタ販売店へご連絡ください。
- この場合ブレーキの効きが悪くなっているおそれがあります。効きが悪いときはブレーキペダルを強く踏んでください。

走行中、異音(キーキー音)が発生したときはブレーキ(ブレーキパッド)の摩耗が考えられますので、ただちにトヨタ販売店で点検を受けてください。

警告ブザー

ディーゼル車

オルタネーター用ベルトに異常があると鳴ります。



アドバイス

エンジンスイッチがONで次のような場合、ブザーが鳴ることがありますが異常ではありません。

この場合エンジンをかけると止まります。

- エンジン停止状態が続いたとき
- エンストしたとき

△ 処置

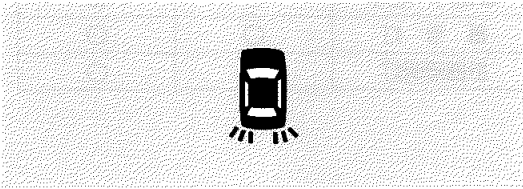
- エンジン回転中にブザーが鳴ったときは、ただちに安全な場所に停車し、トヨタ販売店へご連絡ください。
- この場合ブレーキの効きが悪くなっているおそれがあります。効きが悪いときはブレーキペダルを強く踏んでください。

断線警告灯

エンジンスイッチをONにすると点灯し、エンジンがかかると消灯します。

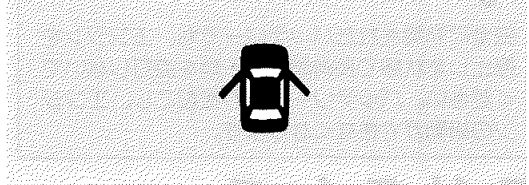
エンジン回転中、尾灯または制動灯の電球が切れているときに点灯します。

- 尾灯はライトスイッチをONにしたとき
- 制動灯はブレーキペダルを踏んだとき



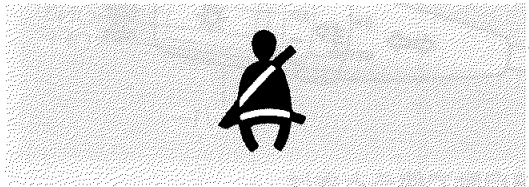
半ドア警告灯

ドアが確実に閉まっていないときに点灯します。



シートベルト警告灯

エンジンスイッチがONのとき、運転席シートベルトを着用していないと点灯します。



燃料残量警告灯

エンジンスイッチがONのとき約 10 ℓ 以下になると点灯します。

デジタル式メーター	指針式メーター
<p style="text-align: center;">警告灯</p>	<p style="text-align: right;">警告灯</p>

△ 処置

点灯したときは、すみやかに燃料を補給してください。

クリアな視界でセーフティドライブ。

視界の確保

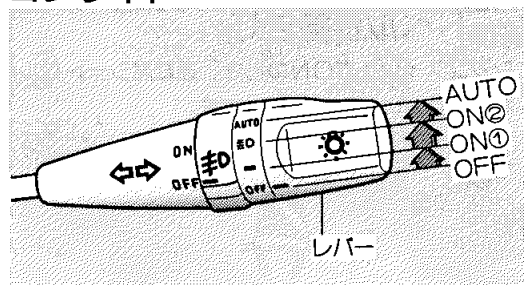


注意

完全に充電されたバッテリーでも、エンジンを停止した状態で長時間ライト類を点灯しないでください。バッテリーあがりを起こし、エンジンの始動ができなくなります。

ライトスイッチ

コンライト(自動点灯・消灯装置)★



■自動で使うときは

エンジンスイッチがONのとき使用できます。

- レバーをAUTOの位置にまわすと、外の明るさに応じてヘッドランプ、車幅灯などが自動で点灯・消灯します。
- エンジンを止め、運転席ドアを開くと自動的に消灯します。エンジンスイッチをONにすると再び点灯します。



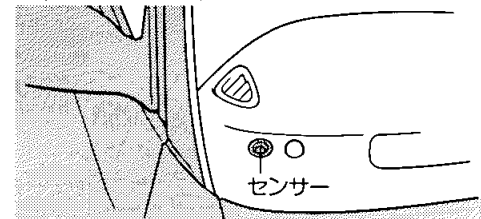
アドバイス

ランプの点灯・消灯が早い(または遅い)と感じたときは、感度の調整ができますのでトヨタ販売店へご相談ください。



注意

自動点灯・消灯装置のセンサーの上に物を置いたり、ガラスクリーナーなどを吹きかけないようにしてください。センサーが正常に作動しないおそれがあります。



★印はグレード等により装着の有無が異なります。

■手動で使うときは

エンジンスイッチに関係なく使用できます。

レバーをまわすとON①、ON②の位置で、下表○印のランプが点灯します。

灯火名	ON①	ON②
ヘッドランプ	—	○
車幅灯、尾灯	○	○
番号灯	○	○
計器照明灯	○	○

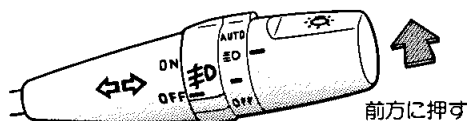
■ライト消し忘れ警告ブザー

ライトスイッチがONのまま、エンジンスイッチからキーを抜いて運転席側ドアを開くとブザーが鳴りランプ類の消し忘れを警告します。

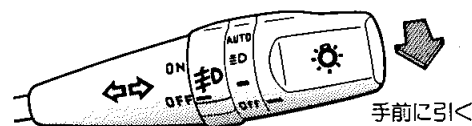
■ヘッドランプを遠くまで照らすには

レバーを前方に押します。

ヘッドランプが上向きときは計器内のヘッドランプ上向き表示灯が点灯します。



ライトスイッチがOFFでもレバーを手前に引いている間、ヘッドランプが上向きとなります。計器内のヘッドランプ上向き表示灯が点灯します。

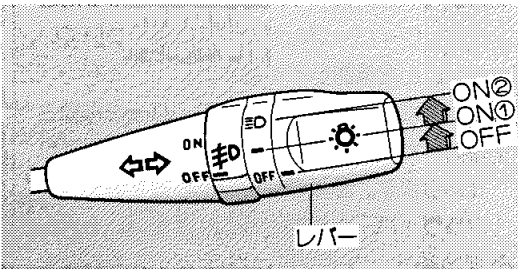


手動切り替え式★

エンジンスイッチに関係なく使用できます。

レバーをまわすとON①、ON②の位置で、下表○印のランプが点灯します。

灯火名	ON①	ON②
ヘッドランプ	—	○
車幅灯、尾灯	○	○
番号灯	○	○
計器照明灯	○	○



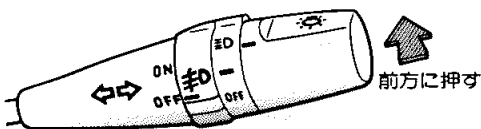
ライト消し忘れ警告ブザー

ライトスイッチがONのまま、エンジンスイッチからキーを抜いて運転席側ドアを開くとブザーが鳴りランプ類の消し忘れを警告します。

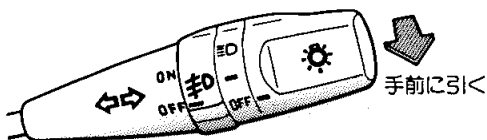
ヘッドランプを遠くまで照らすには

レバーを前方に押します。

ヘッドランプが上向きときは計器内のヘッドランプ上向き表示灯が点灯します。



ライトスイッチがOFFでもレバーを手前に引いている間、ヘッドランプが上向きとなります。計器内のヘッドランプ上向き表示灯が点灯します。



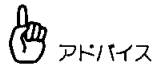
方向指示レバー

エンジンスイッチがONのとき使用できます。

- レバーを上または下へ操作すると、左または右側の方向指示灯が点滅します。計器内にある方向指示灯表示灯も点滅します。

レバーはハンドルをもどすと自動的にもどりません。もどらないときは、手でもどしてください。

- 車線変更などのときには、レバーを軽く上または下へ押さえている間、それぞれの方向指示灯および方向指示灯表示灯が点滅し、手を離すと消灯します。



点滅が異常に速くなったときは、方向指示灯の電球切れが考えられます。

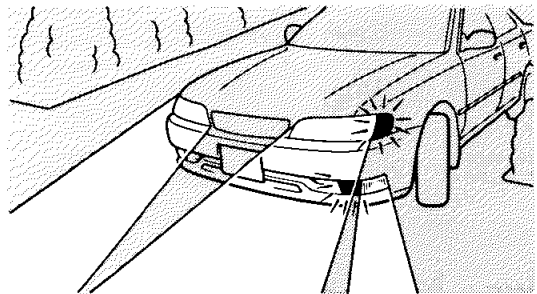
コーナリングランプ

エンジンスイッチがONでヘッドランプ点灯時に使用できます。

方向指示レバーを操作するとまがる方向の横前方を照らします。

方向指示レバーを操作すると点灯します。

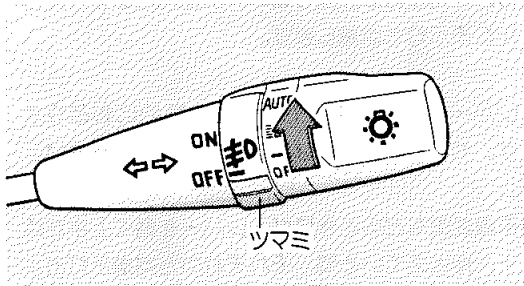
方向指示レバーがもどると消灯します。



フォグランプスイッチ

ライトスイッチがONのとき使用できます。

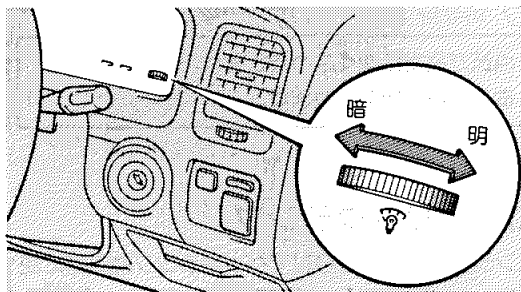
つまみをまわします。




メーター照度調整スイッチ★

エンジンスイッチがONのとき使用できます。

ダイヤルをまわします。



 アドバイス


ダイヤルを右いっぱいまでまわしておくと車幅灯が点灯しても減光されません。

ワイパー&ウォッシャースイッチ

エンジンスイッチがONのとき使用できます。

 注意

- 凍結などでワイパーゴムがガラスに張りついたまま作動させないでください。ガラスに張りついたまま作動させるとワイパーゴムを損傷するおそれがあります。凍結のおそれがあるときや長時間ワイパーを使用しなかったときは、ワイパーゴムがガラスに張りついていないことを確認してください。
- ガラスが乾いているときにワイパーを作動させないでください。ガラスを傷つけるおそれがあります。必ずウォッシャー液を噴射してからワイパーを作動させてください。
- 寒冷時は、ウィンドウガラスが暖まるまでウォッシャー液を使用しないでください。ウォッシャー液がフロントガラスに凍りつき視界不良をおこすおそれがあります。
- ウォッシャー液が出ないとき、長時間そのまま作動させないでください。ポンプが故障するおそれがあります。

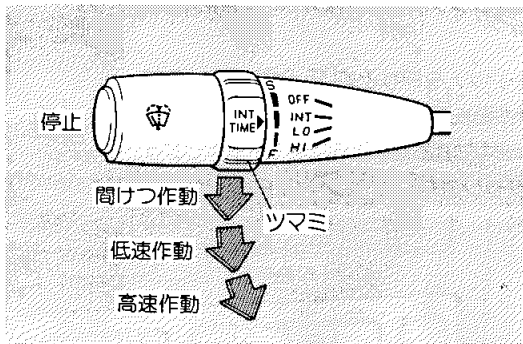
 アドバイス

- ワイパーモーターには、保護機能としてブレーカーを内蔵しています。モーターの負担が大きい状況が続いたときなどには、ブレーカーが作動し、一時的にモーターが止まることがあります。その場合は、一度ワイパースイッチをOFFにし、10分ほどして再度スイッチをONにしてください。
- 積雪などにより、ワイパーが途中で止まったときは、車を安全な場所に止めてエンジンスイッチをACCまたはLOCKの位置にし、ワイパーが作動できるように積雪などの障害物を取り除いてください。

フロント

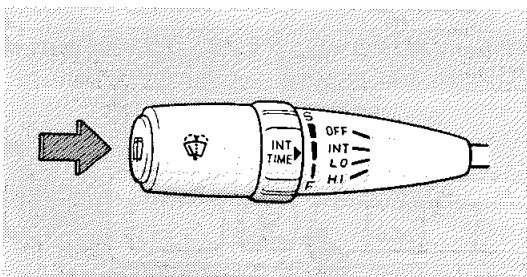
■ワイパーの使い方

INT位置のときつまみをまわすと、間けつ時間を約3～12秒の間で調整できます。



■ウォッシャー液の噴射方法

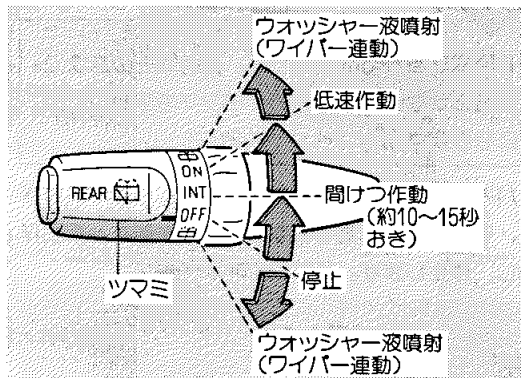
レバー先端についているスイッチを押すとウォッシャー液が噴射され、ワイパーが数回作動します。





リヤ★

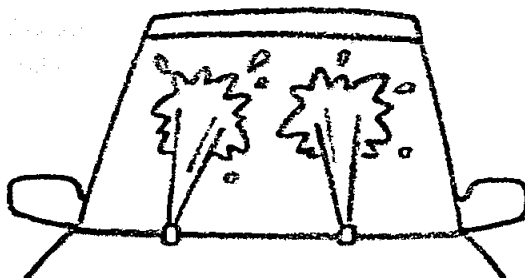
■ワイパーの使い方

つまみを図のようにまわすと作動します。



■ウォッシャー液の噴射方法

- レバーをOFFの位置から下の  側にまわすとウォッシャー液が噴射されます。
- 低速作動中にウォッシャー液を噴射させるときはONの位置から上の  側にまわします。



油膜取りスイッチ★

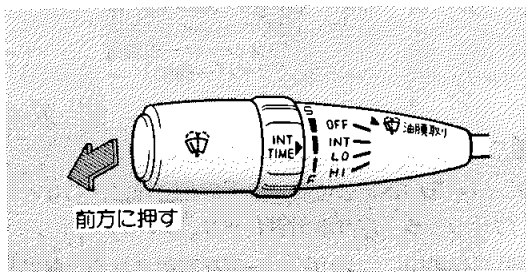
エンジンスイッチがONのとき使用できます。



注意

油膜取り液がでないときは、長時間そのままで作動させないでください。ポンプの故障の原因になります。

レバーを前方に押し続けている間、油膜取り液が噴射され、ワイパーが作動します。レバーを離すと数回作動し、停止します。



アドバイス

油膜取り液の補給は132ページを参照してください。

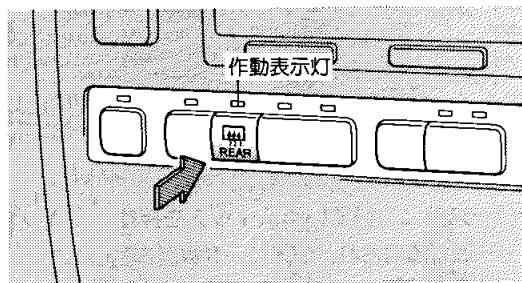
リヤウインドウデフォグガー(曇り取り)スイッチ

リヤウインドウガラスの曇りを取ります。エンジンスイッチがONのとき使用できます。

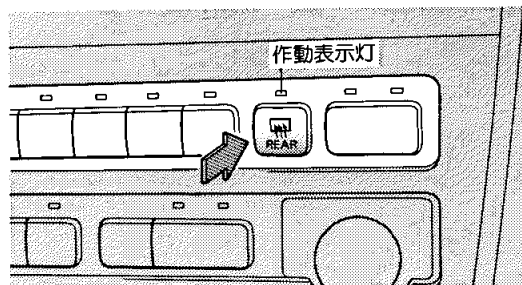
スイッチを押すと約15分間作動します。

- 作動表示灯が点灯します。
- 途中で止めたいときはもう一度押します。

グランテG、グランテG Four



ツアラーV、ツアラーS、グランテ、グランテFour、グロワール、GL



注意

連続して使用することは、できるだけ避けてください。バッテリーあがりを起こすおそれがあります。

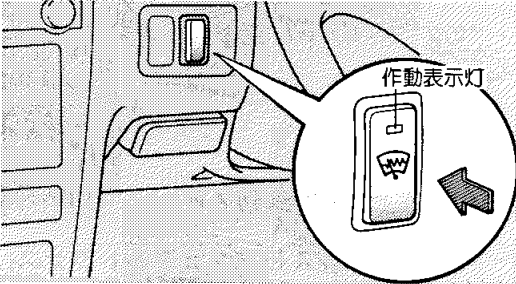
熱線入りフロントウインド シールドガラススイッチ

寒冷地仕様車、スノーバージョン車に注文装備

フロントウインドウガラスの下部および運転席側ピラー部の表面を暖めて、ガラス表面の雪や氷を取り除きやすくします。

エンジンスイッチがONのとき使用できます。
スイッチを押すと約 20 分間作動します。

- 作動表示灯が点灯します。
- 途中で止めたいときはもう一度押します。



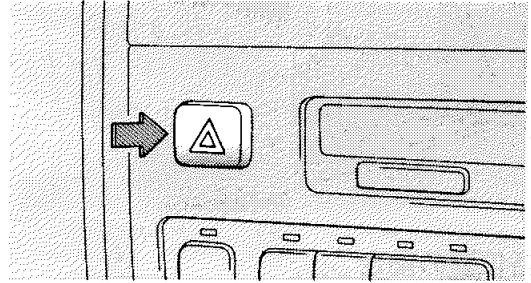
注意

- ワイパーアームはセミコンシールド式で使用してください。フルコンシールド式で使用するとう雪や氷がとけずにワイパーゴムが凍結するおそれがあります。
セミコンシールド式への切り替え方法は 142 ページを参照してください。
- 連続して使用することは、できるだけ避けてください。バッテリーあがりを起こすおそれがあります。

非常点滅灯スイッチ

故障などでやむをえず路上駐車する場合、他車に知らせるため使用します。

- スイッチを押すとすべての方向指示灯が点滅します。計器内にある方向指示灯も点滅します。
- もう一度押すと消灯します。



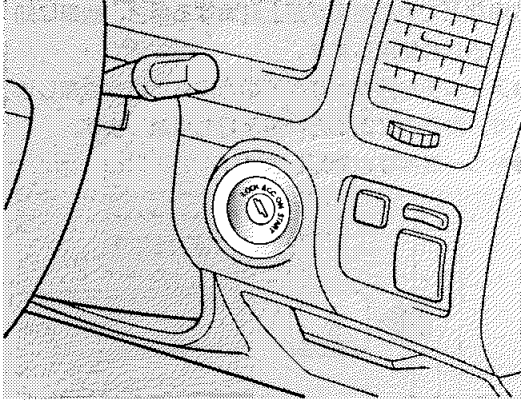
注意

エンジンを停止した状態で長時間使用しないでください。バッテリーあがりを起こし、エンジンの始動ができなくなります。

正しい操作がスムーズな走りの基本。

運転装置

エンジンスイッチ



各位置の働き

LOCK
(ロック)

キーを抜き差しできる位置。
キーを抜くとハンドルがロックされます。

ACC
(アクセサリー)

エンジン停止時、次のものが使用できる位置。
オーディオ、シガレットライター、
電動リモコンミラー

ON
(オン)

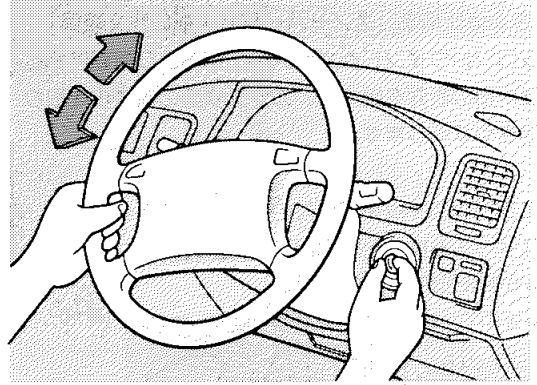
エンジン回転中の位置。
ディーゼル車は始動時予熱プラグ
を加熱します。

START
(スタート)

エンジンを始動する位置。

LOCKからACCにまわすとき

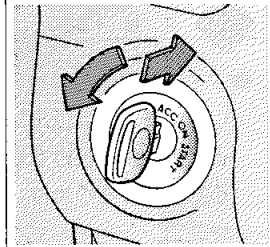
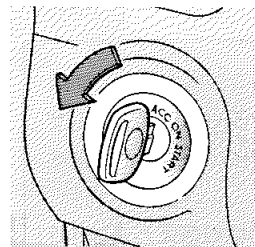
キーがまわりにくいときは、ハンドルを軽く左右に動かしながらキーをまわします。



ACCからLOCKにまわすとき

オートマチックトランス
ミッション車

マニュアルトランス
ミッション車



チェンジレバーが①の位置にないとまわせません。キーを押しながらまわします。



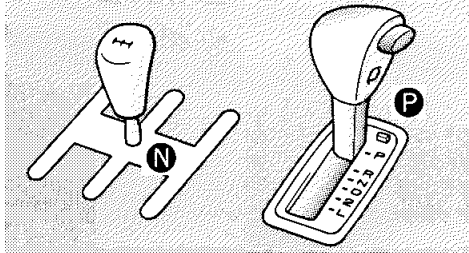
注意

エンジン停止時はエンジンスイッチをLOCKにしてください。エンジンスイッチをONまたはACCのまま放置すると、バッテリーあがりを起こし、エンジンの始動ができなくなるおそれがあります。

エンジンのかけ方

エンジンをかけるまえに

- ①パーキングブレーキをかけていることを確認します。
- ②チェンジレバーを、マニュアル車はN、オートマチック車はPの位置（Nでも始動できますが、安全のためPで行ってください。）にあることを確認します。



エンジンのかけ方

■ガソリン車

- ①エンジンスイッチをスタート位置にまわしエンジンを始動します。
アクセルペダルを踏まずに行います。
- ②エンジンがかかったらしばらく暖機運転をします。
暖機が終われば自動的にエンジン回転が下がります。

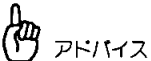
■ディーゼル車

- ①エンジンスイッチをONにします。
予熱表示灯が点灯します。



注意

表示灯が点灯しているときは、エンジンをかけないでください。バッテリーの寿命に悪影響をおよぼします。



アドバイス

表示灯の点灯時間は、エンジンが冷えていると長くなります。

- ②予熱表示灯が消灯したら、エンジンスイッチをスタート位置にまわし、エンジンを始動します。
 - アクセルペダルを踏まずに行います。
 - マニュアル車はクラッチペダルをいっぱいに踏み込みます。



アドバイス

極寒時はアクセルペダルをいっぱい踏み込んだまま30秒を限度にエンジンがかかるまでエンジンスイッチをまわしつけてください。30秒間始動してもかからないときは、エンジンスイッチをACCにもどし、20秒以上待ってから再始動してください。

- ③エンジンがかかったらしばらく暖機運転をします。

パーキングブレーキ



注意

パーキングブレーキをかけたまま走行しないでください。

ブレーキ部品が早く摩耗したり、ブレーキが過熱し効きが悪くなるおそれがあります。

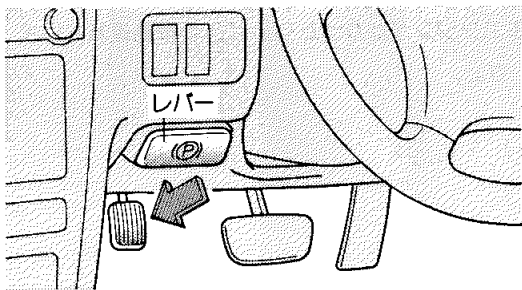
■足踏み式

■駐車するときは

ペダルをいっぱい踏み込みます。

■もどすときは

レバーを引きます。



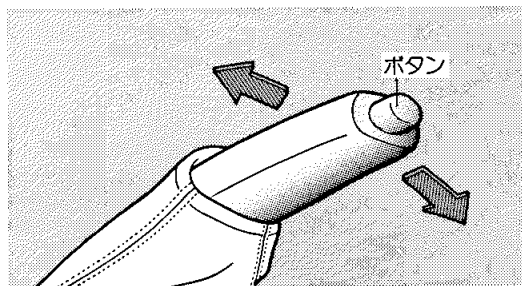
■センターレバー式

■駐車するときは

ボタンを押さずにレバーをいっぱいまで引きます。

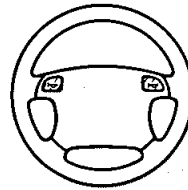
■もどすときは

レバーを少し引き上げながら先端のボタンを押さえて、もどします。

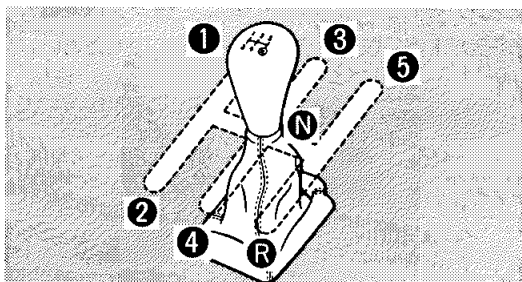


ホーン

☞ 周辺部を押します。



マニュアルトランスミッション



Ⓡにいれるときは

⑤→⑥へは直接いれることができません。
いったんⓃにしてからⓇへいれます。

駐車するときは

パーキングブレーキをかけ、チェンジレバーを平地
や下り坂ではⓇ、上り坂では①の位置にします。



注意

車両が動いているときはⓇにいれないでください。
車が完全に止まってから操作しないとトランスミッションを損傷するおそれがあります。

各シフト位置での速度限界

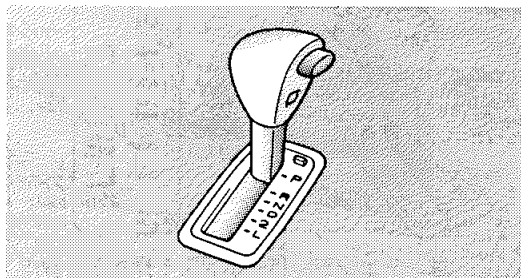
エンジンを過回転させないために、各シフト位置での速度が下表の数値をこえないようにしてください。

(単位: km/h)

エンジン型式 シフト位置	1JZ-GTE	1G-FE	4S-FE	2L-TE
1速	55	40	50	30
2速	95	80	90	50
3速	145	120	130	80
4速	180	155	180	110

オートマチックトランスミッション

16ページの「オートマチック車の正しい運転のしかた」もあわせてお読みください。



各位置の働き



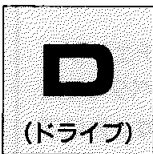
駐車およびエンジン始動
車輪が固定されます。駐車
のときは必ずⓇにしてください。
(Ⓡでのみエンジンスイッチから
キーが抜けます。)



後退
ブザーが鳴りⓇにあることを運
転者に知らせます。



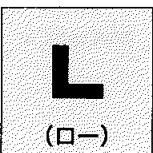
動力が伝わらない状態
Ⓝでもエンジンは始動できま
すが、安全のためⓇで行ってくだ
さい。



通常走行
スピードに応じてギヤが自動的
にかかります。

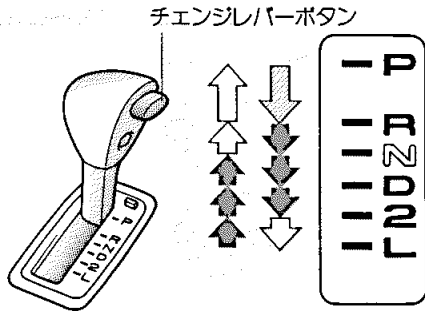





下り坂走行
エンジンブレーキが必要な場合
に使います。



急な下り坂走行
強力なエンジンブレーキが必要
な場合に使います。

チェンジレバーの動かし方



-  は、チェンジレバーボタンを押さずに操作します。
-  は、チェンジレバーボタンを押して操作します。
-  は、ブレーキペダルを踏んだまま、チェンジレバーボタンを押して操作します。



注意

➡の操作はレバーボタンを押さずに操作してください。いつもレバーボタンを押して操作していると意に反してP、RまたはLにいれてしまい、思わぬ事故につながるおそれがあります。



アドバイス

- エンジンスイッチがACCまたはLOCKのときにブレーキペダルを踏んでもPからレバー操作できません。
- Pからレバー操作するときに、チェンジレバーボタンを押したままブレーキペダルを踏むと操作できないことがあります。先にブレーキペダルを踏み操作してください。

各シフト位置での速度限界

エンジンを過回転させないために、各シフト位置での速度が下表の数値をこえないようにしてください。

(単位: km/h)

エンジン シフト位置	2JZ-GE	1JZ-GTE	1JZ-GE	1G-FE	4S-FE	2L-TE
L	65	70	55	60	65	50
2	110	120	105	110	110	90



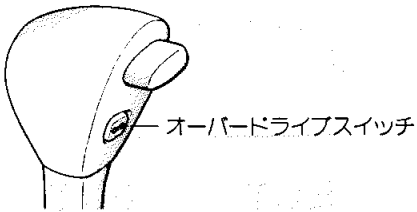
アドバイス

クルーズコントロールを使用して定速走行しているときは、チェンジレバーを②にいれてもクルーズコントロールが解除されないため、エンジンブレーキは効きません。減速が必要なときの操作方法は74ページをご覧ください。

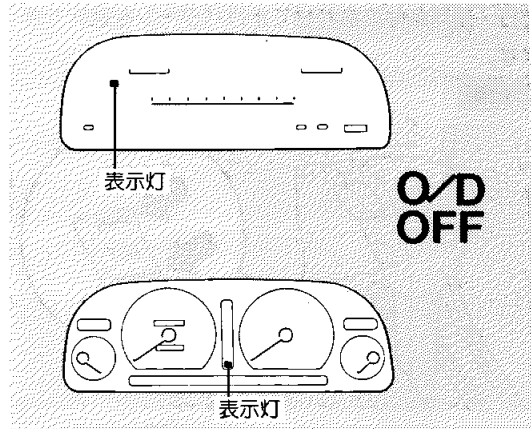
オーバードライブ(O/D)スイッチ

ギヤ比の高い4速ギヤ(オーバードライブギヤ)を備えています。

スイッチをONにしておくこと①の位置で走行中、4速ギヤにはいり、燃費性能と静粛性を高めます。



■オーバードライブOFF表示灯



	スイッチの状態	表示灯
ON		O/D OFF (消灯)
OFF		O/D OFF (点灯)

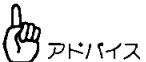
■通常走行

スイッチをONにします。

■坂道走行

スイッチをOFFにすると下り坂では軽いエンジンブレーキが得られます。

上り坂では変速回数の少ないなめらかな走行ができます。



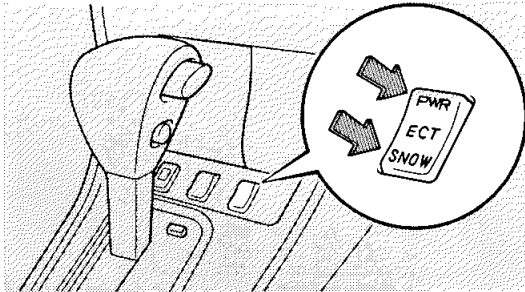
アドバイス

クルーズコントロールを使用して定速走行しているときは、O/DスイッチをOFFにしてもクルーズコントロールが解除されないため、エンジンブレーキは効きません。減速が必要なときの操作方法は74ページをご覧ください。

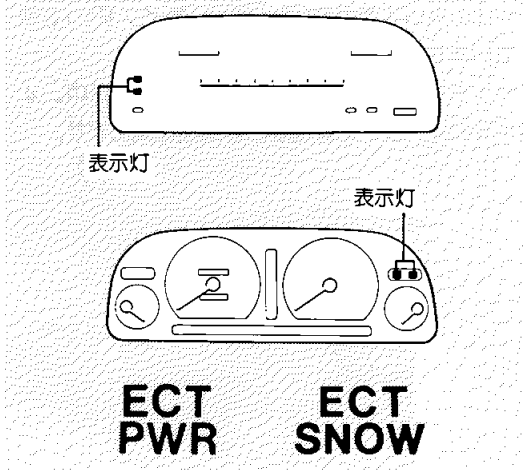
ECTパターンセレクトスイッチ★


走行・使用条件にあわせて走行パターンを選択できます。

FR車



■パターン表示灯

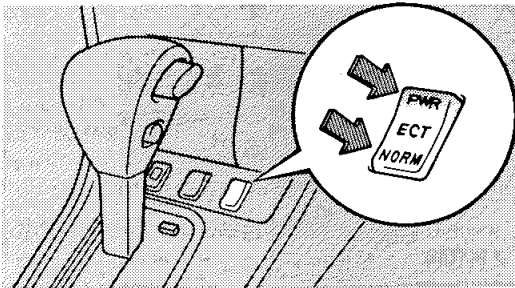


使用目的	表示灯	操作
通常走行	—	表示灯が点灯しない状態にします。(表示灯が点灯しているときはスイッチのSNOW側を押します。)もう一度押すと雪道走行になります。
雪道走行 雪道など、すべりやすい路面で発進するときに適します。	ECT SNOW	スイッチのSNOW側押しECT SNOWの表示灯が点灯した状態にします。もう一度押すと通常走行になります。  アドバイス <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content;">ECT SNOW/パターンを選択して走行したあと、エンジンスイッチをACCまたはLOCKにすると自動的にECT SNOW/パターンから通常走行/パターンに切り替わります。</div>
スポーティ走行 パワフルな運転や山間地での運転などに適します。	ECT PWR	スイッチのPWR側を押します。ECT PWRの表示灯が点灯します。

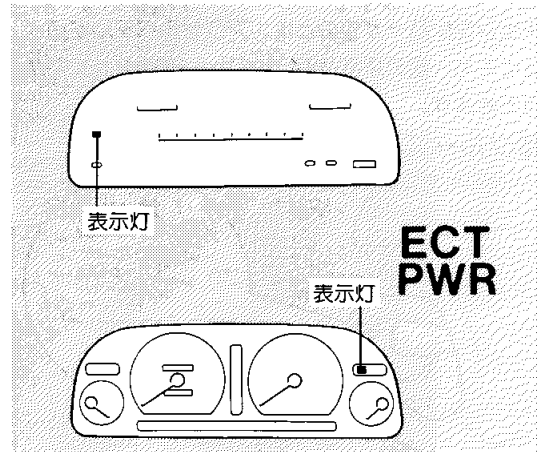
△ 処置


走行中(オーバードライブスイッチがONのとき)オーバードライブOFF表示灯が点滅したときは、装置の異常が考えられますのでトヨタ販売店で点検を受けてください。

4WD車



■パターン表示灯



使用目的	表示灯	操 作
通常走行	—	スイッチのNORM側を押します。 表示灯は点灯しません。
スポーティ走行 パワフルな運転や山間地での運転などに適します。	ECT PWR	スイッチのPWR側を押します。 ECT PWRの表示灯が点灯します。  アドバイス スイッチがPWRの位置で、チェンジレバーを②の位置にすると2速に固定されます。

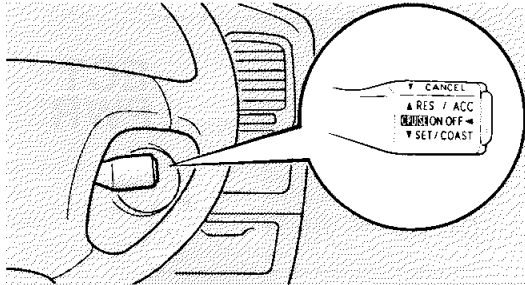
△ 処 置

走行中(オーバードライブスイッチがONのとき)オーバードライブOFF表示灯が点滅したときは、装置の異常が考えられますのでトヨタ販売店で点検を受けてください。

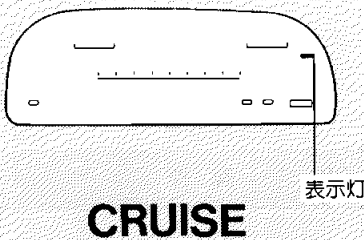
クルーズコントロール★

チェンジレバーが●のとき、アクセルペダルを踏まなくても一定の速度(約 40 km/h～100 km/h) で走行できます。

■クルーズコントロールスイッチ



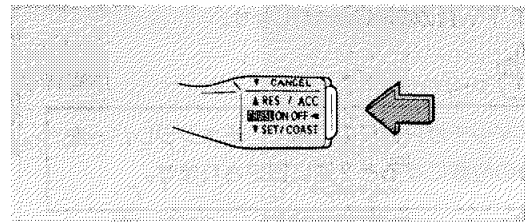
■クルーズコントロール表示灯



セットのしかた

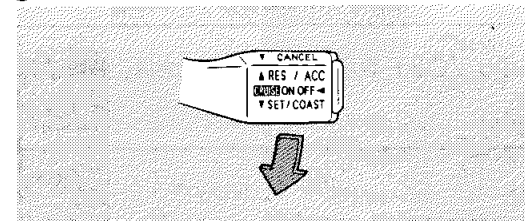
- ①メインスイッチを押してONにします。

表示灯が点灯します。



- ②希望速度まで加速または減速します。

- ③コントロールスイッチを下げ、手を離します。



以上の操作で定速走行をはじめます。

★印はグレード等により装着の有無が異なります。

△ 処置

定速走行中に表示灯が点滅したときは、メインスイッチを一度OFFにしてから再度セットしてください。

以上の操作をしても、セットできない、またはセットしてもすぐ解除される場合はシステムの異常が考えられます。一般走行上支障はありませんがトヨタ販売店で点検を受けてください。

一時的に加速、減速したいときは

〈加速したいとき〉

アクセルペダルを踏みます。

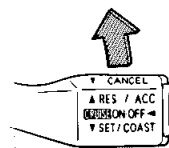
アクセルペダルを離せば、もとの定速走行状態にもどります。

〈減速したいとき〉

ブレーキペダルを踏みます。

ブレーキペダルを踏むと、定速走行が解除されます。

もとの定速走行状態にもどりたいときは、スイッチを上げ、手を離します。

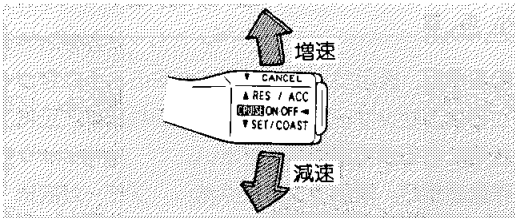


設定速度のかえかた

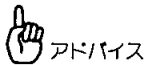
セットのしかたの②、③の手順でかえる方法と、次のコントロールスイッチでかえる方法があります。

①スイッチを操作します。

- 増速するときは上げ続ける。
- 減速するときは下げ続ける。



②希望速度になったら、手を離します。

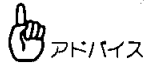
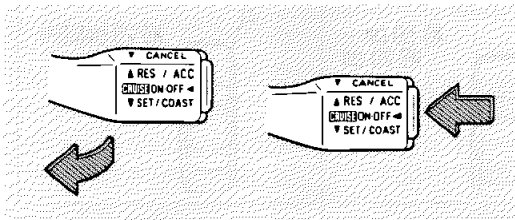


アドバイス

コントロールスイッチを上または下側に軽く操作して手を離せば、設定速度の微調整(約1.5 km/h)ができます。

解除のしかた

コントロールスイッチを手前に引くか、メインスイッチを押してOFFにします。



アドバイス

- 次の場合は、自動的に定速走行が解除されません。
 - ・ブレーキペダルを踏んだとき
 - ・セットした車速より車速が約16 km/h以上低下したとき
 - ・車速が約40 km/h以下になったとき
- コントロールスイッチによる定速走行状態の解除およびブレーキペダルを踏んで解除した場合は、コントロールスイッチを上げ手を離すともとの定速走行状態にもどります。ただし、車速が約40 km/h以下になると解除する前の定速走行状態にはもどりません。
- クルーズコントロールを使用して定速走行しているときは、チェンジレバーを②にいれる、または、O/DスイッチをOFFにする、のいずれの操作を行ってもクルーズコントロールが解除されないため、エンジンブレーキは効きません。減速が必要なときは、クルーズコントロールスイッチで減速の操作をするか、または、ブレーキペダルを踏んでください。



注意

- クルーズコントロールを使用しないときはメインスイッチをOFFにしてください。誤ってクルーズコントロールを作動させてしまい、思わぬ事故につながるおそれがあります。
- 交通量の多い道や急カーブのある道ではクルーズコントロールを使用しないでください。道路の状況に合った速度で走行できないため事故につながるおそれがあります。
- 凍結路や積雪路などのすべりやすい路面ではクルーズコントロールを使用しないでください。タイヤが空転し、車のコントロールを失うおそれがあります。
- 急な下り坂ではクルーズコントロールを使用しないでください。急な下り坂ではエンジンブレーキが十分効かないため、セットした速度を超えてしまい、思わぬ事故につながるおそれがあります。

クリアランスソナー★

車両と障害物とのおおよその間隔を表示ランプとブザーで運転者に知らせる装置で、車庫入れや縦列駐車などのときに便利です。

エンジンスイッチがONのとき使用できます。



メインスイッチを押すごとにONとOFFに切り替わります。

メインスイッチをONにすると作動表示灯が点灯します。同時にブザーが鳴り、4つの表示ランプが数秒間赤色で点灯します。

アドバイス

次の場合メインスイッチがONでも装置は作動しません。

- チェンジレバーがPの位置のとき
- 車速が約10 km/h以上のとき

処置

作動表示灯、表示ランプ、ブザーが次のようになったときは、センサー部の凍結が考えられます。正常な状態になるまでお待ちください。

- 作動表示灯、表示ランプが点滅し、ブザーが断続音で鳴ったとき
- 作動表示灯が点滅し、表示ランプが点灯したままのとき

■表示の見方とブザーの鳴り方

メインスイッチをONにしておけば、表示ランプとブザーが次のように作動します。

(例)車の左側前方に障害物がある場合

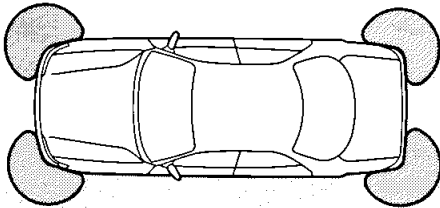
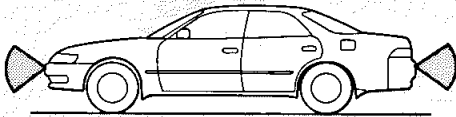
車と障害物との位置関係	約 50 cm 以上	約 50 cm ~ 約 20 cm	約 20 cm 以内
表示ランプ			
ブザー音	(なし)	ピッピッピッ(断続音)	ピー(連続音)

★印はグレード等により装着の有無が異なります。



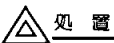
注意

- センサーが感知する範囲にはアクセサリーなどを取りつけないでください。クリアランスソナーが正常に作動せず、思わぬ事故につながるおそれがあります。
- 感知できる範囲は下図のとおり車両コーナー部付近に限られていますので、必ず周辺の安全を確認しながら運転してください。



各センサーから約 50 cm 以内の
障害物を感知します。

- 感知範囲にはアクセサリー等を取りつけないでください。
- 次の場合、装置が正常に作動しないことがあります。
 - ・センサーに氷、雪、泥などが付着したとき
 - ・炎天下や寒冷時に長時間駐車したとき
 - ・凸凹道、坂道、草むら走行時など
 - ・他車のホーン、オートバイのエンジンなどの超音波を発生する物が近づいたとき
 - ・どしゃぶりの雨や水しぶきがカかったとき
 - ・無線機用アンテナを車につけたとき
- 次のようなものは感知しないことがあります。
 - ・針金、ロープなどの細いもの
 - ・綿、雪などの音波を吸収しやすいもの
 - ・背の低い物体

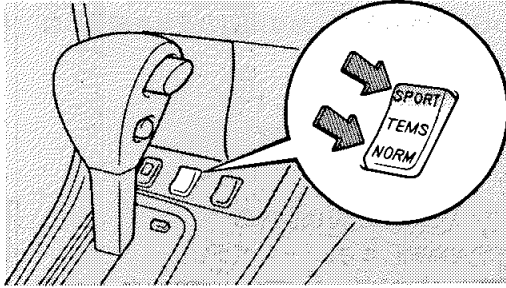


処置

バンパーをぶつけたとき、表示ランプが点灯したまま（ブザー音はなし）または作動表示灯が点滅したまま（ブザー音はなし）のときは、装置の異常が考えられますので、ただちにトヨタ販売店で点検を受けてください。

TEMS★

走行状態に応じてショックアブソーバーの減衰力がかわり、乗り心地を選択できる装置です。



■通常走行

スイッチのNORM側を押します。

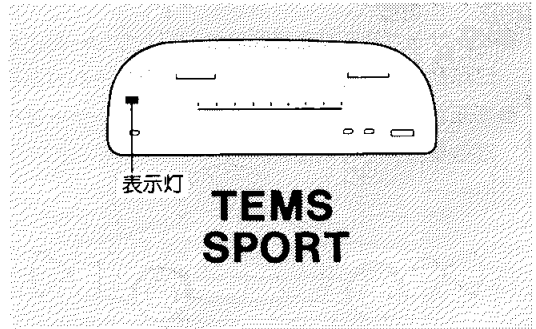
- 乗り心地を重視して減衰力が自動的に切り替わります。
- 表示灯は点灯しません。

■スポーティ走行

スイッチのSPORT側を押します。

- 走行安定性を重視して減衰力が自動的に切り替わります。
- 表示灯が点灯します。

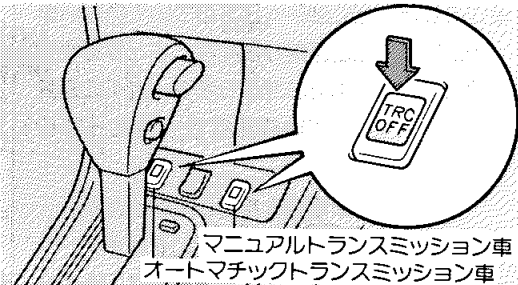
■TEMS表示灯



トラクションコントロール★

トラクションコントロールは、すべりやすい路面での発進や加速時に生じる後輪の空転を制御し、車両の安定性と後輪の駆動力を確保する装置です。エンジンスイッチをONにするとシステム作動可能状態になります。

■TRC OFFスイッチ

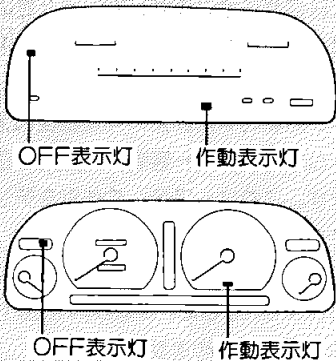


マニュアルトランスミッション車
オートマチックトランスミッション車

- スイッチを押すと作動停止状態になり、OFF表示灯が点灯します。
- もう一度押すと作動可能状態になり、表示灯が消灯します。

通常はできるだけ作動可能状態で使用してください。

■TRC作動表示灯、OFF表示灯



TRC OFF TRC

- 作動表示灯およびOFF表示灯は、エンジンスイッチをONにすると点灯し、数秒後に消灯します。
- 走行中にシステムが作動すると、作動表示灯が点滅します。



注意

トラクションコントロールを過信しないでください。トラクションコントロールが作動した状態でも車両の方向安定性の確保には限界があり、思わぬ事故につながるおそれがあります。常に安全運転に心がけ作動表示灯が点滅したときはとくに慎重に運転してください。



アドバイス

- トラクションコントロールが正常に作動しているときは、車両の振動を感じるがありますが、これはブレーキ制御によるもので異常ではありません。(2JZ-GE、1JZ-GTE搭載車)
- ぬかるみ、新雪などからの脱出時、アクセルペダルを踏み込んでもエンジンの回転が上がらない場合があります。



処置

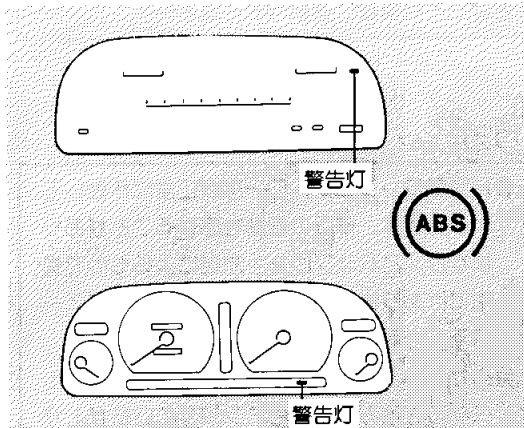
作動表示灯、OFF表示灯が次のようになったときはシステムの異常が考えられます。走行上支障はありませんがトヨタ販売店で点検を受けてください。

- エンジンスイッチをONにしても点灯しないとき
- 作動表示灯が点灯したままのとき、または走行中に点灯したとき
- トラクションコントロールが作動可能状態でOFF表示灯が点灯したままのとき、または走行中に点灯したとき

ABS★

ABSは、急制動時やすべりやすい路面での制動時におこる車輪のロックを自動的に防止することにより、車両の方向安定性や操舵性を確保しようとする装置です。

■ABS警告灯



エンジンスイッチをONにすると点灯し、数秒後に消灯します。

△ 処置

警告灯が次のようになったときはシステムの異常が考えられますので、ただちにトヨタ販売店で点検を受けてください。

- エンジンスイッチをONにしても点灯しないとき、または点灯したままのとき
 - 走行中に点灯したとき
- 警告灯が点灯しているときは、ABSは作動せず、普通のブレーキとして作動します。

なお、走行中に点灯しても、その後消灯し再度点灯しなければ正常です。

☞ アドバイス

ABS警告灯が点灯しているときは、ABSが作動しないため、急制動やすべりやすい路面での制動時には車輪がロックすることがあります。

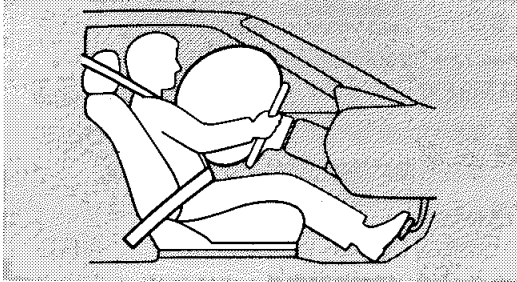
! 注意

- ABSを過信しないでください。ABSが作動した状態でも車両の方向安定性や操舵性の確保には限界があり、思わぬ事故につながるおそれがあります。常に安全運転に心がけてください。
- 次の場合などには、ABSのついていない車両に比べて制動距離が長くなることもあり事故につながるおそれがあります。とくに速度をひかえめにして車間距離を十分とってください。
 - ・ジャリ道、新雪路を走行しているとき
 - ・タイヤチェーンを装着しているとき
 - ・道路の継ぎ目などの段差を乗り越えるとき
 - ・凸凹道や石だたみなどの悪路を走行しているとき

☞ アドバイス

- ブレーキペダルを踏んだとき、作動音とともにペダルが小刻みに動くことがあります。これはABSが正常に作動しているときの現象で異常ではありません。さらにブレーキペダルを強く踏み続けてください。
- エンジン始動時や始動後の発進直後にエンジンルームからモーター音等が聞こえることがあります。これはシステムの作動をチェックしている音で異常ではありません。
- ABSは、発進後車速が約10 km/hになるまで作動しません。また、車速が約5 km/hまで下がると作動をやめます。

SRSエアバッグ



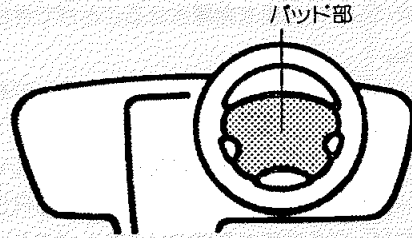
SRS*エアバッグは、運転者に重大な危害がおよぶような強い衝撃を車両前方から受けたときにふくらみ、シートベルトが身体を拘束する働きとあわせて乗員の顔、頭や胸などの上体に作用する衝撃力を分散、緩和させる機能をもちます。

シートベルトは必ず着用してください。(46ページ参照)

* SRSは Supplemental Restraint System の略で、乗員保護補助装置の意味

△ 処置

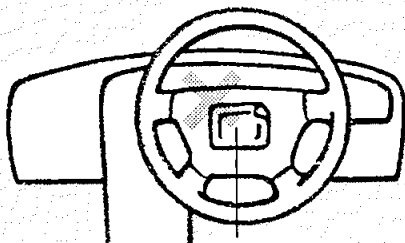
- SRSエアバッグは一度ふくらむと再使用できません。必ずトヨタ販売店で交換してください。
- SRSエアバッグが収納されているパッド部に傷がついていたり、ひび割れがあるときはトヨタ販売店で交換してください。





注意

- シートベルトを正しく着用してください。
SRSエアバッグはシートベルトを補助する装置でシートベルトに代わるものではありません。
シートベルトを正しく着用しないと、SRSエアバッグの効果を発揮させることができません。
シートベルトの着用については46ページを参照してください。
- シートを正しい位置に調整してください。
シートを正しい位置に調整しないと、SRSエアバッグの効果を発揮させることができません。シートの調整については36ページを参照してください。
- 正しい姿勢でシートにすわってください。正しい姿勢ですわらないとSRSエアバッグの効果を発揮させることができません。また、ハンドルに近づきすぎると、SRSエアバッグがふくらんだときにケガをするおそれがあります。
正しい姿勢については36ページを参照してください。
- パッド部をカバーやステッカーなどでおおわないでください。また、パッド部を手で強くたたくなどの衝撃をあたえないでください。パッド内にはエアバッグユニットが組み込まれているため、誤ってふくらんだり、正常に作動しなくなるおそれがあります。
- SRSエアバッグがふくらんだあとに、SRSエアバッグ構成部品に触れないでください。SRSエアバッグがふくらんだあとは、構成部品が大変熱くなっていますので、やけどをするおそれがあります。
- SRSエアバッグの取り付け・取りはずし、分解などをしてしないでください。また、SRSエアバッグを修理するときは必ずトヨタ販売店で行ってください。SRSエアバッグを不適切にあつかうと、正常に作動しなくなったり、誤ってふくらみケガをするおそれがあります。
- サスペンションを改造しないでください。車高が変わったり、サスペンションの硬さが変わるとSRSエアバッグの誤作動につながるおそれがあります。
- 車両前部にグリルガードやウインチなどを装着する場合は、必ずトヨタ販売店にご相談ください。車両前部の改造をするとSRSエアバッグが正常に作動しなくなるおそれがあります。
- 車やSRSエアバッグを廃棄するときは必ずトヨタ販売店にご相談ください。SRSエアバッグが思いがけなく作動し、ケガをするおそれがあります。



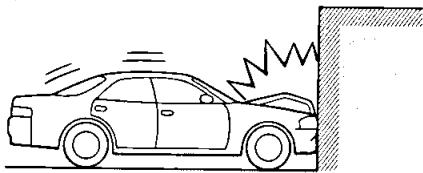
ステッカー



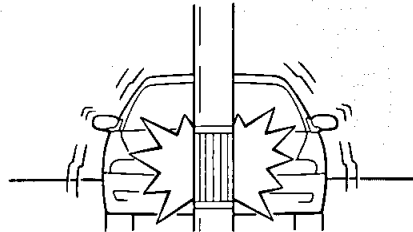
アドバイス

- 衝突により車両前部が大きく変形しても、衝撃吸収ポテア構造*により乗員への衝撃は大きくならない場合がありますので、車両の変形、損傷とSRSエアバッグの作動とは必ずしも一致しません。
*衝撃吸収ポテア構造は、衝突時の衝撃をポテアの前部を変形させることにより吸収します。
- SRSエアバッグは強い前面衝突時において、シートベルトが身体を拘束する働きとあわせて乗員の顔、頭や胸などの上体が受ける重大な傷害を軽減する装置です。したがってシートベルトを正しく着用している乗員が重大な傷害を受けるおそれのない衝突では、SRSエアバッグは作動しにくくなっています。
- SRSエアバッグは衝突によりポテアが車両前方から強い衝撃を受けたときに作動します。例えば、次のようなポテアが受ける衝撃が弱い場合には、SRSエアバッグは作動しません。

- ・衝突時に変形、移動しないコンクリートのよ
うな固い壁に約 20 km/h 以下の速度で正面衝
突したとき

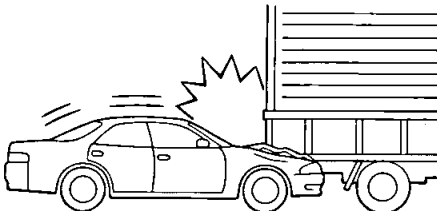


- ・衝突時に変形、移動しない電柱や立木などに約
30 km/h 以下の速度で正面衝突したとき

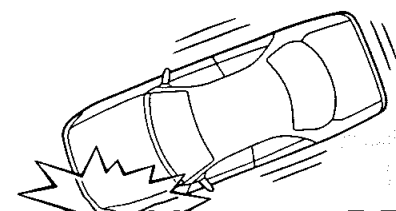


- 衝突したものが変形したり移動した場合は、衝突による衝撃が緩められるため、SRSエアバッグの作動する車速は高くなります。例えば、停車中の同程度の重さの車への衝突の場合には、約 50 km/h 程度の速度であってもSRSエアバッグは作動しないことがあります。
- 次のような場合も衝突による衝撃が緩められるため、SRSエアバッグが作動しないことがあります。

- ・トラックの荷台下へもぐりこみ衝突したとき

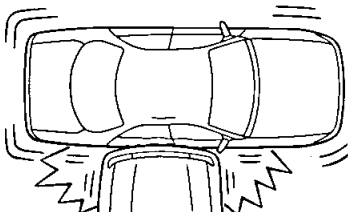


- ・前方の斜めの方向から衝撃を受けたとき

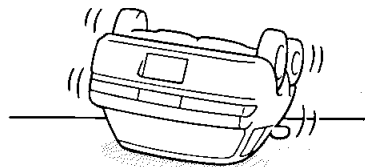


- 次のような場合はSRSエアバッグが作動する場合がありますが、本来の効果を発揮しません。

- ・側面や後方から衝撃を受けたとき



- ・車両が横転、転覆したとき

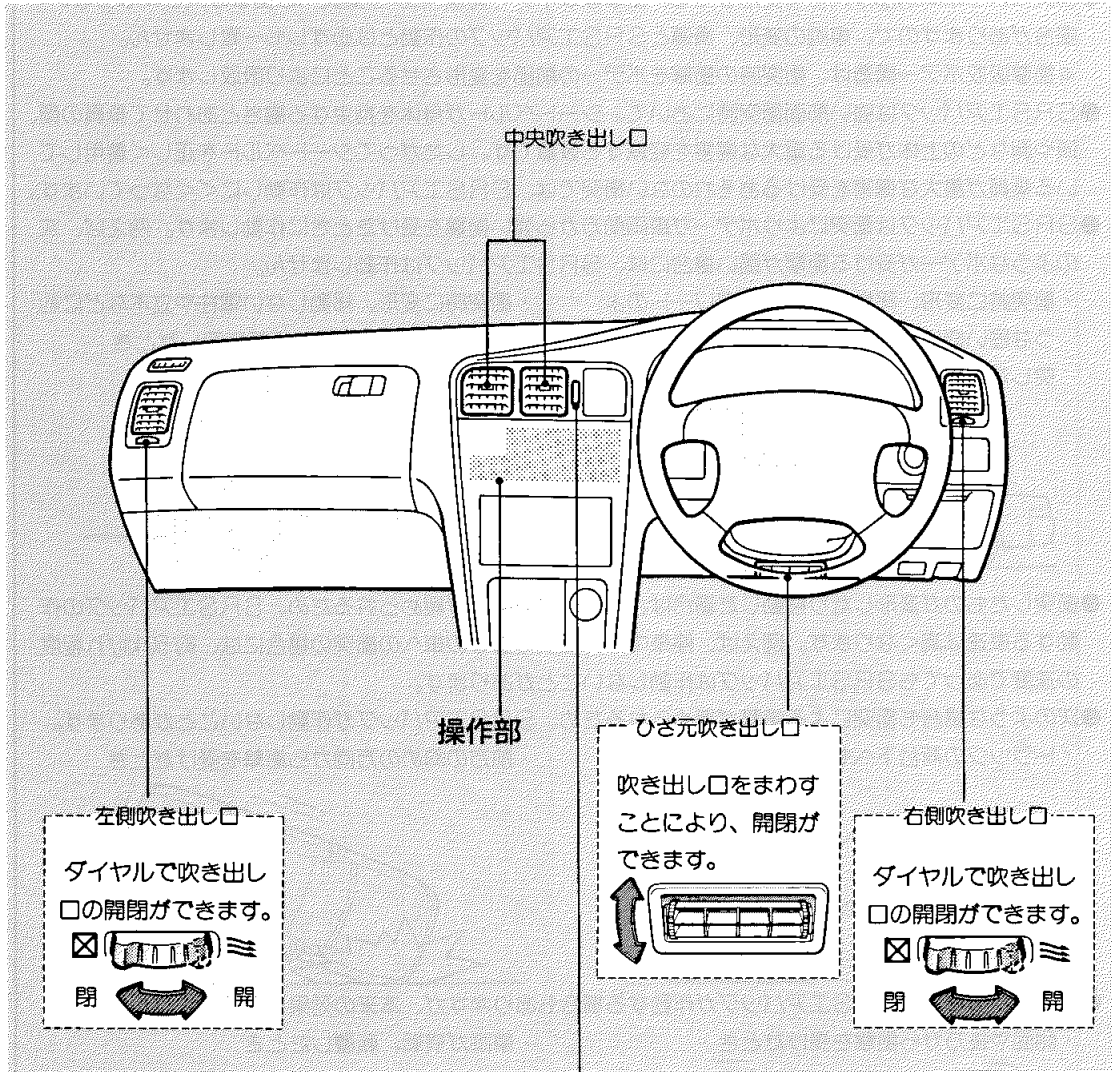


- SRSエアバッグは非常に速いスピードでふくらむため、SRSエアバッグとの接触により打撲やすり傷などが発生することもあります。
- SRSエアバッグが作動すると作動音とともに白い煙のようなガスが発生しますが火災ではありません。また人体への影響もありません。
- 一度作動したSRSエアバッグは、2回目以降の衝突では再作動しません。




さわやか室内、快適ドライブ。



空調 オートエアコン

吹き出し口は風向きをかえることができます。



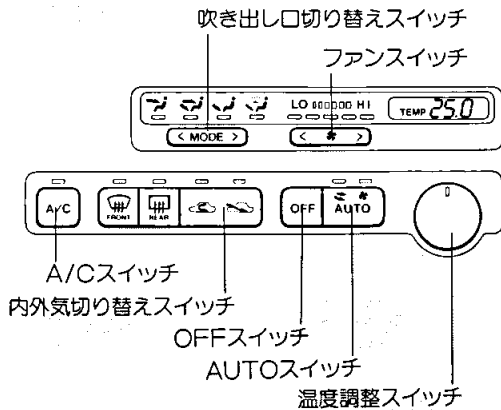
フレッシュフィーリングヒーターシステム

、、 のとき頭部の不快感を解消するため、中央吹き出し口から冷風を出すことができます。

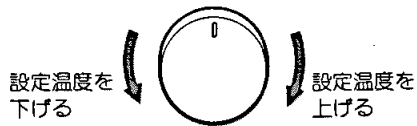
-  側：風が必要なとき
-  側：風が不要なとき（通常の位置）

通常の使い方

デジタル式

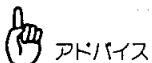


- ① AUTOスイッチを押します。
- ② 温度調整スイッチで希望温度にします。



設定温度を極端に変更しても希望温度に達する時間は変わりません。

以上の操作で常に快適な状態に保つことができます。



アドバイス

トンネル内や渋滞など外気がよごれているときや早く冷暖房したいときは内外気切り替えスイッチを押して (内気循環側) にしてください。

作動を止めたいときはOFFスイッチを押します。

ガラスの曇りを取るには

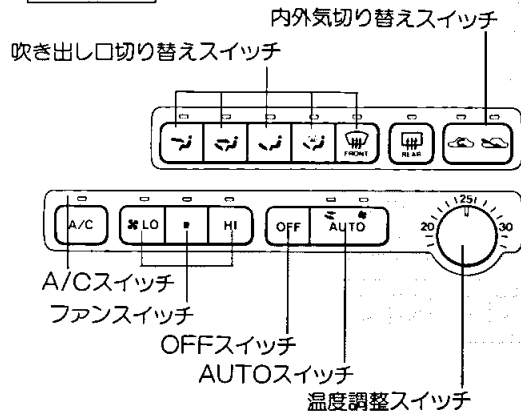
- ① 吹き出し口切り替えスイッチの を押します。
 にすれば曇りを取るのと同時に足元にも送風できます。
- ② 内外気切り替えスイッチを (外気導入側) にします。
 温度、風量は好みに合わせて調整してください。



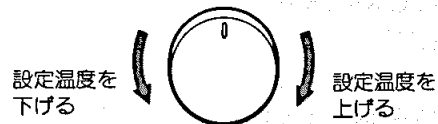
アドバイス

- ①②の操作に加えて次の操作を行うと、より早くガラスの曇りが取れます。
 - エアコンを作動させる。(A/Cスイッチを押す。)
 - 風量を増す。(デジタル式はファンスイッチの>側を押す。プッシュ式はファンスイッチをHIにする。)
 - 設定温度を上げる。(温度調整スイッチを右にまわす。)

プッシュ式



- ① AUTOスイッチを押します。
- ② A/Cスイッチを押します。
 冷房・除湿機能が作動します。
- ③ 温度調整スイッチで希望温度にします。

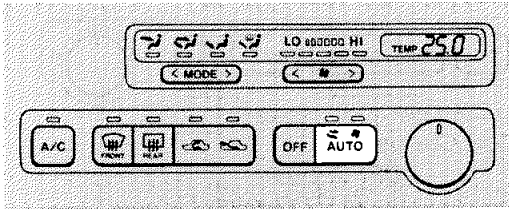


各スイッチの使い方

■AUTOスイッチ

吹き出し口と風量が自動で調整されます。

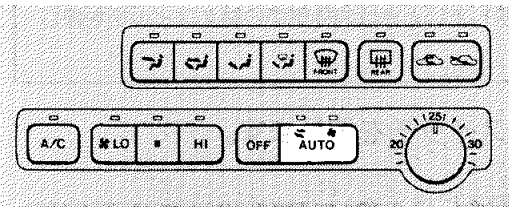
デジタル式



アドバイス

- AUTOスイッチを押すとエアコンが作動します。
- AUTOスイッチをONにしているときに、外気温が低くなるとエアコンが自動的に停止（表示灯も消灯）する場合があります。再度エアコンを作動させる場合は、A/Cスイッチを押してください。

フッシュ式



■A/Cスイッチ

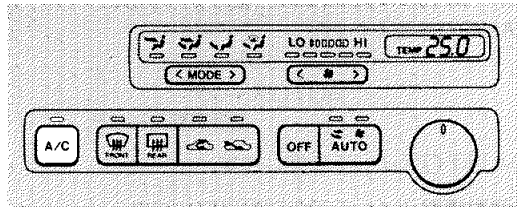
エアコン(冷房、除湿機能)の作動・停止ができます。スイッチを押すことに作動と停止に切り替わります。作動中は表示灯が点灯します。



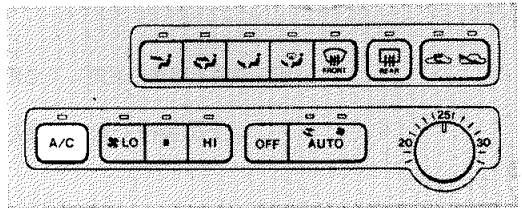
アドバイス

外気温が0°C近くまで下がると作動しません。

デジタル式

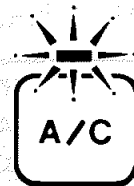


フッシュ式



△ 処置

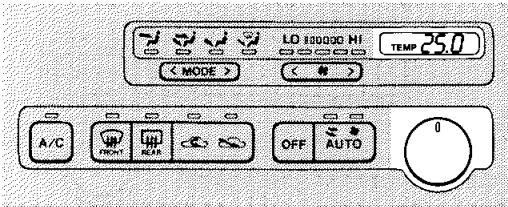
ガソリン車(1G-FE搭載車を除く)で表示灯が点滅した場合は、システムの異常が考えられますので安全な場所に車を止めて、いったんスイッチをOFFにしてから、もう一度ONにしてください。点滅がさらに続く場合は、スイッチをOFFにしてトヨタ販売店で点検を受けてください。



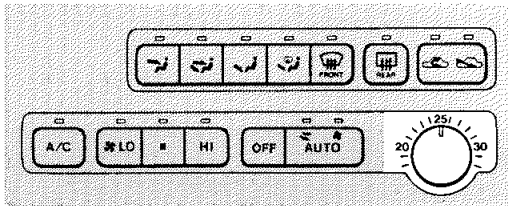
■温度調整スイッチ

設定温度を 18℃～32℃ の間で調整できます。

デジタル式



プッシュ式



■内外気切り替えスイッチ

外気導入(外気を車内にいれる)、内気循環(外気をしや断する)の切り替えができます。

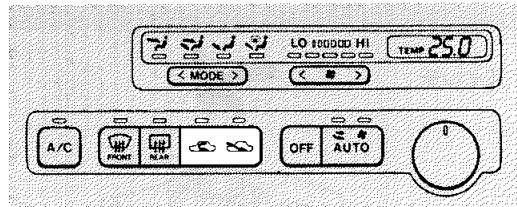
表示灯	使用目的
 (外気導入側)	通常走行時
 (内気循環側)	トンネルや渋滞など外気がよごれているときや早く冷暖房したいとき



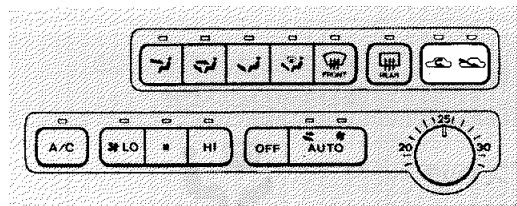
注意

長時間、内気循環にしないでください。ガラスが曇りやすくなります。

デジタル式



プッシュ式

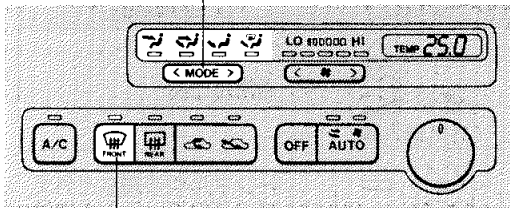


■吹き出し口切り替えスイッチ

使用目的にあった吹き出し口を選択することができます。

デジタル式

吹き出し口切り替えスイッチ



吹き出し口切り替えスイッチ

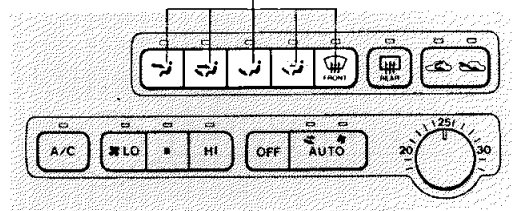


アドバイス

内外気切り替えスイッチが (内気循環側) のとき、吹き出し口切り替えスイッチの スイッチを押すとエアコンが自動的に作動します。

プッシュ式

吹き出し口切り替えスイッチ



使用目的	上半身に送風したいとき	上半身、足元に送風したいとき	足元に送風したいとき
スイッチ			
吹き出し口			

使用目的	足元への送風と窓ガラスの曇りを取りたいとき	窓ガラスの曇りを取りたいとき
スイッチ		
吹き出し口		



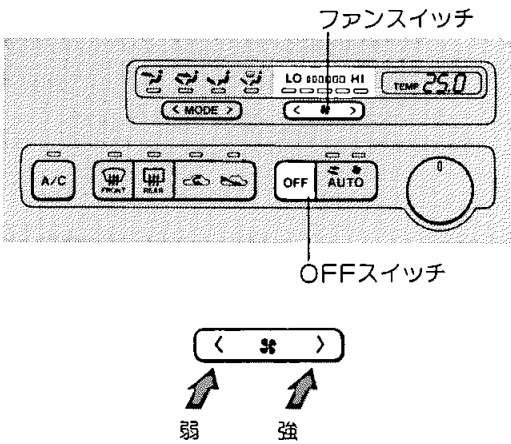
アドバイス

吹き出し口を または にして窓ガラスの曇りを取るときは、内外気切り替えスイッチを (外気導入側) にします。

■ファンスイッチ

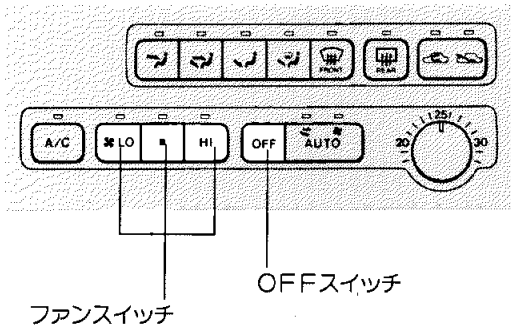
デジタル式

風量を5段階に切り替えることができます。



フッシュ式

風量を3段階に切り替えることができます。



アドバイス

- 寒冷地仕様車にはエアフィルターが取り付けられています。快適にお使いいただくためにエアフィルターの定期的な清掃、交換をおすすめします。

〈清掃、交換の目安〉

	清 掃	交 換
寒冷地、 粉じんの多い地区	走行 5,000 kmごと (ただし、6か月をこえないこと)	車検ごと
上記以外の地区	走行 10,000 kmごと (ただし、1年をこえないこと)	車検ごと

詳しくはトヨタ販売店にご相談ください。

- エンジンが冷えているときや気温が高いときは冷風や熱風が吹き出るのを防ぐため、しばらくの間ファンが作動しないことがあります。(AUTO時)

△ 処 置

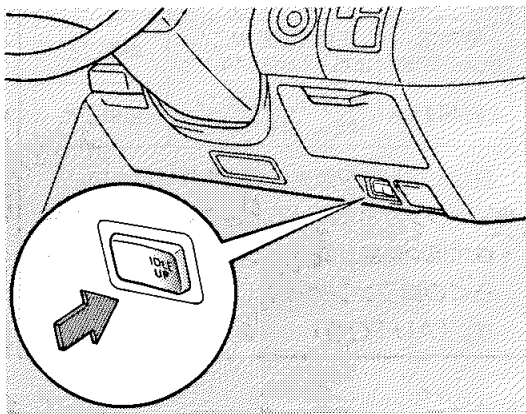
冷房・除湿効果が悪いときはトヨタ販売店で点検を受けてください。

アイドルアップスイッチ

ディーゼルの寒冷地仕様車、スノーバージョン車

停車中のアイドル回転を上げ、暖房効果を高めま
す。

- ONにするときはボタンの右側を押します。
- OFFにするときはもう一度ボタンの右側を押
します。



アドバイス

走行する前に必ずスイッチをOFFにしてくだ
さい。ONのまま走行すると燃料消費量が多
くなり、ブレーキをかけるときにブレーキペ
ダルを通常より強く踏む必要があります。

カーライフを元気にするパートナー。

オーディオ

マルチAVステーションを装着されたかたは
別冊の取扱書もあわせてご覧ください。

オーディオの上手な使い方



注意

走行中のオーディオ操作は安全運転に支障がないように十分注意して行ってください。

安全運転をさまたげないように適度な音量でお聞きください。

ラジオ

ラジオの受信は、アンテナの位置が刻々とかわるため電波の強さがかわったり、障害物や電車、信号機などの影響により最良な受信状態を維持することが困難な場合もあります。

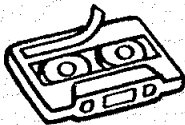
カセット

ヘッド周辺部(ヘッド、キャプスタン、ピンチローラー)はよごれやすいので1カ月に1回程度はフリーステップでクリーニングしてください。



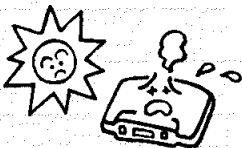
注意

- ラベルがはがれかけていたり、ネームテープが貼ってあるカセットテープを使用しないでください。回転不良やカセットテープを取り出せなくなるおそれがあります。



- カセットテープは、90分以下用のものをご使用ください。90分をこえる長時間用テープはテープの厚さが非常に薄いため、カセットデッキに巻き込むおそれがあります。

- カセットテープは、直射日光を避けて保管してください。テープがひずみ使用できなくなるおそれがあります。



- カセットデッキにオイルをぬったり、金属や磁石をテープ差し込み口にいたりしないでください。カセットデッキの故障の原因になります。

CD

- このプレーヤーは、下のマークのついたCD以外は使用できません。

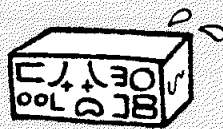
COMPACT
disc
DIGITAL AUDIO



注意

8 cm CDを使用するときはアダプターを使用しないでください。CDを取り出せなくなるおそれがあります。

- 寒いときや雨降りのはときは、車内のガラスが曇るように、プレーヤー内部にも露(水滴)が生ずることがあります。この場合、音がとんだり、再生が停止したりしますので、しばらくの間、換気または除湿してからご使用ください。



注意

CD取り出しボタンを押して、CDが飛び出した状態のまま長時間放置しないでください。CDがそり、使用できなくなるおそれがあります。

- 悪路走行などで激しく振動した場合、音とびをすることがあります。



注意

CDは直射日光を避けて保管してください。CDがそり、使用できなくなるおそれがあります。



アンテナ

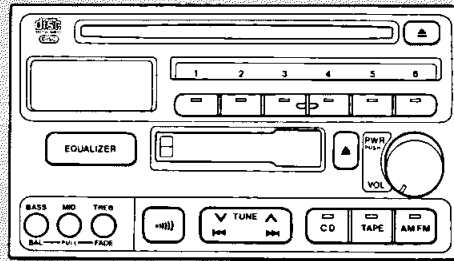
■埋め込み式

リヤウインドウガラスに埋め込まれています。

オーディオ

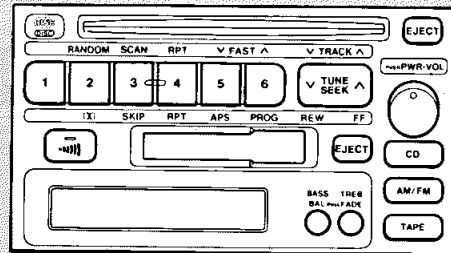
「オーディオの使い方」は機種別に説明していますので、あなたのお車に該当するページをお読みください。
 エンジンスイッチがACCまたはONのとき使用できます。

CD、カセット一体AM/FMラジオ★
 (イコライザー付き)



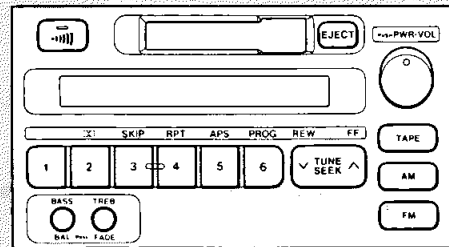
94 ページ

CD、カセット一体AM/FMラジオ★



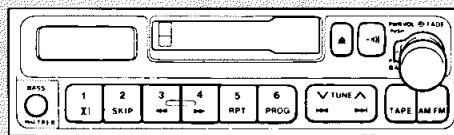
102 ページ

カセット一体AM/FMラジオ★



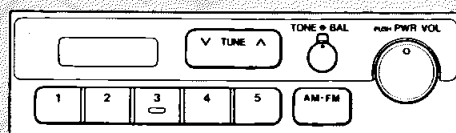
108 ページ

カセット一体AM/FMラジオ★



112 ページ

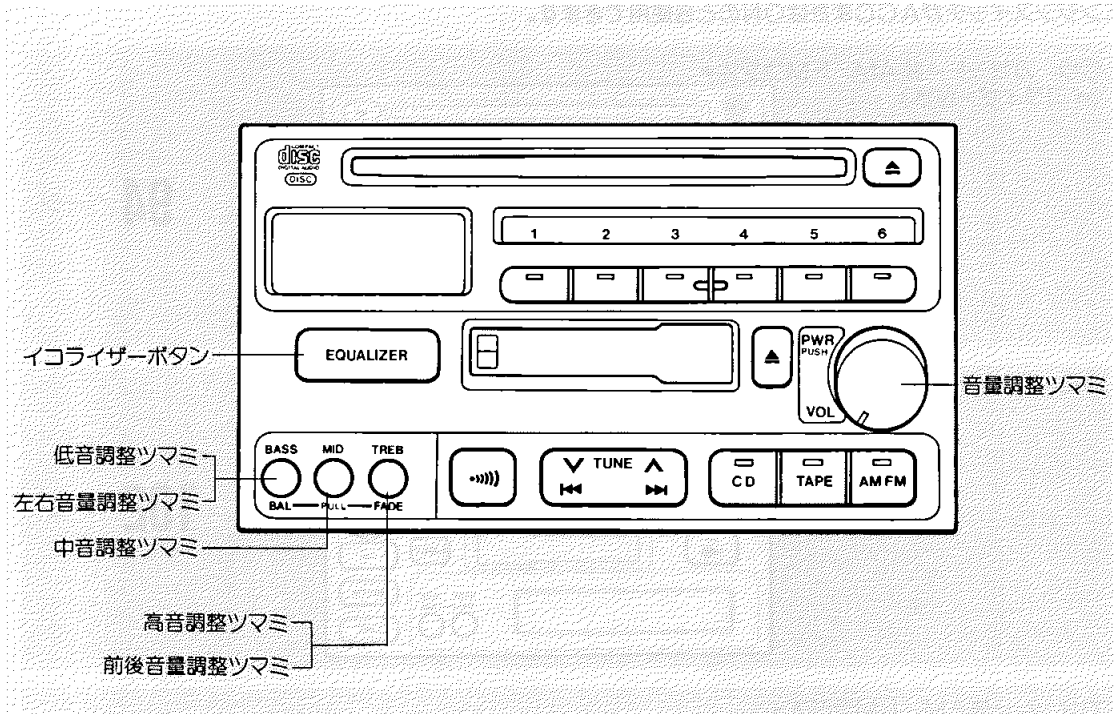
AM/FMラジオ★



116 ページ

★印はグレード等により装着の有無が異なります。

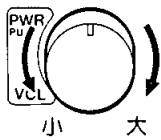
CD、カセット一体AM/FMラジオ (イコライザー付き)



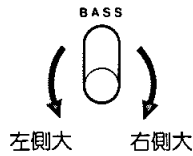
音量調整

●音量

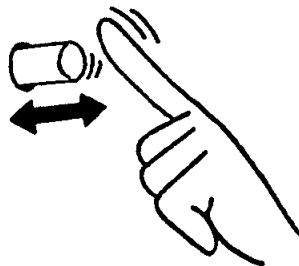
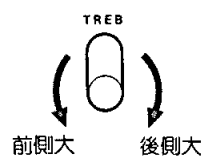
左右音量、前後音量はツマミを押し、とび出した状態からさらに手前に引いて調整します。



●左右音量



●前後音量



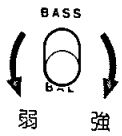
音質調整

調整つまみまたはイコライザーボタンで調整できます。

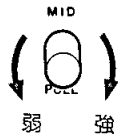
■調整つまみで

つまみを押し、とび出した状態で調整します。

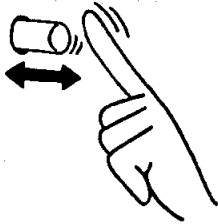
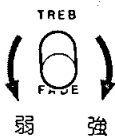
●低音



●中音



●高音



■イコライザーボタンで

あらかじめセットしてある5種類の音質が選択できます。

ボタンを押すごとに音質が変わります。
表示と働き

表示	働き
EQ-1	強調はされません。(フラット)
EQ-2	低音と高音が強調されます。
EQ-3	低音が強調されます。
EQ-4	高音が強調されます。
EQ-5	中音域が強調されます。

新車時には表のようにセットしてあります。

なお、お好みの音質にセットしなおすこともできます。

■セットするには

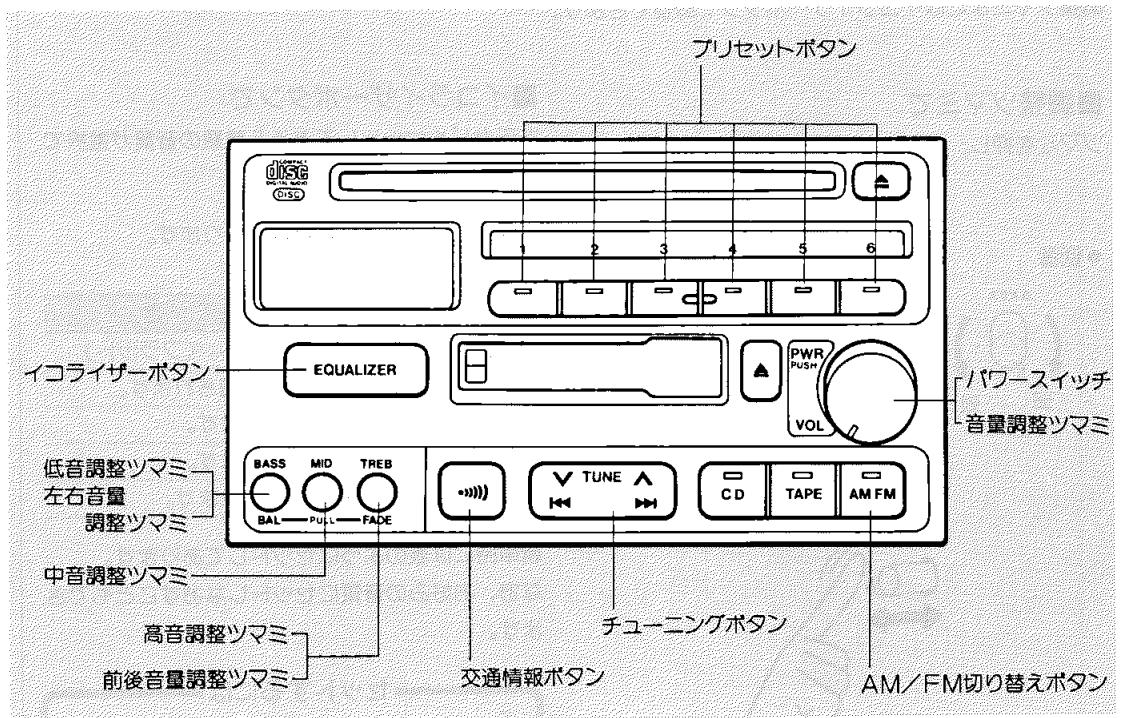
- ① イコライザーボタンを押して、記憶させたい表示にします。
- ② 音質調整つまみでお好みの音質にあわせます。
- ③ イコライザーボタンをピツと音がするまで押し続けます。

■新車時のセット状態にもどすには

- ① イコライザーボタンを押して、もどしたい表示にします。
- ② イコライザーボタンをピツという音が2回(1回目は約2秒、2回目はさらに約8秒)するまで押し続けます。

すべてのモードをもどすには、さらにピツという音がするまで(約10秒)押し続けます。

ラジオを聞くには



- ① AM/FM切り替えボタンを押してAM、FM（1または2）放送の選択をします。
- ② チューニングボタンまたはプリセットボタンを押して選局します。

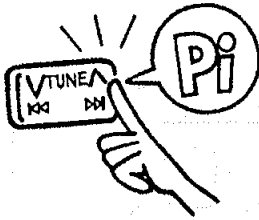
■ **ラジオをとめるには**
 パワースイッチを押します。
 もう一度押すと受信されます。

選局するには

■チューニングボタンで
△側またはV側を押します。

ピッと音がするまで押し続ける(自動選局)

- 受信したところできまります。
- 途中でとめたいときはもう一度押します。

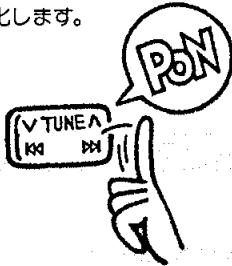


アドバイス

受信電波が弱く自動選局できないときは手動で選局してください。

ポンと押す(手動選局)

1ステップずつ変化します。



■プリセットボタンで

通常よくお聞きになる放送局をあらかじめ記憶させておくことによりワンタッチで選局できます。

1～6までのボタンの1つを押します。

セットするには

- ①記憶させたい放送局をチューニングボタンで受信します。
- ②記憶させたいプリセットボタンをピッと音がするまで押し続けます。



アドバイス

プリセットボタン1つにつきAM、FM1、FM2の各1局ずつ記憶させることができます。

交通情報を聞くには

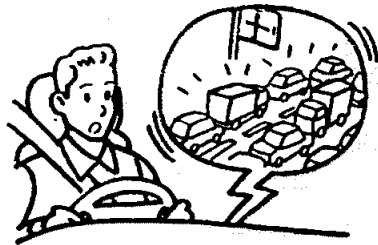
交通情報放送を行っている地域であらかじめセットしてある交通情報局が受信できます。

交通情報ボタンを押します。
もう一度押すと解除されます。



アドバイス

- 新車時には1620 kHzにセットしてあります。
- 交通情報ボタンで受信中、チューニングボタン、プリセットボタンを押しても切り替わりません。



セットするには

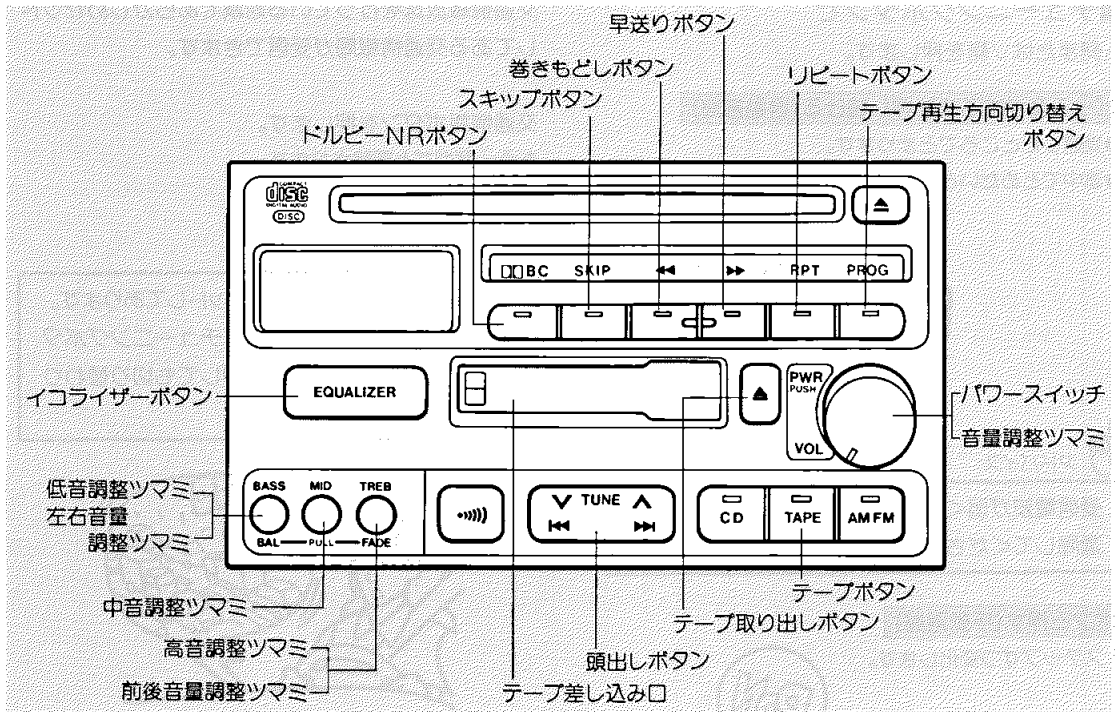
- ①チューニングボタンで記憶させたい交通情報局にあわせます。
- ②交通情報ボタンをピッと音がするまで押し続けます。



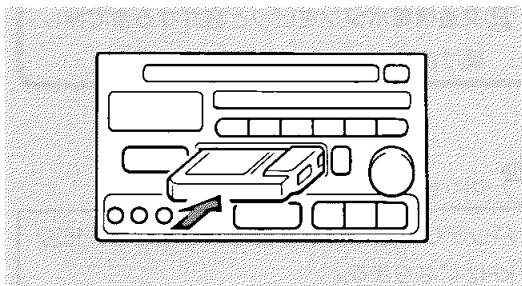
アドバイス

バッテリーとの接続が断れたときは、1620 kHzになります。

テープを聞くには



テープ差し込み口にテープを差し込みます。
テープが差し込まれているときは、テープボタンを押
します。



■テープをとめるには


パワースイッチを押します。
もう一度押すと再生されます。

■テープを取り出すには

テープ取り出しボタンを押します。
テープが自動的に押し出されます。

ドルビー*(B)NRまたは(C)NRで 録音されたテープを使用するときは

ドルビーNRボタンを押すごとにドルビー(B)
NR、(C)NR、OFFに切り替わります。

※ドルビーノイズリダクションはドルビーラボラトリー
ライセンスニングコーポレーションからの実施権に
基づき製造されています。ドルビー、DOLBYおよ
びダブルD記号  は、ドルビーラボラトリーライ
センスニングコーポレーションの登録商標です。



アドバイス

- ドルビー(B)NRとドルビー(C)NRは
同時に使用できません。
- ドルビー(B)NRは高音域、ドルビー
(C)NRは中高音域の雑音低減効果があ
ります。

再生方向をかえるには

テープ再生方向切り替えボタンを押します。

早送り・巻きもどしをするには

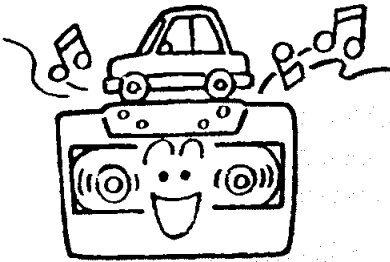
早送りがしたいときは早送りボタンを、巻きもどしがしたいときは巻きもどしボタンを押します。とめるときはもう一度押すか、テープボタンを押します。


頭出しをするには

いまお聞きになっている曲の前後9曲の中から希望曲の頭出しができます。

頭出しをしたい曲までの曲数だけ（3曲目の場合は3回）頭出しボタンを押します。

- 早送りをするときは▶▶側
- 巻きもどしをするときは◀◀側
- 巻きもどしのときは、いまお聞きになっている曲も曲数に含まれます。
- 解除するときはもう一度押すか、テープボタンを押します。



 アドバイス


次の場合は正常に作動しないことがあります。

- 曲と曲の間の無音部分が約3秒以下のとき
- 曲と曲の間に雑音があるとき

同じ曲を繰り返して聞くには

リピートボタンを押します。

もう一度押すと解除されます。

 アドバイス


次の場合は正常に作動しないことがあります。

- 曲と曲の間の無音部分が約3秒以下のとき
- 曲と曲の間に雑音があるとき

無音部分を飛ばして聞くには

スキップボタンを押します。

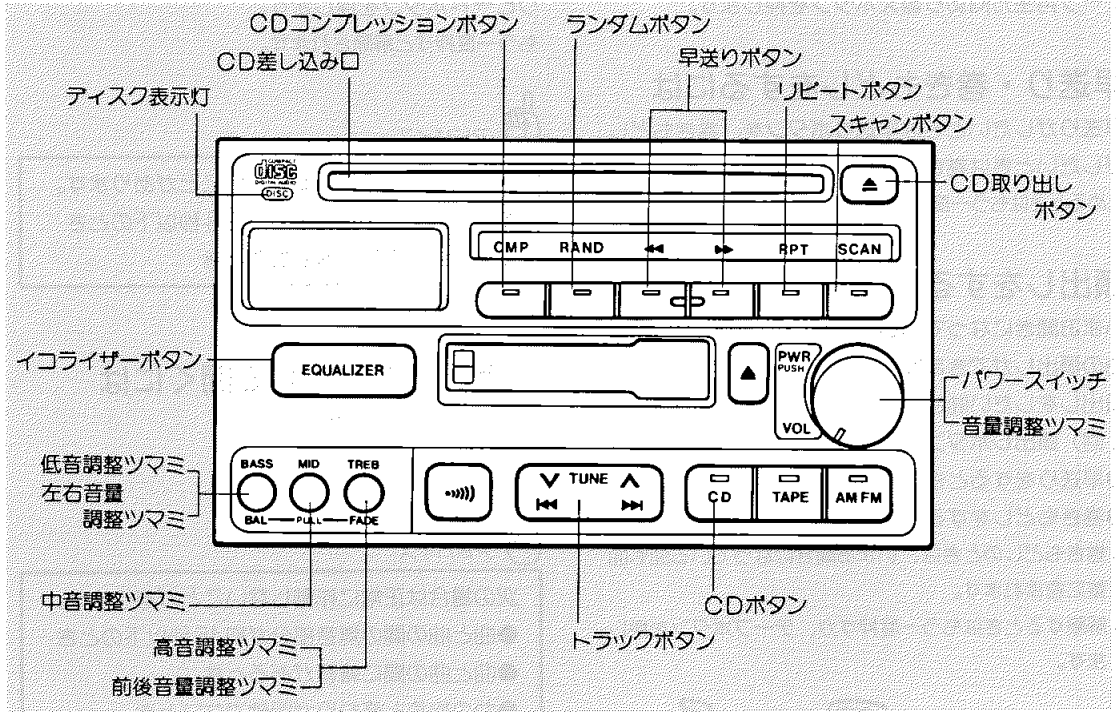
もう一度押すと解除されます。

 アドバイス

次の場合は正常に作動しないことがあります。

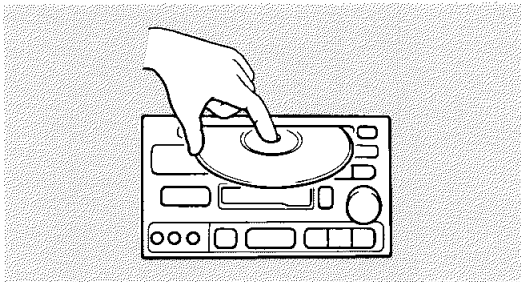
- 曲と曲の間の無音部分が約15秒以下のとき
- 曲と曲の間に雑音があるとき
- 曲の始めと終わりが明確でないとき

CDを聞くには



CD差し込み口にCDを差し込みます。

- CDが差し込まれているときは、CDボタンを押します。
- 8 cm CDを聞くときはアダプターを使用せずにCDを聞くことができます。



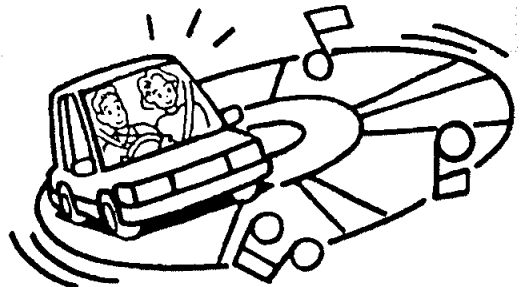
- 中心の穴と端をはさんで持ち、ラベル面を上にしします。
- CDを聞いているときに、CDボタンを押すと表示部のトラックナンバー表示と再生経過時間表示を交互に切り替えることができます。

■ CDをとめるには

パワースイッチを押します。
もう一度押すと再生されます。

■ CDを取り出すには

CD取り出しボタンを押します。
CDが自動的に押し出されます。



早送りをするには

早送りボタンを押します。

- 進めるときは ▶▶ 側
- もどすときは ◀◀ 側

手を離すと、その位置から再生を始めます。

スキャンボタンについて

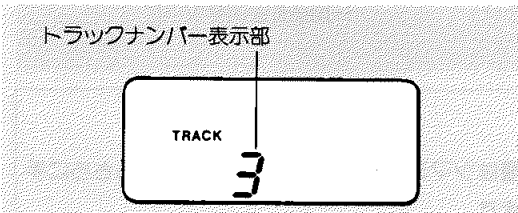
曲の始めの部分を約 10 秒間つぎつぎに再生します。

- ①スキャンボタンを押します。
- ②希望曲になったらもう一度スキャンボタンを押します。
その曲の再生を続けます。

頭出しをするには

トラックボタンを押して希望の曲番を選びます。

- うしろにあるときは ▶▶ 側
- 前にあるときは ◀◀ 側



トラックナンバー表示中に早送りボタンを押すと再生経過時間表示に切り替わります。

早送り操作終了後、約 5 秒経過するとトラックナンバー表示にもどります。

同じ曲を繰り返して聞くには

リピートボタンを押します。

もう一度押すと解除されます。

ランダム再生について

CDの中からランダムに選曲し、再生します。

ランダムボタンを押します。

もう一度押すと解除されます。

CDコンプレッションボタンについて

室内の騒音などで小さい音が聞きにくいときや、小さい音を聞くために音量が大きくなりすぎるときに使用します。

CDコンプレッションボタンを押します。

もう一度押すと解除されます。

△ 処置

プレーヤー内部を保護するため、異常が生じたときは自動的にプレーヤーの機能が停止します。この場合次の処置をしてください。

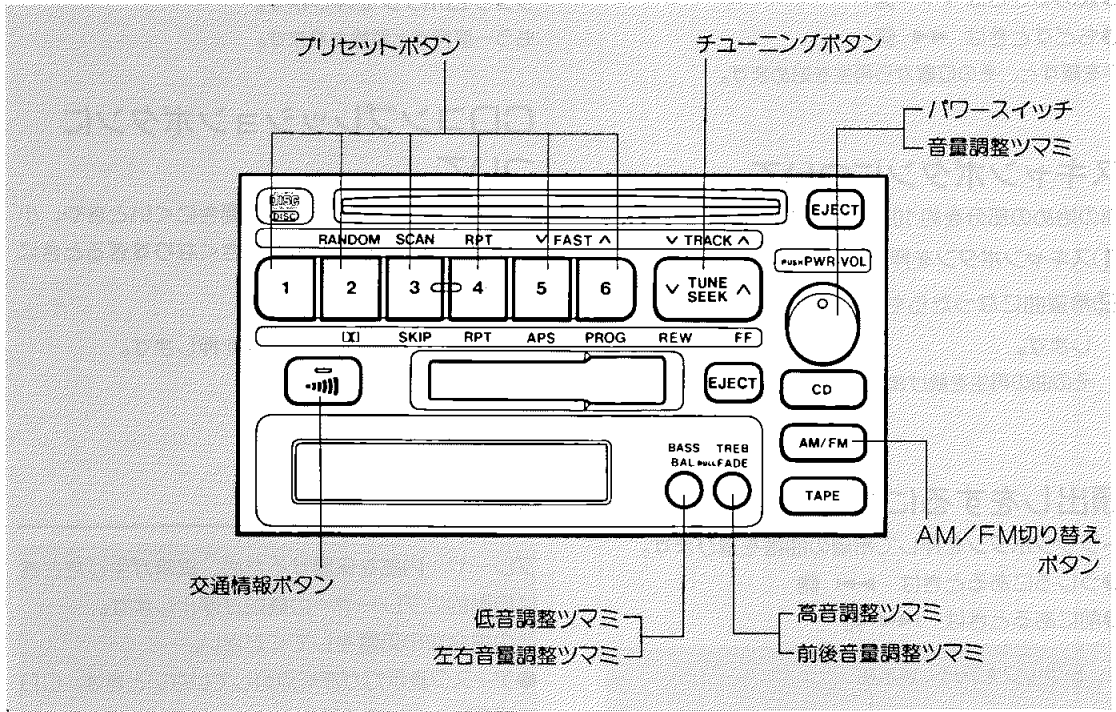
- ディスク表示灯が赤く点灯していないときは、CD ボタンを押してください。
- ディスク表示灯が赤く点灯しているときは、内部の温度が異常上昇していますので、CD 取り出しボタンを押して CD を取り出し、ディスク表示灯が消えるまでお待ちください。正常に復帰するとディスク表示灯が消えますので再度 CD を差し込んでください。

以上の操作をしても、機能が停止しているときはトヨタ販売店にご連絡ください。

⚠ 注意

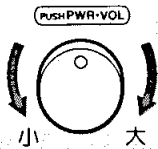
8 cm CD を使用するときはアダプターを使用しないでください。CD を取り出せなくなるおそれがあります。

CD、カセット一体AM/FMラジオ



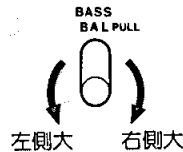
音量調整

●音量

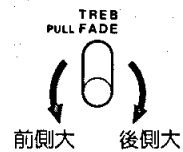


左右音量、前後音量はツマミを押し、とび出した状態からさらに手前に引いて調整します。

●左右音量



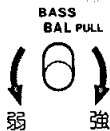
●前後音量



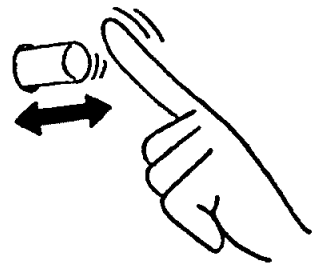
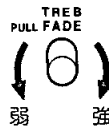
音質調整

ツマミを押し、とび出した状態で調整します。

●低音



●高音



ラジオを聞くには

- ①AM/FM切り替えボタンを押してAM、FM（1または2）放送の選択をします。
- ②チューニングボタンまたはプリセットボタンを押して選局します。

■ラジオをとめるには
パワースイッチを押します。
もう一度押すと受信されます。

選局するには

■チューニングボタンで
△側または▽側を押します。

ピッと音がするまで押し続ける(自動選局)

- 受信したところでとまります。
- 途中でとめたいときはもう一度押します。



👉 アドバイス

受信電波が弱く自動選局できないときは手動で選局してください。

ボンと押す(手動選局)

1ステップずつ変化します。



■プリセットボタンで

通常よくお聞きになる放送局をあらかじめ記憶させておくことによりワンタッチで選局できます。

1～6までのボタンの1つを押します。

セットするには

- ①記憶させたい放送局をチューニングボタンで受信します。
- ②記憶させたいプリセットボタンをピッと音がするまで押し続けます。

👉 アドバイス

プリセットボタン1つにつきAM、FM1、FM2の各1局ずつ記憶させることができます。

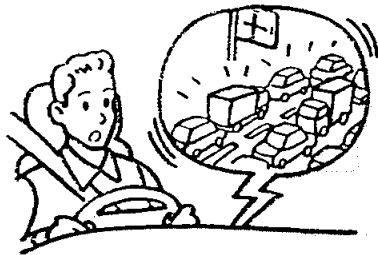
交通情報を聞くには

交通情報放送を行っている地域であらかじめセットしてある交通情報局が受信できます。

交通情報ボタンを押します。
もう一度押すと解除されます。

👉 アドバイス

- 新車時には1620 kHzにセットしてあります。
- 交通情報ボタンで受信中、チューニングボタン、プリセットボタンを押しても切り替わりません。



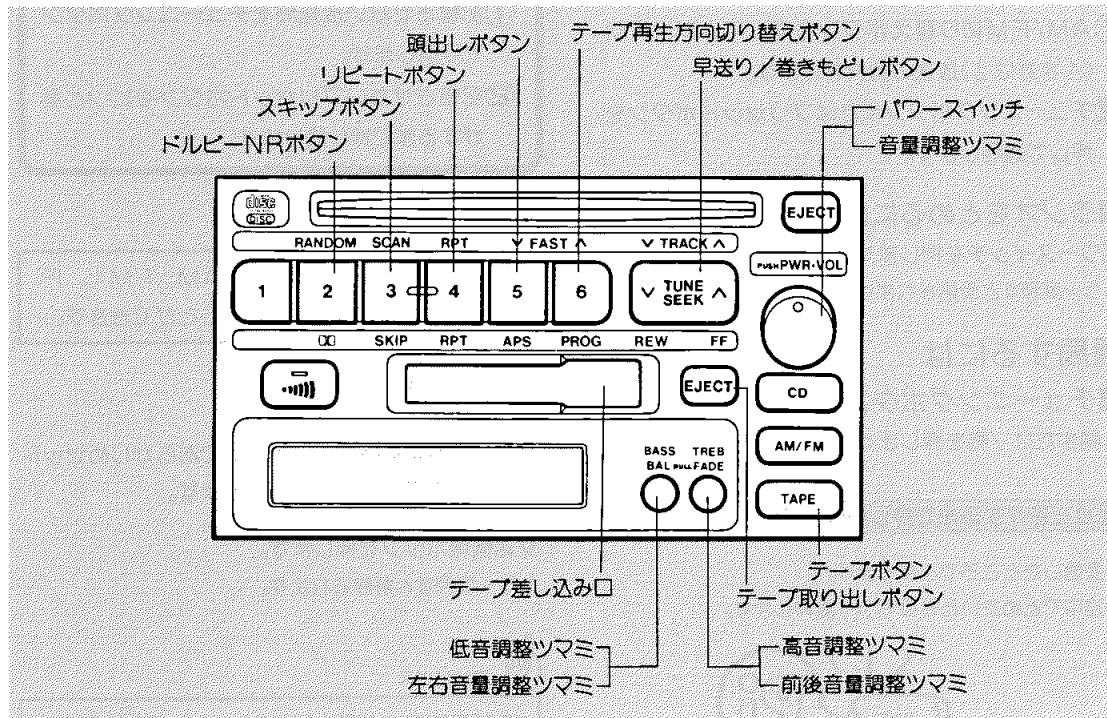
セットするには

- ①チューニングボタンで記憶させたい交通情報局にあわせませす。
- ②交通情報ボタンをピッと音がするまで押し続けます。

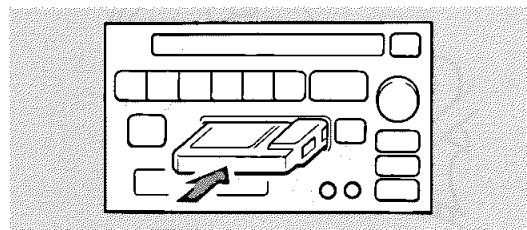
👉 アドバイス

バッテリーとの接続が断れたときは1620 kHzになります。

テープを聞くには



テープ差し込み口にテープを差し込みます。
テープが差し込まれているときは、テープボタンを押します。




■テープをとめるには
パワースイッチを押します。
もう一度押すと再生されます。

■テープを取り出すには
テープ取り出しボタンを押します。
テープが自動的に押し出されます。

ドルビー*(B)NRで録音された テープを使用するときは

ドルビーNRボタンを押します。
もう一度押すと解除されます。

※ドルビーノイズリダクションはドルビーラボラトリー
ライセンスニングコーポレーションからの実施権に
基づき製造されています。ドルビー、DOLBYおよび
ダブルD記号  は、ドルビーラボラトリー
ライセンスニングコーポレーションの登録商標です。

再生方向をかえるには

テープ再生方向切り替えボタンを押します。

早送り・巻きもどしをするには

早送りがしたいときは早送り／巻きもどしボタンのFF側を、巻きもどしがしたいときはREW側を押します。

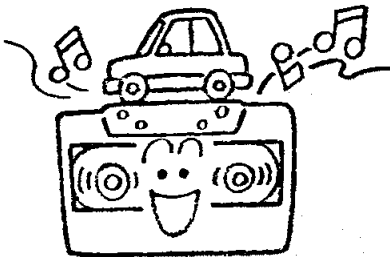
とめるときはもう一度押すか、テープボタンを押します。


頭出しをするには

いまお聞きになっている曲の前後9曲の中から希望曲の頭出しができます。

- ① 頭出しをしたい曲までの曲数だけ（3曲目の場合は3回）頭出しボタンを押します。
巻きもどしのときは、いまお聞きになっている曲も曲数に含まれます。
- ② 早送り／巻きもどしボタンを押します。
 - 早送りをするときはFF側
 - 巻きもどしをするときはREW側

解除するときにはもう一度押すか、テープボタンを押します。



 アドバイス


次の場合は正常に作動しないことがあります。

- 曲と曲の間の無音部分が約3秒以下のとき
- 曲と曲の間に雑音があるとき

同じ曲を繰り返して聞くには

リピートボタンを押します。

もう一度押すと解除されます。

 アドバイス


次の場合は正常に作動しないことがあります。

- 曲と曲の間の無音部分が約3秒以下のとき
- 曲と曲の間に雑音があるとき

無音部分をとばして聞くには

スキップボタンを押します。

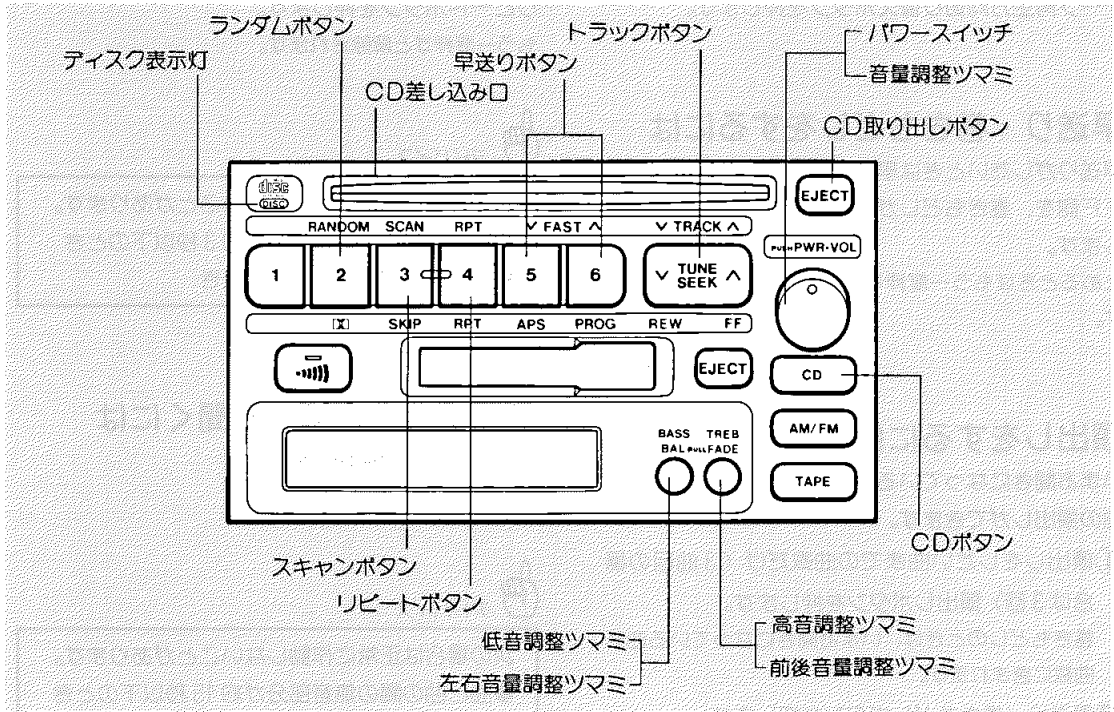
もう一度押すと解除されます。

 アドバイス

次の場合は正常に作動しないことがあります。

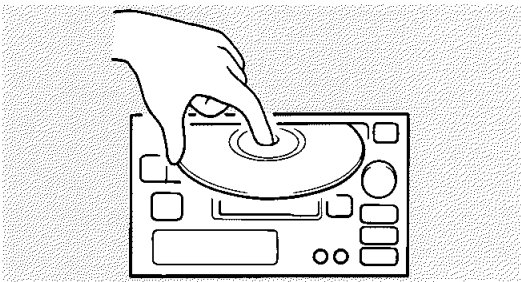
- 曲と曲の間の無音部分が約15秒以下のとき
- 曲と曲の間に雑音があるとき
- 曲の初めと終わりが明確でないとき

CDを聞くには



CD差し込み口にCDを差し込みます。

- CDが差し込まれているときは、CDボタンを押します。
- 8 cm CDを聞くときはアダプターを使用せずにCDを聞くことができます。



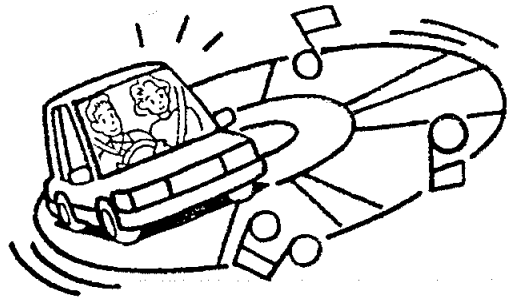
中心の穴と端をはさんで持ち、ラベル面を上にしします。

■ CDをとめるには

パワースイッチを押します。
もう一度押すと再生されます。

■ CDを取り出すには

CD取り出しボタンを押します。
CDが自動的に押し出されます。



早送りをするには

早送りボタンを押します。

- 進めるときは△側
- もどすときは▽側

手を離すと、その位置から再生を始めます。

スキャンボタンについて

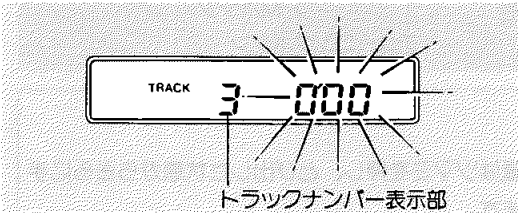
曲の始めの部分を約 10 秒間つぎつぎに再生します。

- ①スキャンボタンを押します。
- ②希望曲になったらもう一度スキャンボタンを押します。
その曲の再生を続けます。

頭出しをするには

トラックボタンを押して希望の曲番を選びます。

- うしろにあるときは△側
- 前にあるときは▽側



トラックナンバー表示部

同じ曲を繰り返して聞くには

リピートボタンを押します。

もう一度押すと解除されます。

ランダム再生について

CDの中からランダムに選曲し、再生します。

ランダムボタンを押します。

もう一度押すと解除されます。

△ 処 置

プレーヤー内部を保護するため、異常が生じたときは自動的にプレーヤーの機能が停止します。

この場合次の処置をしてください。

- ディスク表示灯が赤く点灯していないときは、CDボタンを押してください。
- ディスク表示灯が赤く点灯しているときは、内部の温度が異常上昇していますので、CD取り出しボタンを押してCDを取り出し、ディスク表示灯が消えるまでお待ちください。正常に復帰するとディスク表示灯が消えますので再度CDを差し込んでください。

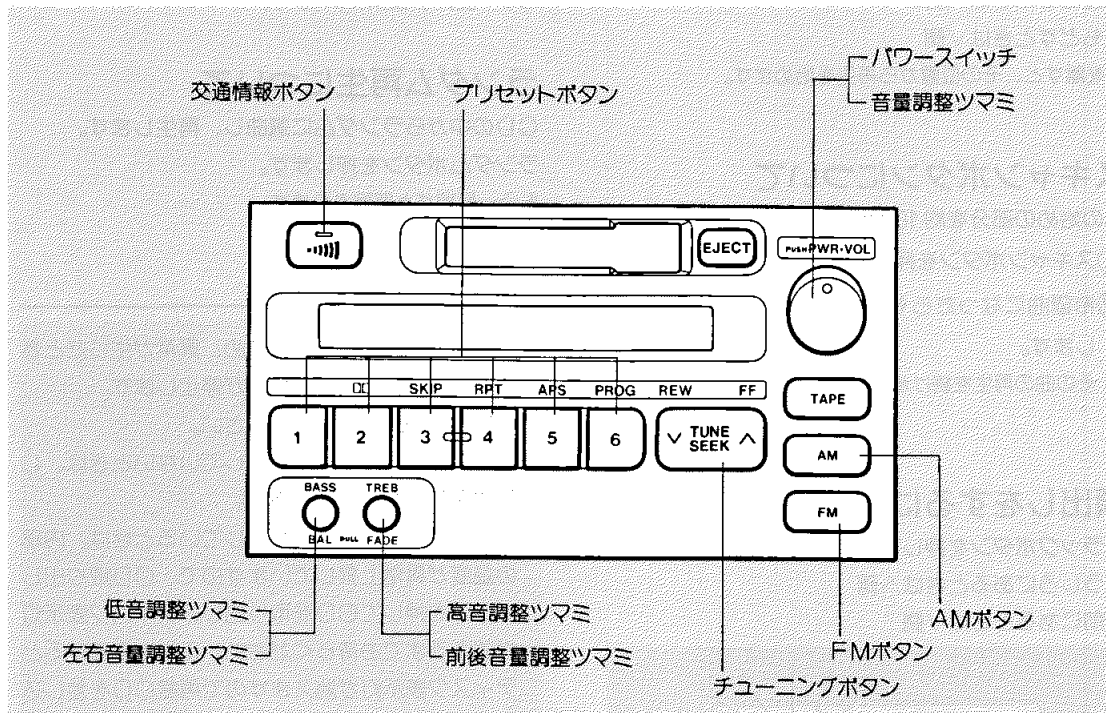
以上の操作をしても、機能が停止しているときはトヨタ販売店にご連絡ください。



注 意

8 cm CDを使用するときはアダプターを使用しないでください。CDを取り出せなくなるおそれがあります。

カセット一体AM/FMラジオ



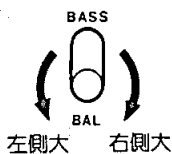
音量調整

●音量

左右音量、前後音量はツマミを押し、とび出した状態からさらに手前に引いて調整します。



●左右音量



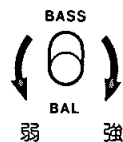
●前後音量



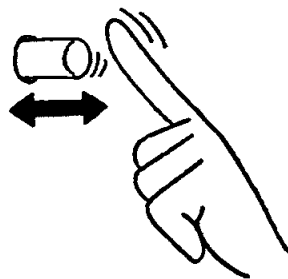
音質調整

ツマミを押し、とび出した状態で調整します。

●低音



●高音



ラジオを聞くには

- ① AMボタンまたはFMボタンを押してAM、FM(1または2)放送の選択をします。
- ② チューニングボタンまたはプリセットボタンを押して選局します。

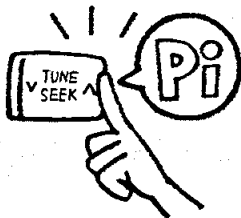
■ラジオをとめるには
 パワースイッチを押します。
 もう一度押すと受信されます。

選局するには

■チューニングボタンで
 ▲側または▼側を押します。

ピッと音がするまで押し続ける(自動選局)

- 受信したところでとまります。
- 途中でとめたいときはもう一度押します。



↑ アドバイス

受信電波が弱く自動選局できないときは手動で選局してください。

ボンと押す(手動選局)

1ステップずつ変化します。



■プリセットボタンで

通常よくお聞きになる放送局をあらかじめ記憶させておくことによりワンタッチで選局できます。

1～6までのボタンの1つを押します。

セットするには

- ①記憶させたい放送局をチューニングボタンで受信します。
- ②記憶させたいプリセットボタンをピッと音がするまで押し続けます。

↑ アドバイス

プリセットボタン1つにつきAM、FM1、FM2の各1局ずつ記憶させることができます。

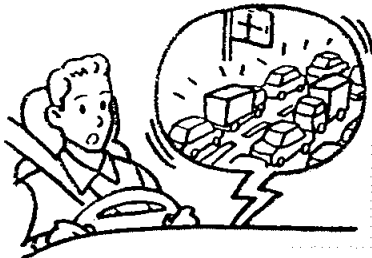
交通情報を聞くには

交通情報放送を行っている地域であらかじめセットしてある交通情報局が受信できます。

交通情報ボタンを押します。
 もう一度押すと解除されます。

↑ アドバイス

- 新車時には1620 kHzにセットしてあります。
- 交通情報ボタンで受信中、チューニングボタン、プリセットボタンを押しても切り替わりません。



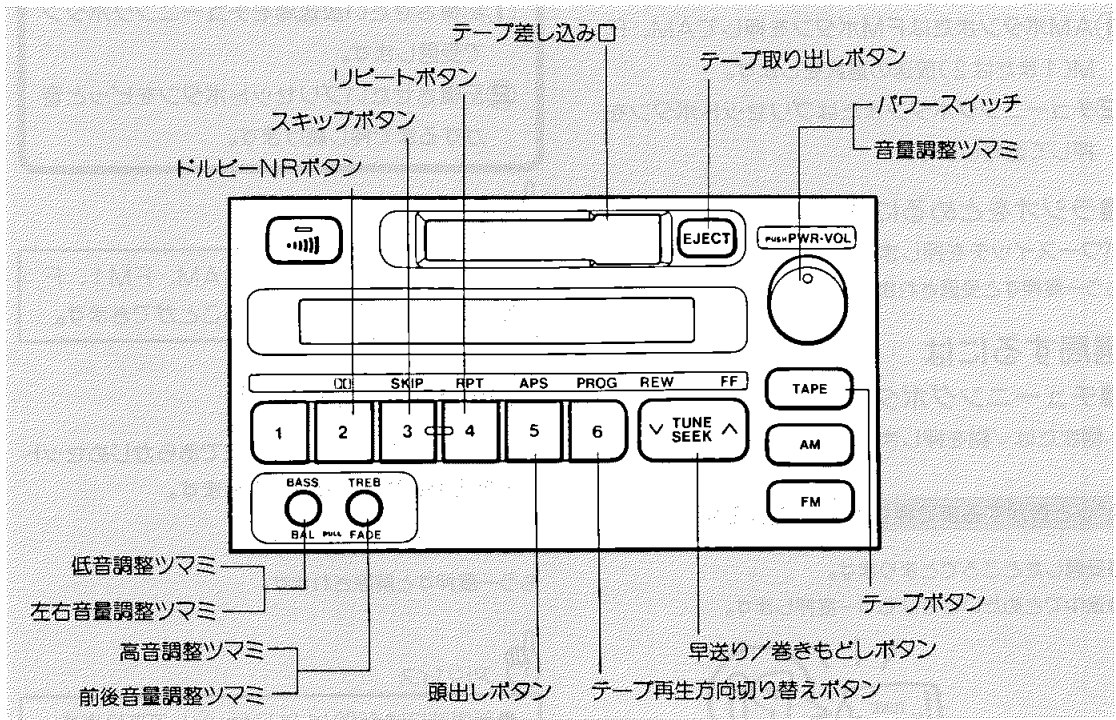
セットするには

- ①チューニングボタンで記憶させたい交通情報局にあわせます。
- ②交通情報ボタンをピッと音がするまで押し続けます。

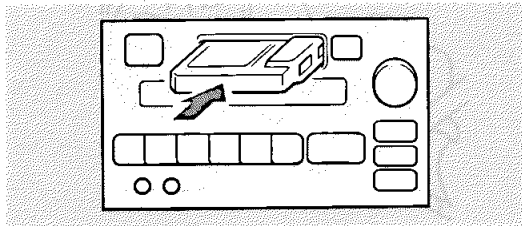
↑ アドバイス

バッテリーとの接続が断れたときは1620 kHzになります。

テープを聞くには



テープ差し込み口にテープを差し込みます。
テープが差し込まれているときは、テープボタンを押します。



■テープをとめるには

パワースイッチを押します。
もう一度押すと再生されます。


■テープを取り出すには

テープ取り出しボタンを押します。
テープが自動的に押し出されます。

ドルビー*(B)NRで録音された テープを使用するときは

ドルビーNRボタンを押します。

もう一度押すと解除されます。

※ドルビーノイズリダクションはドルビーラボラトリー
ライセンスニングコーポレーションからの実施権に
基づき製造されています。ドルビー、DOLBYおよび
ダブルD記号  は、ドルビーラボラトリー
ライセンスニングコーポレーションの登録商標です。

再生方向をかえるには

テープ再生方向切り替えボタンを押します。

早送り・巻きもどしをするには

早送りがしたいときは早送り／巻きもどしボタンのFF側を、巻きもどしがしたいときはREW側を押します。

とめるときはもう一度押すか、テープボタンを押します。

頭出しをするには

いまお聞きになっている曲の前後9曲の中から希望曲の頭出しができます。

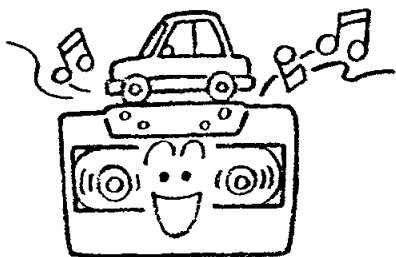
①頭出しをしたい曲までの曲数だけ(3曲目の場合は3回)頭出しボタンを押します。


巻きもどし的时候は、いまお聞きになっている曲も曲数に含まれます。

②早送り／巻きもどしボタンを押します。

- 早送りをするときにはFF側
- 巻きもどしをするときはREW側

解除するときにはもう一度押すか、テープボタンを押します。



 アドバイス


次の場合は正常に作動しないことがあります。

- 曲と曲の間の無音部分が約3秒以下のとき
- 曲と曲の間に雑音があるとき

同じ曲を繰り返して聞くには

リピートボタンを押します。

もう一度押すと解除されます。

 アドバイス


次の場合は正常に作動しないことがあります。

- 曲と曲の間の無音部分が約3秒以下のとき
- 曲と曲の間に雑音があるとき

無音部分を飛ばして聞くには

スキップボタンを押します。

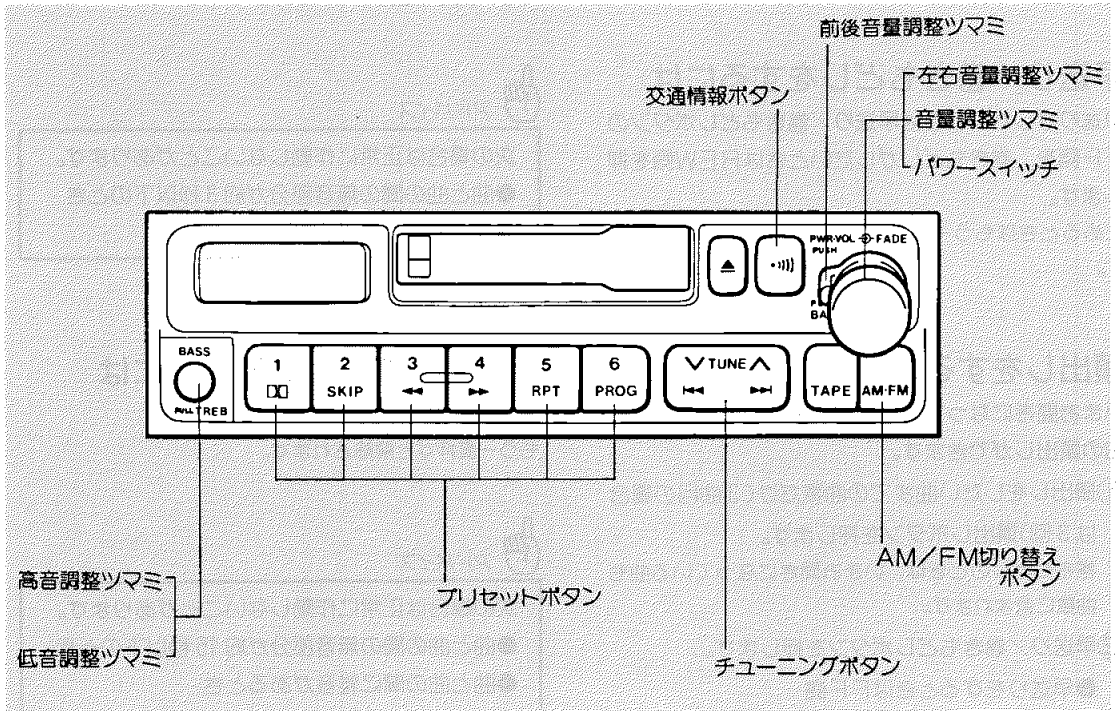
もう一度押すと解除されます。

 アドバイス

次の場合は正常に作動しないことがあります。

- 曲と曲の間の無音部分が約15秒以下のとき
- 曲と曲の間に雑音があるとき
- 曲の初めと終わりが明確でないとき

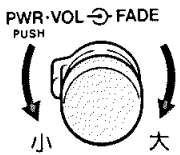
カセット一体AM/FMラジオ



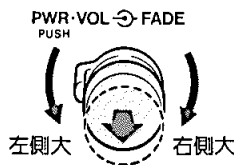
音量調整

●音量

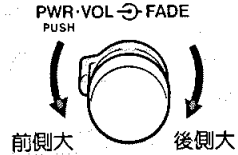
左右音量はツマミを手前に引きながら調整します。



●左右音量



●前後音量



音質調整

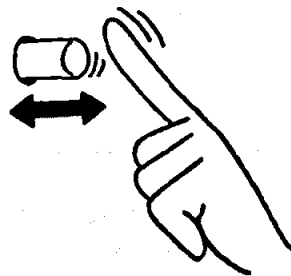
低音はツマミを押し、とび出した状態で調整します。

高音はツマミをさらに手前に引いて調整します。

●低音



●高音



ラジオを聞くには

- ①AM/FM切り替えボタンを押してAMまたはFM放送の選択をします。
- ②チューニングボタンまたはプリセットボタンを押して選局します。

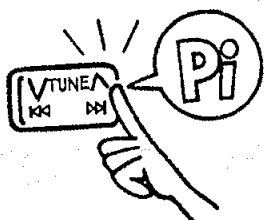
■ラジオをとめるには
パワースイッチを押します。
もう一度押すと受信されます。

選局するには

■チューニングボタンで
△側またはV側を押します。

ピッと音がするまで押し続ける(自動選局)

- 受信したところまでとまります。
- 途中でとめたいときはもう一度押します。



↑ アドバイス

受信電波が弱く自動選局できないときは手動で選局してください。

ボンと押す(手動選局)

1ステップずつ変化します。



■プリセットボタンで

通常よくお聞きになる放送局をあらかじめ記憶させておくことによりワンタッチで選局できます。

1～6までのボタンの一つを押します。

セットするには

- ①記憶させたい放送局をチューニングボタンで受信します。
- ②記憶させたいプリセットボタンをピッと音がするまで押し続けます。

↑ アドバイス

- プリセットボタン1つにつきAM1局、FM1局の2局を記憶させることができます。
- バッテリーとの接続が断れたときは記憶は消去されます。

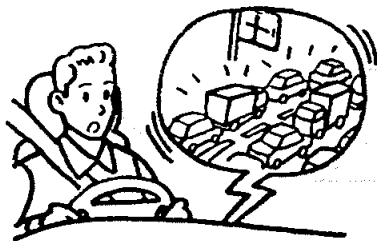
交通情報を聞くには

交通情報放送を行っている地域であらかじめセットしてある交通情報局が受信できます。

交通情報ボタンを押します。
もう一度押すと解除されます。

↑ アドバイス

- 新車時には1620 kHzにセットしてあります。
- 交通情報ボタンで受信中、チューニングボタン、プリセットボタンを押しても切り替わりません。



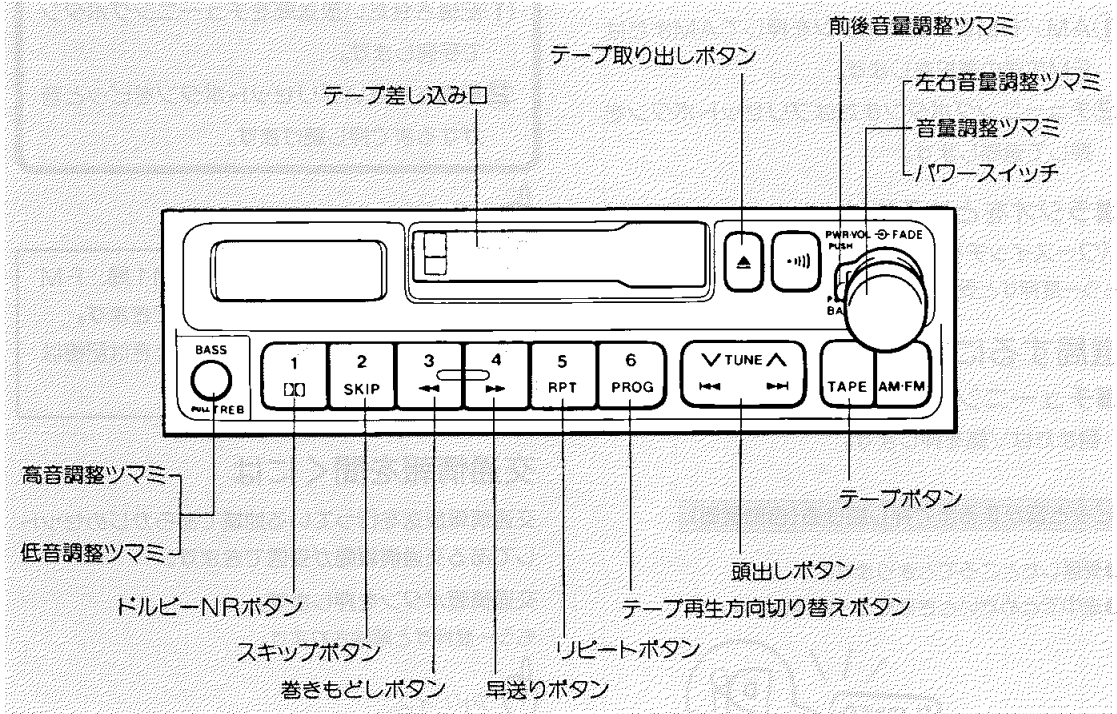
セットするには

- ①チューニングボタンで記憶させたい交通情報局にあわせます。
- ②交通情報ボタンをピッと音がするまで押し続けます。

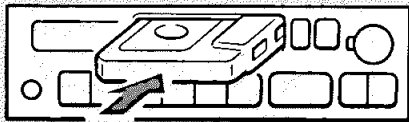
↑ アドバイス

バッテリーとの接続が断れたときは1620 kHzになります。

テープを聞くには



テープ差し込み口にテープを差し込みます。
テープが差し込まれているときは、テープボタンを押
します。




■テープをとめるには
パワースイッチを押します。
もう一度押すと再生されます。

■テープを取り出すには
テープ取り出しボタンを押します。
テープが自動的に押し出されます。

ドルビー*(B)NRで録音された テープを使用するときは

ドルビーNRボタンを押します。

もう一度押すと解除されます。

※ドルビーノイズリダクションはドルビーラボラトリー
ライセンスニングコーポレーションからの実施権に
基づき製造されています。ドルビー、DOLBYおよ
びダブルD記号  は、ドルビーラボラトリー
ライセンスニングコーポレーションの登録商標です。

再生方向をかえるには

テープ再生方向切り替えボタンを押します。

早送り・巻きもどしをするには

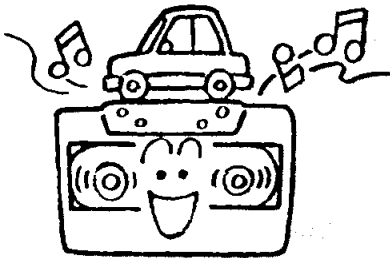
早送りがしたいときは早送りボタンを、巻きもどしがしたいときは巻きもどしボタンを押します。
とめるときはもう一度押すか、テープボタンを押します。

頭出しをするには

いまお聞きになっている曲の前後9曲の中から希望曲の頭出しができます。

頭出しをしたい曲までの曲数だけ(3曲目の場合は3回)頭出しボタンを押します。

- 早送りをするときは▶▶側
- 巻きもどしをするときは◀◀側
- 巻きもどしのときは、いまお聞きになっている曲も曲数に含まれます。
- 解除するときにはもう一度押すか、テープボタンを押します。



同じ曲を繰り返して聞くには

リピートボタンを押します。

もう一度押すと解除されます。



アドバイス

次の場合は正常に作動しないことがあります。

- 曲と曲の間の無音部分が約3秒以下のとき
- 曲と曲の間に雑音があるとき

無音部分を飛ばして聞くには

スキップボタンを押します。

もう一度押すと解除されます。



アドバイス

次の場合は正常に作動しないことがあります。

- 曲と曲の間の無音部分が約15秒以下のとき
- 曲と曲の間に雑音があるとき
- 曲の始めと終わりが明確でないとき

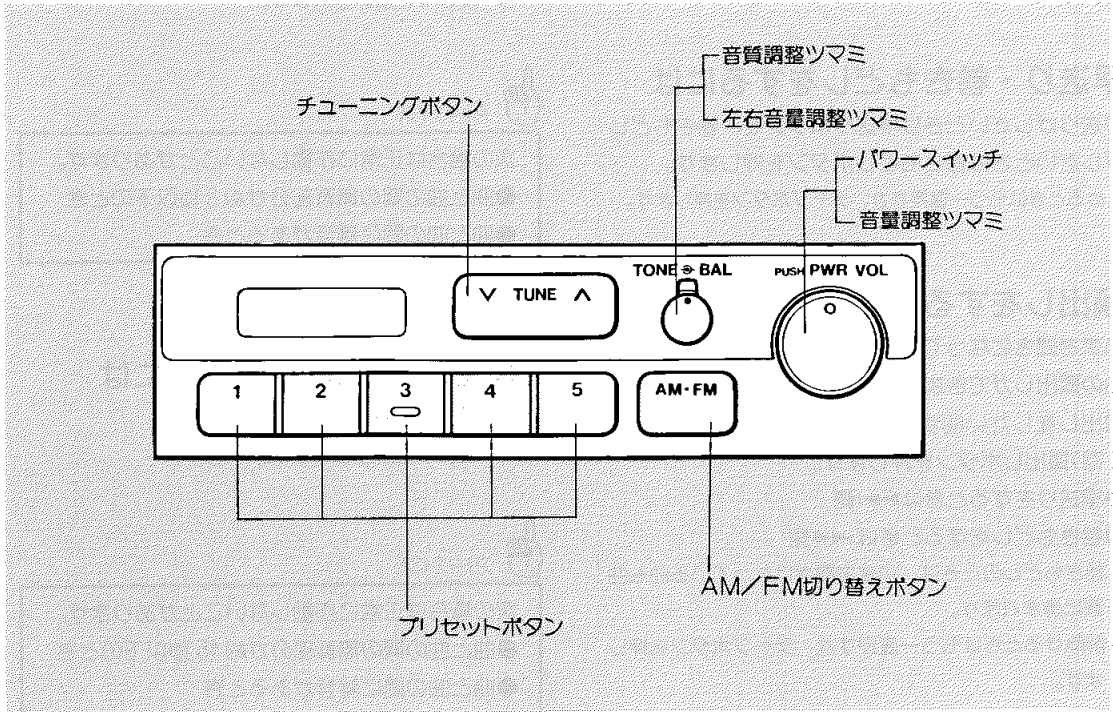


アドバイス

次の場合は正常に作動しないことがあります。

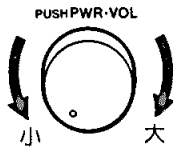
- 曲と曲の間の無音部分が約3秒以下のとき
- 曲と曲の間に雑音があるとき

AM/FMラジオ

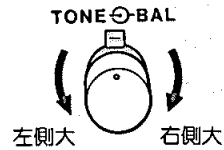


音量調整

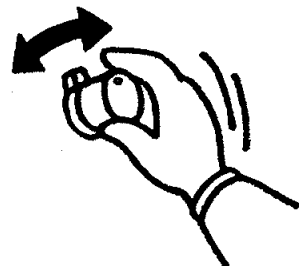
●音量



●左右音量



音質調整



ラジオを聞くには

- ① パワースイッチを押します。
もう一度押すと電源は切れます。
- ② AM/FM切り替えボタンを押してAMまたはFM
放送の選択をします。
- ③ チューニングボタンまたはプリセットボタンを
押して選局します。

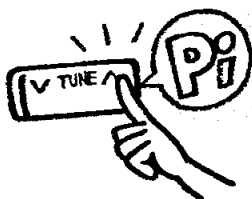
選局するには

■チューニングボタンで

△側または▽側を押します。

ピット音がするまで押し続ける(自動選局)

- 受信したところでとまります。
- 途中でとめたいときはもう一度押します。

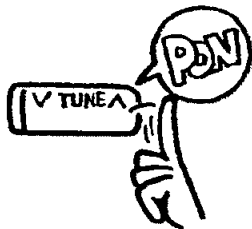


アドバイス

受信電波が弱く自動選局できないときは手動で選局してください。

ポンと押す(手動選局)

1ステップずつ変化します。



■プリセットボタンで

通常よくお聞きになる放送局をあらかじめ記憶させておくことによりワンタッチで選局できます。

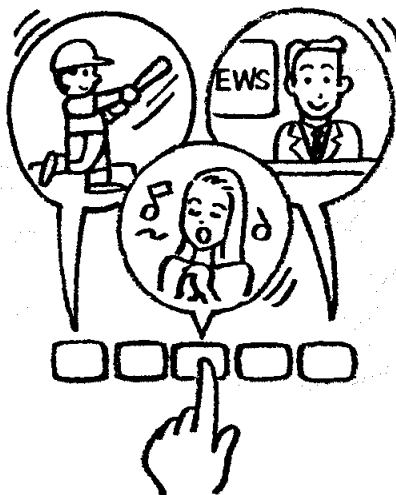
1～5までのボタンの1つを押します。

セットするには

- ①記憶させたい放送局をチューニングボタンで受信します。
- ②記憶させたいプリセットボタンをピット音がするまで押し続けます。

アドバイス

- プリセットボタン1つにつきAM1局、FM1局の2局を記憶させることができます。
- バッテリーとの接続が断られたときは記憶は消去されます。

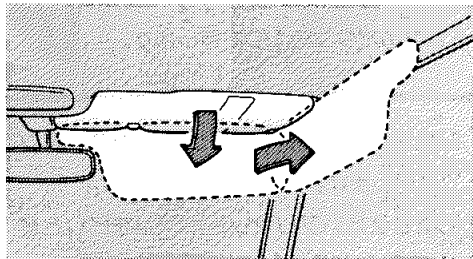


とても便利な小物たち。

室内装備

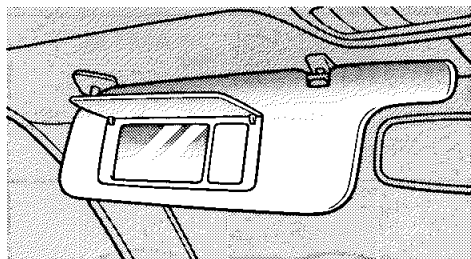
サンバイザー

横からの日差しがまぶしいときは側面にまわすこともできます。

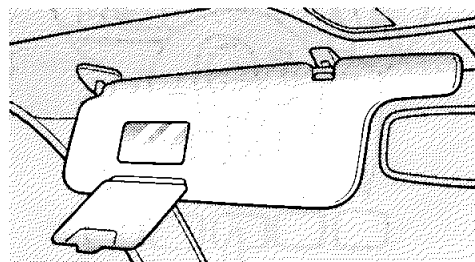


バニティーミラー★

グランテFourのムーンルーフなし車、グロワールを除くサンバイザーの裏側にあります。フタを開けるとランプが点灯します。

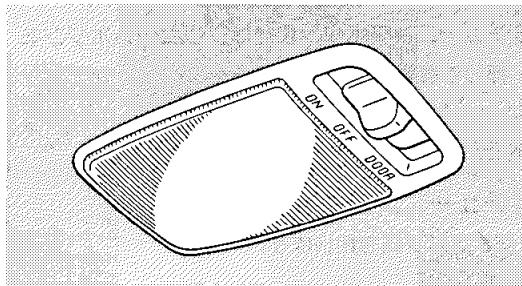


グランテFourのムーンルーフなし車、グロワール助手席サンバイザーの裏側にあります。



室内灯

ON……………ドアの開閉に関係なく点灯します。
OFF……………ドアの開閉に関係なく消灯します。
DOOR……………ドアを開けたとき点灯し、閉じると数秒後に消灯します。



イルミネーテッドエントリーシステム★

グランテG、グランテG Four、ツアラーV、ツアラーS、グランテ、グランテFour

ドアの開閉と連動してエンジンキー照明、室内灯が点灯・消灯します。

ドアを開けると点灯し、閉じると数秒後に消灯します。

グロワール

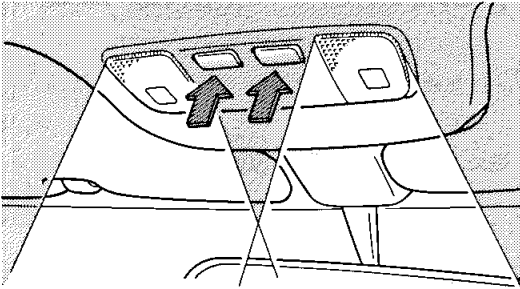
ドアの開閉と連動してエンジンキー照明が点灯・消灯します。

ドアを開けると点灯し、閉じると数秒後に消灯します。

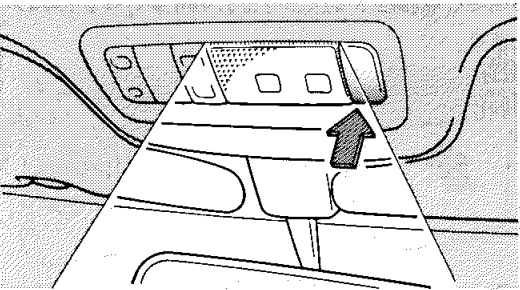
スポットライト

スイッチを押すと点灯します。
もう一度押すと消灯します。

■ムーンルーフなし車

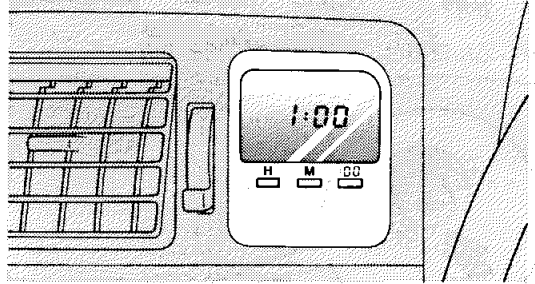


■ムーンルーフ付き車



時計

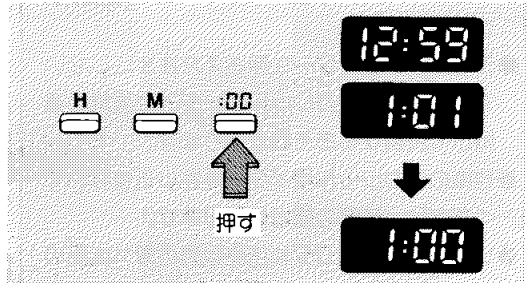
エンジンスイッチがACCまたはONのとき時刻が表示されます。



■時報にあわせるときは

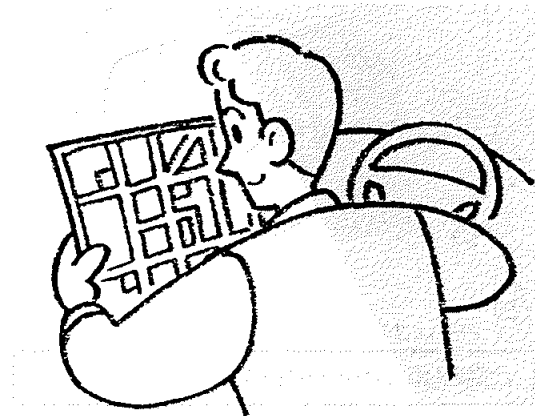
:00 ボタンを押すと時刻は次のように修正されます。

- 0～29分は切り下げられます。
- 30～59分は切り上げられます。



■“時”“分”を調整するとき

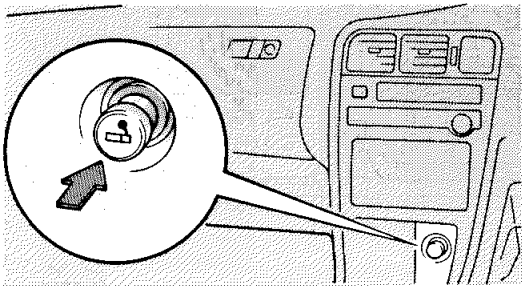
Hボタンを押すと“時”、Mボタンを押すと“分”が早送りされます。



シガレットライター

エンジンスイッチがACCまたはONのとき使用できます。

押し込んだあと、とび出すまで待ちます。



注意

- シガレットライターの金属部分に触れないでください。やけどをするおそれがあります。
- シガレットライターを押さえたままにしないでください。シガレットライターが異常に過熱して焼損するおそれがあります。
- 他車のシガレットライターを差し込まないでください。故障の原因になります。
- ソケットからトヨタ純正品以外の電気製品の電源を取り出さないでください。



灰皿

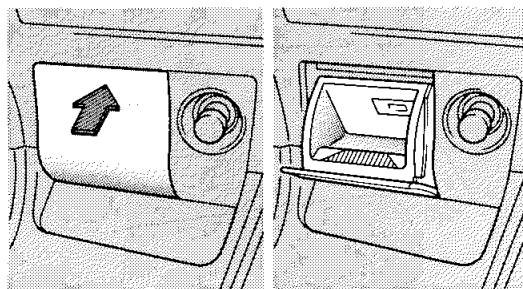


注意

- マッチ、タバコなどの火は完全に消してから灰皿の中に入れ、確実に閉めてください。開けたまま放置すると出火するおそれがあります。
- 灰皿の中に紙くずなどの燃えやすいものをいれないでください。

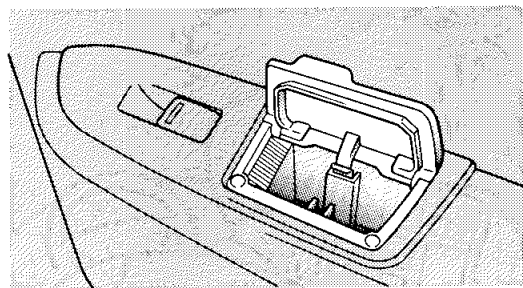
フロント

- 使用するときはフタを押します。
- 掃除をするときは灰皿の左右を持って取りはずします。



リヤ

- 掃除をするときは灰皿本体を持って取りはずします。



アドバイス

灰皿には吸い殻をためすぎないでください。

グローブボックス



注意

グローブボックスを開けたまま走行しないでください。急ブレーキ時などに開いたフタに体が当たるなどして思わぬケガをするおそれがあり危険です。

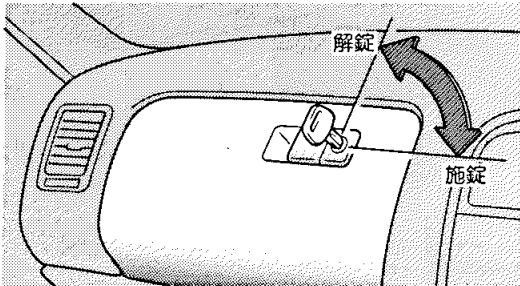
レバーを引くと開きます。

ライトスイッチがONのときはランプが点灯します。

施錠のしかた

キーを差し込み右にまわしたまま抜きます。

サブキーは使用できません。

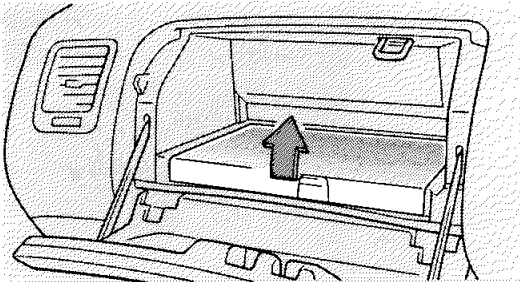


■小物入れ

グローブボックス内にあります。

フタを開くと使用できます。

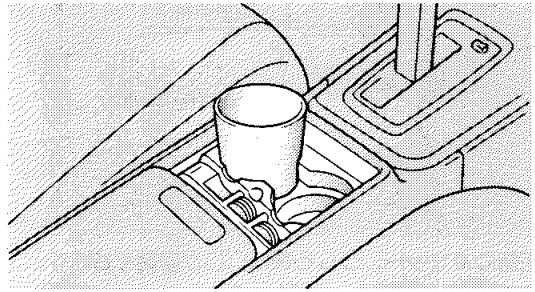
左側にCD、右側にカセットが収納できます。



カップ&コインホルダー

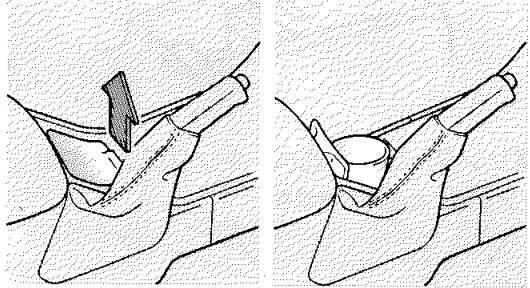
■足踏み式パーキングブレーキ車 (カップ&コインホルダー)

コンソールボックス内にあります。



■センターレバー式パーキングブレーキ車 (カップホルダー)

フタを開くと使用できます。



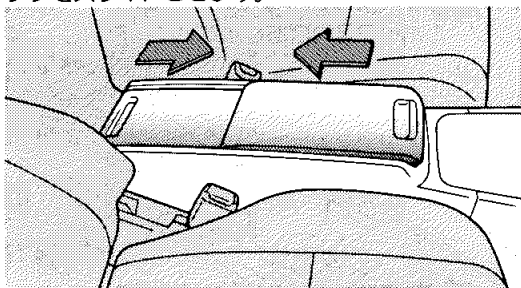
アドバイス

小物入れとして使用することもできます。

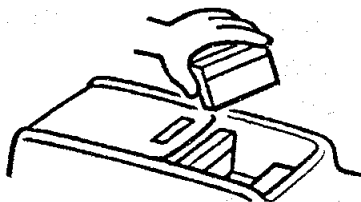
コンソールボックス

■足踏み式パーキングブレーキ車

フタをスライドさせます。

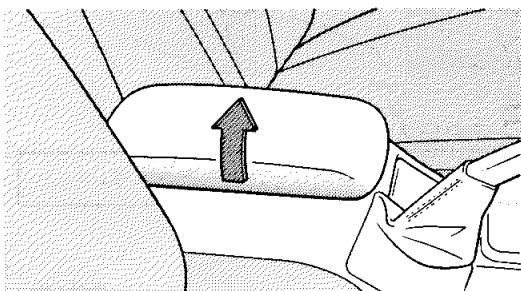


前側にカセット、うしろ側にCDが収納できます。



■センターレバー式パーキングブレーキ車

フタを開くと使用できます。



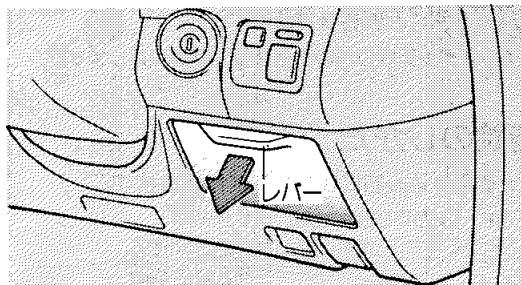
小物入れ



注意

小物入れを開けたまま走行しないでください。
急ブレーキ時などに開いたフタに体が当たるな
どして思わぬケガをするおそれがあり危険です。

レバーを引くと開きます。



フルタイム4WD

フルタイム4WD車は、常に4つのタイヤに駆動力が伝わるため、次のような走行に効果を発揮します。

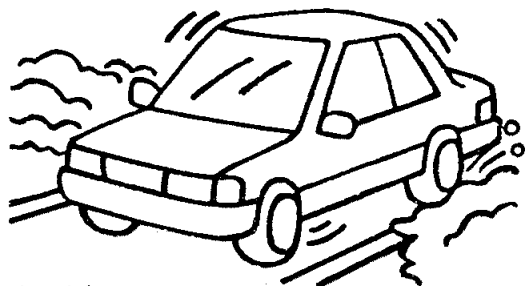
- コーナリング時の走行安定性、操縦性が高まります。
- 雪や雨などですべりやすい路面や急坂・悪路での走行安定性、操縦性が高まります。
- よりなめらかな発進、加速をすることができます。

フルタイム4WDといっても万能車ではありません。アクセル、ハンドル、ブレーキの操作は一般の車と同じく慎重に行い、常に安全運転に心がけてください。

走行について

オンロード専用車です。無理な運転は禁物です。

- オフロード走行やラリー走行を目的とした車ではありません。必ず以下の点をお守りください。
 - ・渡河などの水中走行はしない！
 - ・すべりやすい路面での走行は慎重に！

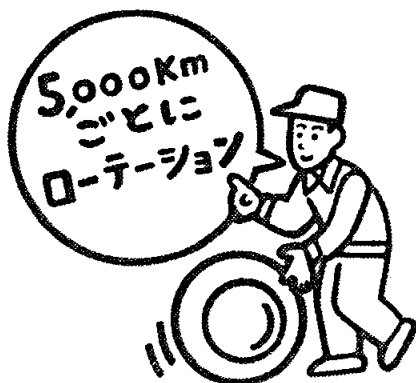


タイヤについて

タイヤの状態には細心の注意を！

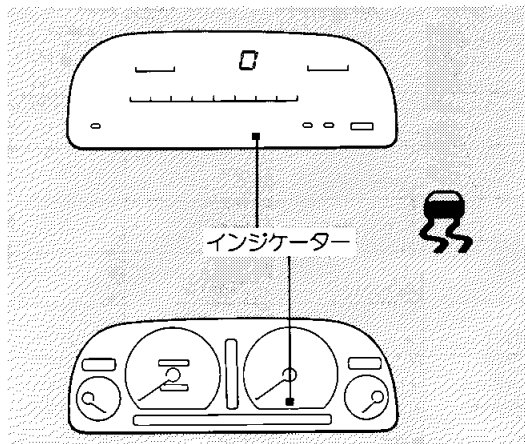
フルタイム4WDは、4つのタイヤに常に駆動力がかかるため、タイヤの状態が車の性能に大きく影響します。タイヤのチェックは忘れずに行ってください。

- タイヤのローテーションは5,000kmごとに！
タイヤ間での摩耗差があると車の性能が十分発揮できません。



- 4輪とも指定サイズで、同一サイズ・同一種類のタイヤを装着する！
タイヤやディスクホイールを交換するときは、トヨタ販売店にご相談ください。
- タイヤの空気圧の点検は定期的に！
タイヤの空気圧が指定値と大きく異なるときは、車の性能が十分発揮できません。
- タイヤチェーンは必ず後輪に！

i-Four ファンクションインジケーター



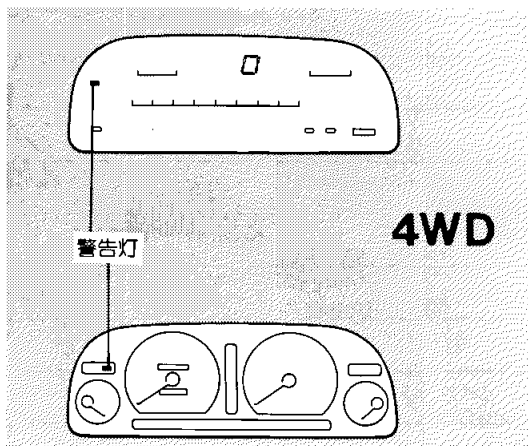
- エンジンスイッチをONにすると点灯し、数秒後に消灯します。
- 走行中にタイヤがスリップするとインジケーターが点滅します。



注意

走行中にインジケーターが点滅したときは運転をとくに慎重にしてください。慎重に運転しないと思わぬ事故につながるおそれがあります。

4WD警告灯



エンジンスイッチをONにすると点灯し、数秒後に消灯します。

 処置

警告灯が次のようになったときはシステムの異常が考えられますので、ただちにトヨタ販売店で点検を受けてください。

- エンジンスイッチをONまたはACCにしても点灯しないとき、または点灯したままのとき
- 走行中に点灯したとき

けん引してもらうときは

駆動系の故障も考えられますので、まずトヨタ販売店へご連絡を！

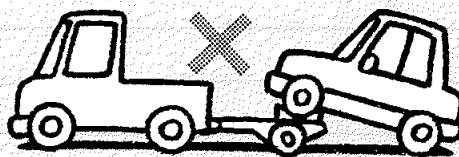
けん引してもらうときは次の事項を必ず守ってください。

- 駆動系部品が故障したと思われるときは必ず4輪を持ち上げてけん引する。



注意

持ち上げたタイヤが回転できない状態でのけん引は絶対にしないでください。駆動装置が焼きつきを起こしたり、車がトレッカー(台車)からとび出すおそれがあり危険です。



※ 166 ページの「けん引してもらうときは」もあわせてお読みください。



A series of horizontal lines for writing, spaced evenly down the page.